

# カラービデオプリンター

## 取扱説明書

### UP-25MD

お買い上げいただきありがとうございます。

**⚠ 警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

お問い合わせは  
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

 ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan



© 2010 Sony Corporation

# 安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。  
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～12 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。  
64 ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

## 定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検することをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご連絡ください。

## 故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ってください。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜いてください。
- ③ お買い上げ店までご相談ください。

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### ⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

### ⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

#### 注意を促す記号



火災

感電

#### 行為を禁止する記号



禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

#### 行為を指示する記号



指示

アース線を接続せよ

# 目次

警告	4
注意	5

## はじめに

本機の特長	13
各部の名称と働き	13
前面	13
裏面	15
モニター画面	15

## 準備

付属品を確認する	17
接続する	17
ビデオ機器を接続する	17
モニターを接続する	18
リモコンを接続する	19

## 操作

プリントする前に	20
インクリボンを取り付ける	20
プリント紙を入れる	21
入力信号を選ぶ	23
1枚に1画面をプリントする	25
ユーザー登録した内容でプリントする	27
同じプリント画を連続してプリントする	28
プリント中に別の画像のプリントを予約する	29
いろいろなプリント画を作る	30
メモリー モードについて - メモリー モードを選ぶ	30
メモリー ページを選ぶ	32
分割画面を作る - マルチプリント	33
プリント画にコメントを入れる	37
プリント画にコメントを入れる	37
文字を入力する	37
メモリーに記憶した画像を消す	40
STOP/CLEAR ボタンの機能を設定する	40
メモリーに記憶されている画像を消す	41
モニター画面の画面表示を消す	42

## 調整

メニュー画面上で設定できる項目	44
メニューの構成	45
メニューの基本操作	46

色調・画質を調整する	48
------------	----

入力映像の色調を補正する	48
モニター画面とプリント画の色調を合わせる	49
プリント画の画質を調整する	50
プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する	52
プリント紙の大きさに合わせてプリントする	53
カラーバランスを調整する	53
色を指定して調整する (HSV調整)	55
各種設定をする	59
別売りのリモコンでの操作を選ぶ	59
液晶ディスプレイの調整をする	60
トレイライトを設定する	60
クリーニングメッセージ表示機能を設定する	60
操作音、アラーム音を設定する	61
本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ	61
メニューの設定値をプリントする	61
インクリボンの種類と残量を表示させる	61
調整値をユーザー設定として登録する	62

## その他

本機の性能を保持するために	64
使用上のご注意	64
お手入れ	65
感熱ヘッドのクリーニング	65
給紙ローラーの自動クリーニング	66
給紙ローラーの手動クリーニング	66
使えるインクリボンとプリント紙	67
カラープリントパック (UPC-21S/UPC-21L) について	67
主な仕様	68
保証書とアフターサービス	70
ライセンスについて	70
故障とお考えになる前に	71
メッセージ一覧	73
エラーメッセージ	73
警告メッセージ	74
詰まったプリント紙を取り除く	76



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと、

**火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。**



指示

## 本機は日本国内用です

交流 100 V でお使いください。

海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

## 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

## 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

## 水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。



禁止

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

## 分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

## !**注意**

下記の注意を守らないと、  
**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与える  
ことがあります。



### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



### 付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



### 製品の上に乗らない、重いものを乗せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



### 通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・壁から 10 cm 以上離して設置する。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



### 不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



### お手入れの際は、電源を切る

指示

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



アース線を接続せよ

### 安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。  
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。  
3極→2極変換プラグは使用しないでください。



指示

### コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

### 電源コードの電源プラグ及び電源コネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。



禁止

### プリント紙排出口をのぞかない

プリント紙排出口からプリントされた紙が排出されますので、のぞきこむと失明やけがの原因となることがあります。プリント紙排出口はのぞかないでください。



禁止

### 本体内部の部品をさわらない

必要な時（ヘッドクリーニング、紙づまりの処理など）以外に、本体内部の機構部品をさわると、シャープエッジなどにより、けがの原因となることがあります。



禁止

### リボンドアパネルを開けたままにしておかない

リボンドアパネルを開けたままにしておくと、ぶつけたり、落下してけがの原因となることがあります。

### ご注意

本機は日本においては医療機器ではありません。

## ご利用にあたっての指示／用途

ソニー製 UP-25MD は、医療グレードのコンパクトカラープリンターです。超音波診断装置、血管内超音波検査装置、内視鏡カメラ装置などで使用される診断・治療装置、そのほか適合する医療機器へ組み込むことを対象に、それらのシステムから出力される患者情報の記録や参照画像をプリントアウトするよう設計されています。

### ご注意

- ・本機で出力した画像を診断用に使用することはできません。
- ・本機は医療従事者向け製品です。
- ・本機は診療室、検査室、手術室のような医療環境向け製品です。

### 警告

火災や感電の危険を避けるため、雨のあたる場所や湿気の多い場所に本機を設置しないでください。

感電を避けるため、キャビネットを開けないでください。内部の調整や設定および点検を行う必要がある場合は、ソニーのサービス担当者に依頼してください。

本機の分解や改造は禁止されています。

### 警告

感電の危険を避けるため、必ず安全アース付きの電源コンセントに接続してください。

### 警告

主電源を切斷するには、電源プラグを抜いてください。設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

電源プラグを抜くことが困難な場所に ME 機器を設置しないでください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

## 医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
2. さらにシステム全体として IEC60601-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。
3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。
5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。  
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。

（適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class B、Group1）

# 医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- ・ UP-25MD は、EMC に関する特別な注意が必要があり、取扱説明書中に提供される EMC 情報に従って設置および使用する必要があります。
- ・ UP-25MD は、専門的なヘルスケア施設環境で使用することを意図しています。
- ・ 携帯型および移動型の無線通信機器は UP-25MD に影響を与えることがあります。

## 警告

- ・ 携帯型の無線通信機器は、UP-25MD の周囲から 30 cm 以上離して使用してください。UP-25MD の性能の低下を招くことがあります。
- ・ UP-25MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。
- ・ ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリーやケーブルを使用すると、UP-25MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やアイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

## 指針および製造業者の宣言 - 電磁干渉

UP-25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-25MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境 - 指針
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-25MD は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用しています。そのため、RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。
RF エミッション CISPR 11	クラス B	UP-25MD は、家庭および家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている施設を含むすべての施設での使用に適しています。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ			
UP-25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-25MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。			
イミュニティ 試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 15 kV 気中	± 8 kV 接触 ± 15 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30% 以上であることを推奨します。
電気的ファストトランジエント (高速過渡現象) / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 線間 ± 2 kV 線 - アース間	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	0% $U_T$ (100% $U_T$ のディップ) 0.5/1 サイクル <sup>a</sup>  40% $U_T$ (60% $U_T$ のディップ) 5 サイクル  70% $U_T$ (30% $U_T$ のディップ) 25/30 サイクル <sup>a</sup> (0.5 秒)  0% $U_T$ (100% $U_T$ のディップ) 250/300 サイクル <sup>a</sup> (5 秒)	0% $U_T$ (100% $U_T$ のディップ) 0.5/1 サイクル <sup>a</sup>  40% $U_T$ (60% $U_T$ のディップ) 5 サイクル  70% $U_T$ (30% $U_T$ のディップ) 25/30 サイクル <sup>a</sup> (0.5 秒)  0% $U_T$ (100% $U_T$ のディップ) 250/300 サイクル <sup>a</sup> (5 秒)	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-25MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置またはバッテリーから UP-25MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。
備考: $U_T$ は、試験レベルを加える前の交流電源電圧です。			
a 例えば、10/12 は、50 Hz では 10 サイクル、60 Hz では 12 サイクルを意味します。			

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ			
UP-25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-25MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz ISM 帯域外 <sup>c</sup>	3 Vrms	携帯型および移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-25MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。 <b>推奨分離距離</b> $d = 1.2 \sqrt{P}$
	6 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz ISM 帯域内 <sup>c</sup>	6 Vrms	
放射 RF 電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	3 V/m	IEC 60601-1-2: 2007 $d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 800 MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ~ 2.5 GHz IEC 60601-1-2: 2014 $d = 2.0 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 2.7 GHz
			ここで $P$ は送信機器メーカーによる送信機の最大出力定格を表し単位はワット (W)、 $d$ は推奨分離距離で単位はメートル (m) です。 固定の無線送信機からの電磁界強度は電磁気の現地調査 <sup>a</sup> によって決定されますが、これは各周波数範囲 <sup>b</sup> において適合レベル未満である必要があります。 次の記号が表示された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。 

備考 1: 80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。  
電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 固定の無線送信機、例えば、無線（携帯 / コードレス）電話基地局および陸上移動局、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送および TV 放送からの電磁界強度は、理論上、正確には予測することはできません。固定の無線送信機に起因する電磁環境を評価するために、電磁気の現地調査を考慮する必要があります。UP-25MD が使用される測定電磁界強度が適用される上記の無線適合性レベルを超える場合、UP-25MD が正常に動作していることを確認してください。もし異常な動作が観測される場合、UP-25MD の向きや場所を変えるといった追加措置が必要となることがあります。

b 周波数範囲が 150 kHz ~ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

c 150 kHz から 80 MHz 間の ISM（工業用、科学用および医学用）帯域は、6.765 MHz ~ 6.795 MHz、13.553 MHz ~ 13.567 MHz、26.957 MHz ~ 27.283 MHz および 40.66 MHz ~ 40.70 MHz です。

#### 携帯型および移動型の無線通信機器と、UP-25MD との間の推奨分離距離

UP-25MD は、放射無線妨害が制御される電磁環境内での使用を意図しています。お客様または UP-25MD の使用者は、携帯型および移動型の無線通信機器（送信機）と UP-25MD の最小距離を維持することによって、電磁干渉を防ぐことができます。最小距離は、下記に推奨されるように、通信機器の最大出力に従ってください。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m					
	IEC 60601-1-2 : 2007			IEC 60601-1-2 : 2014		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 2.7 GHz $d = 2.0 \sqrt{P}$	
0.01	0.12	0.12	0.23	0.12	0.20	
0.1	0.38	0.38	0.73	0.38	0.63	
1	1.2	1.2	2.3	1.2	2.0	
10	3.8	3.8	7.3	3.8	6.3	
100	12	12	23	12	20	

上記に記載されていない最大出力定格の送信機については、推奨分離距離  $d$ （単位：メートル（m））は、送信機の周波数に適用される式を使用して決定できます。ここで  $P$ （単位：ワット（W））は送信機の最大出力定格であり、送信機器メーカーにより指定されたものになります。

備考 1： 80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲の分離距離を適用します。

備考 2： これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。

電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ					
UP-25MD は、放射無線妨害が制御される電磁環境内での使用を意図しています。携帯型の無線通信機器は、UP-25MD の周囲から 30 cm 以上離して使用してください。UP-25MD の性能の低下を招くことがあります。					
イミュニティ試験	帯域 <sup>a</sup>	サービス <sup>a</sup>	変調	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル
RF ワイヤレス通信機器からの近接電磁界 IEC 61000-4-3	380 – 390 MHz	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	27 V/m	27 V/m
	430 – 470 MHz	GMRS 460 FRS 460	FM ± 5 kHz 偏差 1 kHz 正弦波	28 V/m	28 V/m
	704 – 787 MHz	LTE 帯域 13、17	パルス変調 217 Hz	9 V/m	9 V/m
	800 – 960 MHz	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE 帯域 5	パルス変調 18 Hz	28 V/m	28 V/m
	1,700 – 1,990 MHz	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE 帯域 1、3、4、 25 UMTS	パルス変調 217 Hz	28 V/m	28 V/m
	2,400 – 2,570 MHz	ブルートゥース WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE 帯域 7	パルス変調 217 Hz	28 V/m	28 V/m
	5,100 – 5,800 MHz	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	9 V/m	9 V/m
備考：これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。 電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。					
a サービスによっては、アップリング周波数のみ含まれます。					

## 注意

本機またはアクセサリーを廃棄するときは、環境汚染等のリスクに配慮し、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがってください。

## グラフィカルシンボルの説明



### 取扱説明書参照

本機にこのシンボルがある箇所は、取扱説明書の指示にしたがってご使用ください。



このシンボルは製造業者を表し、隣接して製造業者名と住所が併記されます。



このシンボルは製造日付を表します。



このシンボルはシリアルナンバーを表します。



このシンボルは附属文書の版を表します。



このシンボルは、システムの各部を同じ電位にするための等電位端子を示しています。



保存・輸送温度  
このシンボルは保存と輸送環境の温度制限を表します。



保存・輸送湿度  
このシンボルは保存と輸送環境の湿度制限を表します。



保存・輸送気圧  
このシンボルは保存と輸送環境の大気圧制限を表します。

## アクセサリー



このシンボルは、欧州共同体における代表者を表し、隣接して欧州共同体における代表者の名称と住所が併記されます。



このシンボルはバッチコードを表します。



このシンボルは再使用禁止を表します。



### 注意

MR (Magnetic Resonance) 環境では使用しないでください。

故障や火災、予測不能な移動を引き起こす可能性があります。

## 本機の特長

UP-25MD は、簡単な操作でビデオ機器などの画像出力装置からの画像を入力し、A6 サイズで印刷するカラービデオプリンターです。入力された画像データに応じて発熱させたサーマルヘッドを、専用のインクリボンに圧着させ、インクリボンに塗布された昇華性インクを専用の用紙に転写することで印刷を行います。

UP-25MD は、次の特長を備えています。

- ・高画質・高解像度プリント

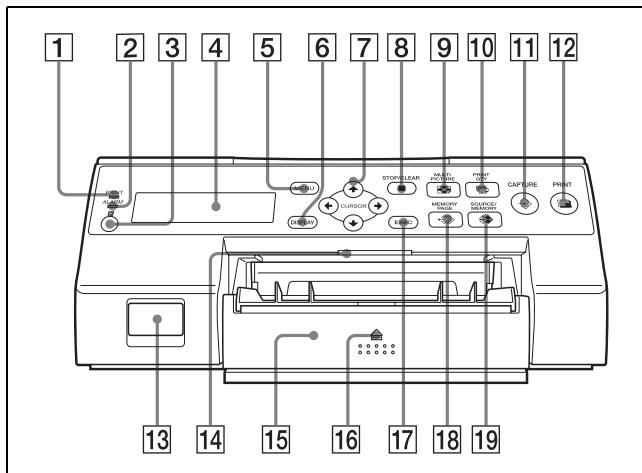
フルカラー（各色 256 階調、1670 万色）、高解像度（約 423 dpi 精密ヘッド使用）でプリントします。

- ・ご使用になる状況に合わせたメニュー設定が可能  
多分割印画・キャプション入り印画など様々なプリント画を作ることができます。（30 ページ）

通常のプリント操作は、本機のボタン類だけで行うことができます。プリンターの設定や各種調整は、プリンターの液晶ディスプレイおよび本機に接続したモニター画面上のメニューで操作できるので、機能に応じて操作を分けて使い易くなっています。

## 各部の名称と働き

### 前面



**① PRINT ランプ**

プリント中に点灯します。

**② ALARM ランプ**

紙詰まりなどエラー発生時に点灯します。

**③ リモコン受光部 (19 ページ)**

リモコンの先端をここに向けます。

**④ 液晶ディスプレイ**

モニター画面の表示とほぼ同じものを表示します。ただし、モニターの画面表示と比べ表示される文字数が制約されるため、表示の方法が異なります。

メニュー操作を行っているときは、メニューのカーソルがある行を示します。

エラー発生時は、メッセージを示します。

「SYSTEM SETUP」メニューで液晶ディスプレイのコントラストを調整できます。（60 ページ）

**⑤ MENU ボタン**

メニュー画面を表示するときや、メニュー画面から通常画面に戻るときに押します。

**⑥ DISPLAY ボタン (27, 42 ページ)**

通常画面が表示されている場合：管面表示（Q1、A、S など）を表示したり消したりします。押すと、数秒間現在の設定を表示します。押すたびに ON、OFF が切り換わります。「OUTPUT SETUP」メニューの「DISPLAY」も連動して切り換わります。

メニュー画面が表示されている場合：一時的にモニター画面の管面表示を消すときに押します。押している間、管面表示は消えます。

**7 カーソル移動ボタン (←、→、↑、↓ボタン)**  
メニューの項目を選択したり、設定値を変更するときに使用します。

**8 ■ STOP/CLEAR ボタン (40 ページ)**  
プリント中：STOP ボタンとして機能します。連続プリント中に押すと、現在プリント中のものが終了した時点でプリントが終了します。  
プリント中以外のとき：CLEAR ボタンとして機能します。押すと、メモリーに記憶された画像がメモリーから消去されます。このボタンを押して消去できる画像は、「FUNCTION SETUP」メニューの設定に従います。設定が「OFF」になっているときに、このボタンを押すとエラー音が鳴ります。

**9 ■ MULTI PICTURE ボタン (33 ページ)**  
通常画面で、メモリーに記憶する分割画像の種類（フル画面、2分割画面、4分割画面）を選びます。押すと、数秒間現在の画像の種類を表示します。押すごとに、1、2、4、1……の順に切り換わります。  
「LAYOUT SETUP」メニューの「MULTI PIX」も連動して切り換わります。

**10 □ PRINT QTY ボタン (28 ページ)**  
プリントの枚数を設定します。最大9枚まで設定でき、押すと数秒間現在の設定枚数を表示します。  
「PRINTER SETUP」メニューの「PRINT QTY」も連動して切り換わります。  
プリント中に本ボタンを押すと、現在プリント中のプリント枚数の設定値を変更できます。

**11 ⇠ CAPTURE ボタン**  
プリントする画像をメモリーに記憶させるときに押します。

**12 □ PRINT ボタン**  
メモリーに記憶されている画像をプリントするときに押します。

**13 ① POWER スイッチ**  
本機の電源をオンまたはオフ（入／切）にします。

**14 トレイライト**  
排紙口を照らします。（設定変更が可能です。）（60 ページ）

**15 給紙トレイ (21 ページ)**  
プリント紙を入れておくトレイです。トレイ上には、排紙されたプリント画がたまります。

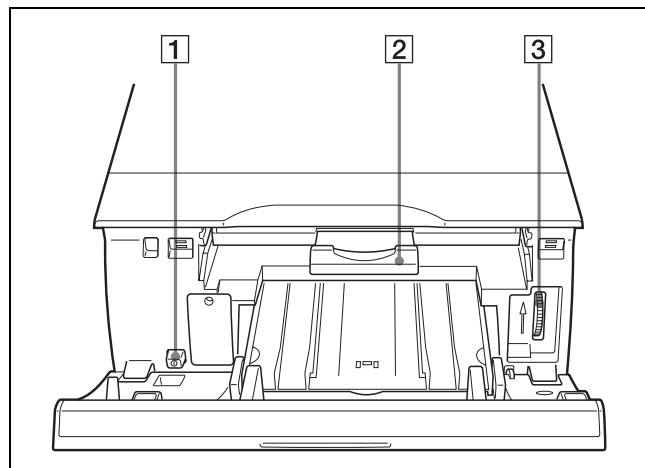
**16 ▲ (イジェクト) マーク**  
給紙トレイを取り出すときに押します。

**17 EXEC ボタン**  
メニュー内の設定値を確定するときに使用します。

**18 ⇠ MEMORY PAGE ボタン (29、32、41 ページ)**  
使用するメモリーページを選ぶときに使います。

**19 ⇠ SOURCE/MEMORY ボタン**  
モニター画面に映し出す画像を切り替えます。押すごとに、メモリー画像と入力源の画像が切り換わります。

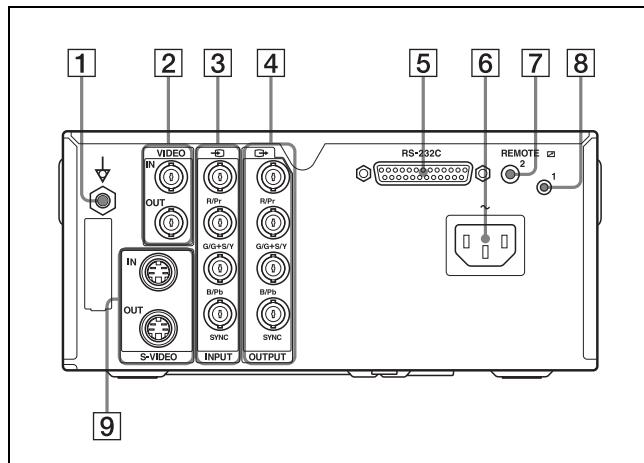
#### リボンドアパネルを開けたとき



**1 ① POWER スイッチ**  
本機の電源をオンまたはオフ（入／切）にします。このスイッチにより、リボンドアパネルを開けた状態でも電源のオン／オフが可能です。

**2 リボントレイ (20 ページ)**  
インクリボンをセットするトレイです。

**3 ダイヤル (76 ページ)**  
プリント紙が内部に詰まったときに、手動でプリント紙を取り除きます。



**1** 等電位端子

本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

**2** VIDEO IN/VIDEO OUT (コンポジットビデオ信号入力/コンポジットビデオ信号出力) (18 ページ)

VIDEO IN 端子：コンポジットビデオ信号出力端子を持つビデオ機器と接続します。

VIDEO OUT 端子：コンポジットビデオ入力端子を持つビデオ機器と接続します。

**3** INPUT (RGB/YPbPr/SYNC 映像信号入力) 端子 (17 ページ)

RGB/YPbPr 信号出力端子を持つビデオ機器と接続します。

**4** OUTPUT (RGB/YPbPr/SYNC 映像信号出力) 端子 (17 ページ)

RGB/YPbPr 信号入力端子を持つビデオ機器と接続します。

**5** RS-232C コネクター (18 ページ)

コンピューターで本機をコントロールするとき、コンピューターを接続します。

**6** AC IN (電源入力) 端子 (17 ページ)

電源コードをつなぎます。

**注意**

電源コードの接続には、3 極 → 2 極変換プラグを使用しないでください。

**7** REMOTE (リモート) 2 端子 (ステレオミニジャック) (19 ページ)

別売りのリモコン RM-91 またはフットスイッチ FS-24 と接続します。

**8** REMOTE (リモート) 1 端子 (19 ページ)

別売りのリモートコントロールユニット RM-5500 をワイヤードリモコンとして使用するときに接続します。

**9** S-VIDEO IN/S-VIDEO OUT (S 映像入力/S 映像出力) 端子

S-VIDEO IN 端子：S 映像信号出力端子を持つビデオ機器と接続します。

S-VIDEO OUT 端子：S 映像信号入力端子を持つビデオ機器と接続します。

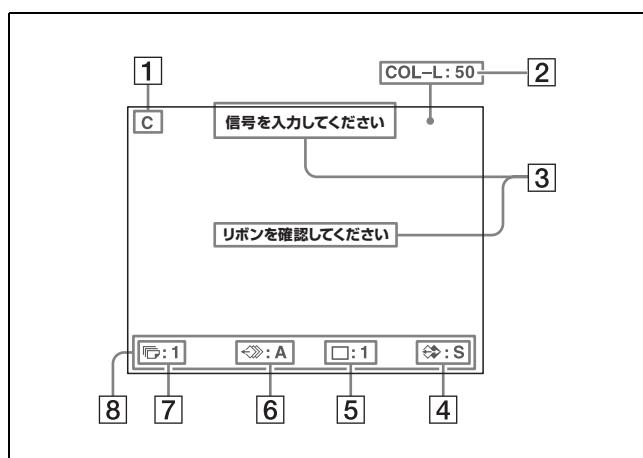
## モニター画面

本機にモニターを接続した場合、モニター画面には、以下のように表示が出ます。

メニュー画面については、メニューの構成 (45 ページ) をご覧ください。

### 通常画面

① POWER スイッチを ON にし、操作が可能となると、次の通常画面が現れます。



**1** C (キャプション) 表示部

プリント画にコメント (キャプション) が付く設定の場合は C と表示されます。

**2** インクリボンの種類・残量表示部

インクリボンの種類と残量が表示されます。

**3** メッセージ表示部

通常メッセージは、画面上部に表示されます。緊急度の高いメッセージは、画面中央部に表示されます。

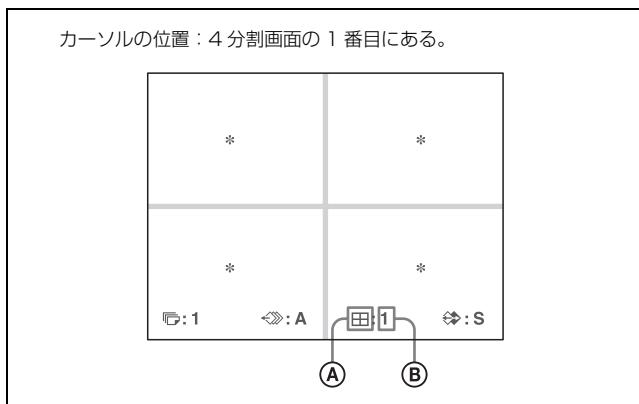
**4** 入力信号またはメモリー画像表示部

モニター画面に入力源の画像が出ている場合は、「S」と表示されます。

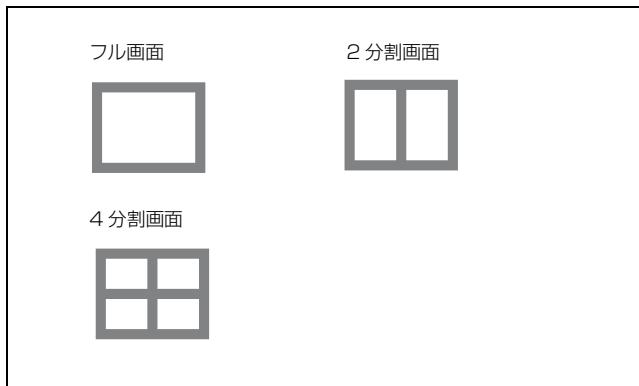
モニター画面にメモリーに記憶した画像 (メモリー画) が出ている場合は、「M」(MEMORY) と表示されます。

## 5 プリンター動作モード表示部

プリンターの動作モード（分割画面の種類など）を表示します。



Ⓐ 分割画面の種類を表示します。



Ⓑ 現在カーソルのある位置を表示します。これから画像が記憶される箇所です。

## 6 メモリーページ表示部

選ばれているメモリーページを表示します。  
プリント中のメモリーページ、またはプリント予約されているメモリーページは点滅します。

## 7 プリント枚数表示部

プリント枚数を表示します。プリント中は点滅します。

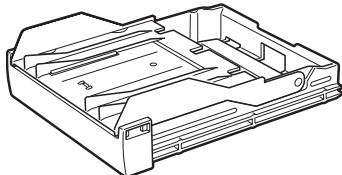
## 8 設定表示部

MULTI PICTURE、PRINT QTY、DISPLAY ボタンを押すと現在の設定が表示されます。

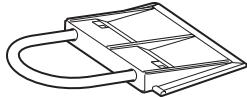
# 付属品を確認する

付属品を確認してください。

給紙トレイ (1)



ストッパー (1)



感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1)



お試し用カラープリントパック (カラープリントパック  
UPC-21L 50枚分) (1)

取扱説明書 (1)

電源コード (1)

保証書 (1)

### ご注意

- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンと給紙トレイを取りはずし、プリンター内部の感熱ヘッドを固定してください。詳しくは「輸送するときは」(64 ページ)をご覧ください。

# 接続する

プリントするには、プリントする画像の信号源となるビデオ機器などの接続と、画像やメニューを見るためのモニターの接続が必要です。

各接続図には、本機に入力する信号源との接続、本機から出力する信号の各機器への接続、リモートコントロールで操作する場合の接続などをまとめて示してあります。実際の接続の際は、接続する機器に合わせて必要な信号のみを接続してください。

### ご注意

- 接続するときはすべての機器の電源を必ず切ってください。
- 電源コードは最後に接続してください。



### 警告

この機器のコネクターは絶縁されておりません。

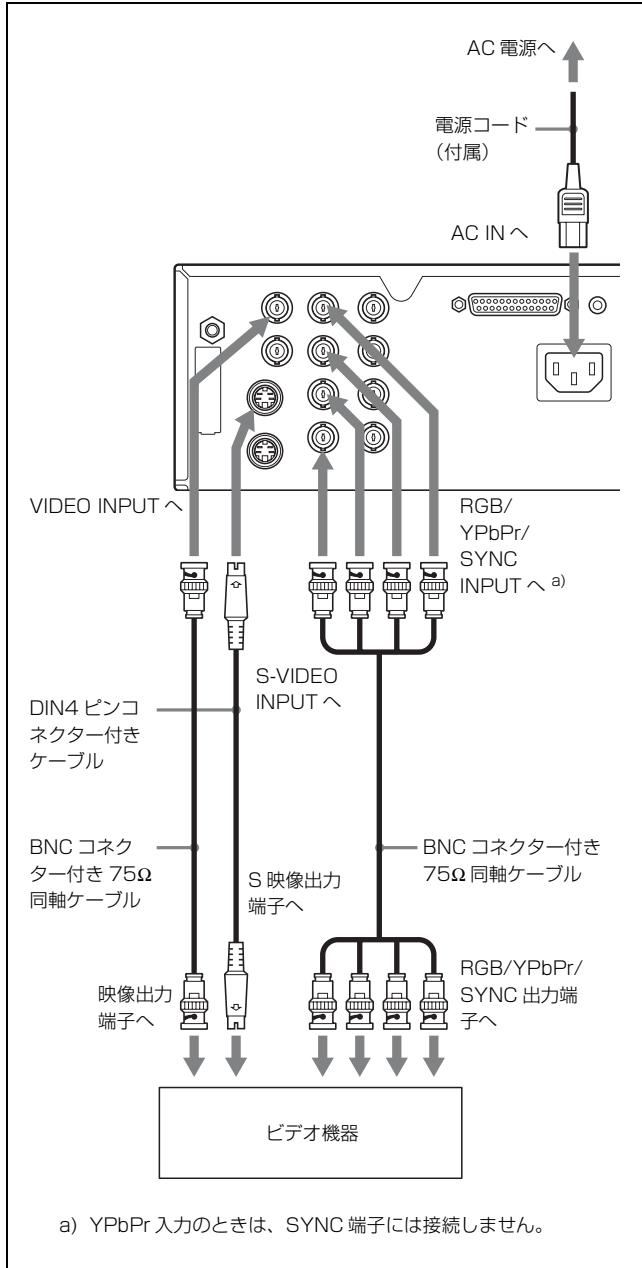
ご使用にあたっては、IEC 60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC 60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

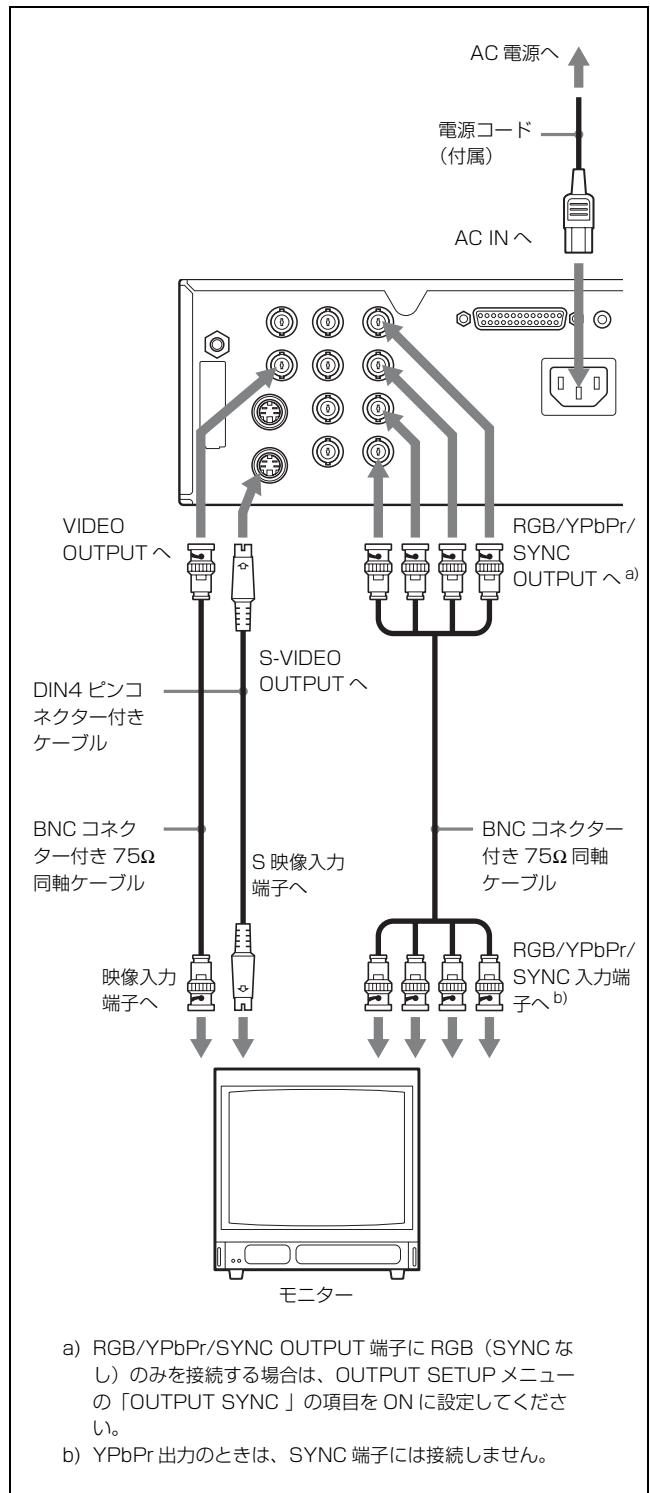
# ビデオ機器を接続する

ビデオ機器などからの画像を記憶するために次の接続をします。接続はまとめて示してあります。実際の接続の際は、接続する機器に合わせて必要な信号のみを接続してください。



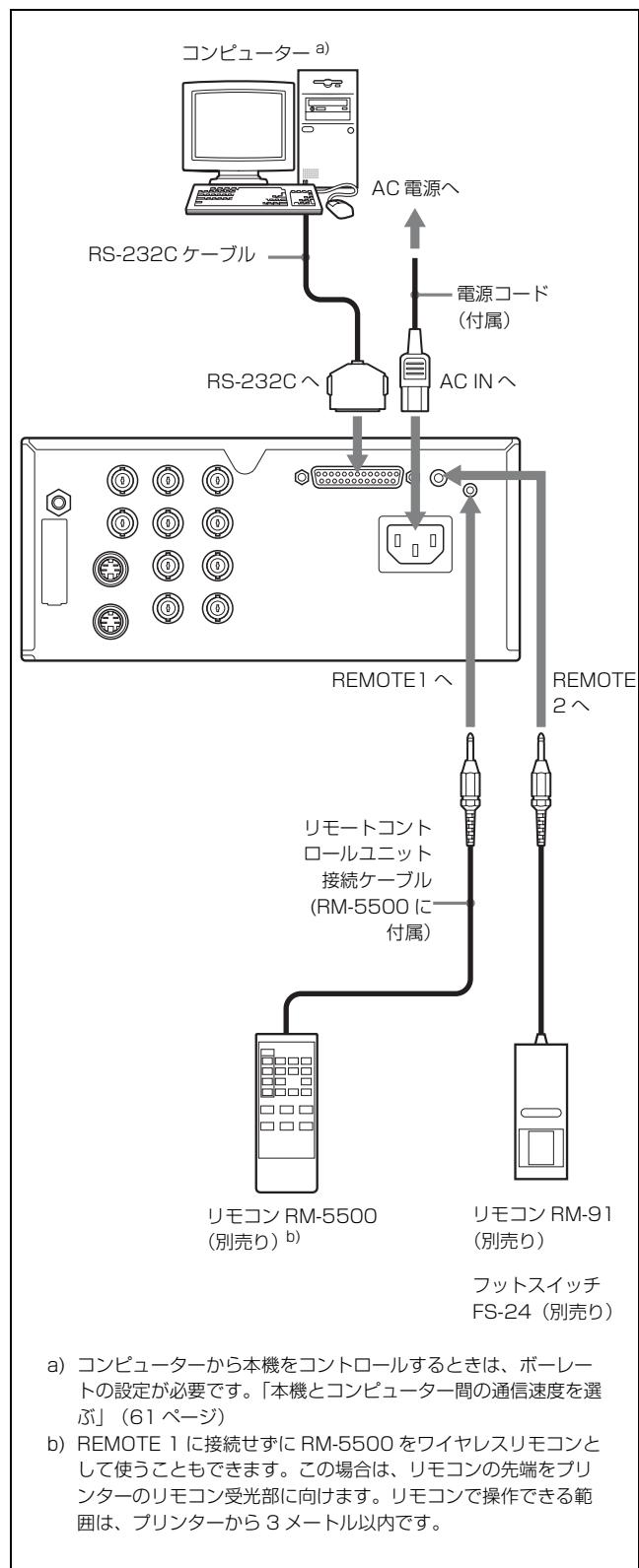
## モニターを接続する

プリントする画像、メモリーに記憶された画像を見るためにはモニターを次のように接続してください。



## リモコンを接続する

別売りのリモートコントロールユニット RM-5500、RM-91、フットスイッチ FS-24、あるいはコンピューターなどを接続して、本機をリモートコントロールできます。



- a) コンピューターから本機をコントロールするときは、ボーレートの設定が必要です。「本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ」(61 ページ)
- b) REMOTE 1 に接続せずに RM-5500 をワイヤレスリモコンとして使うこともできます。この場合は、リモコンの先端をプリンターのリモコン受光部に向けます。リモコンで操作できる範囲は、プリンターから 3 メートル以内です。

# プリントする前に

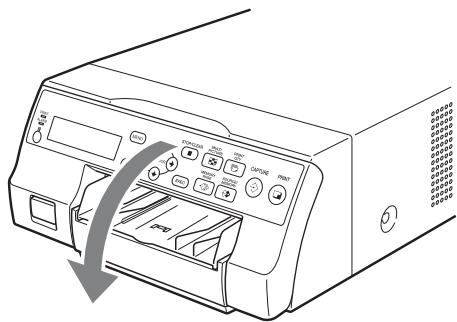
ここでは、プリンターの接続（17ページ）が終了した後、実際のプリントを始める前の準備として、インクリボンおよびプリント紙の取り付けかたを説明します。

## インクリボンを取り付ける

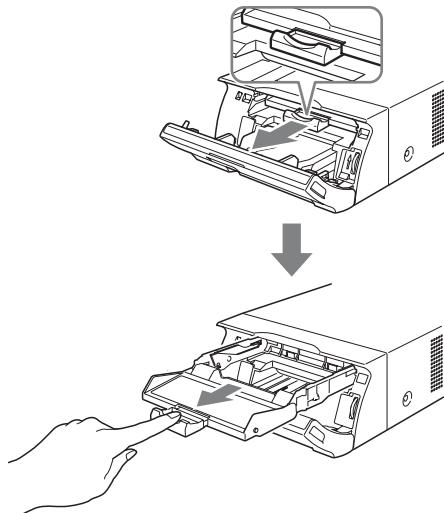
### ご注意

初めてお使いになる場合、ヘッドが輸送ポジションに設定されている場合があります。初めに電源を入れ輸送ポジションを解除してからリボントレイを引き出してください。また、モニター画面に「しばらくお待ちください」（または液晶ディスプレイに「PLEASE WAIT」）と表示されているときは、リボンドアパネルを開けないでください。

1 リボンドアパネルを開ける。

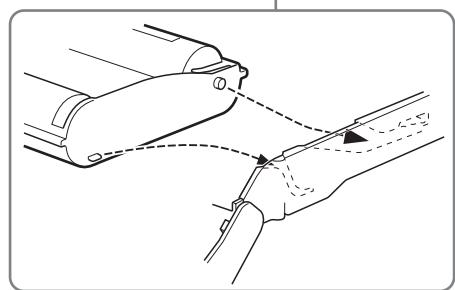
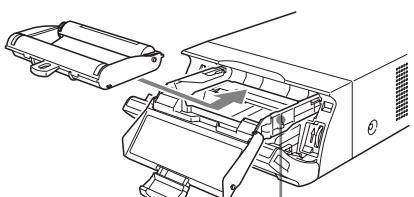


2 リボントレイをまっすぐ引き出す。



3 インクリボンをセットする。

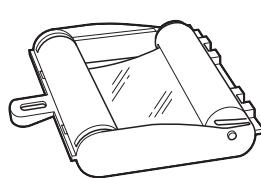
① インクリボンの側面の突起（左右それぞれ2か所）をリボントレイの溝に合わせます。



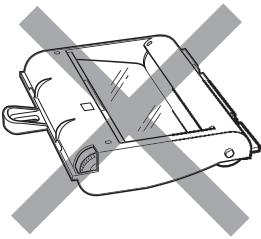
### ご注意

- ・インクリボンは、表と裏を間違えないよう、正しい向きでセットしてください。

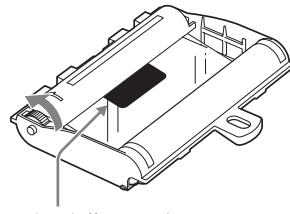
正しい向き



間違った向き



- ・インクリボンを装着する前に、スタート位置マークが図の位置にくるように、ギアを矢印の方向に回してたるみをとってください。

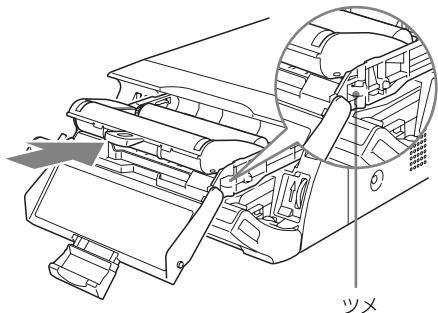


スタート位置マーク

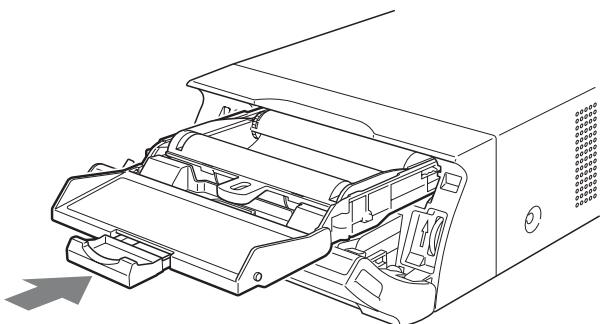
② インクリボンをリボントレイの奥までまっすぐに挿入します。

### ご注意

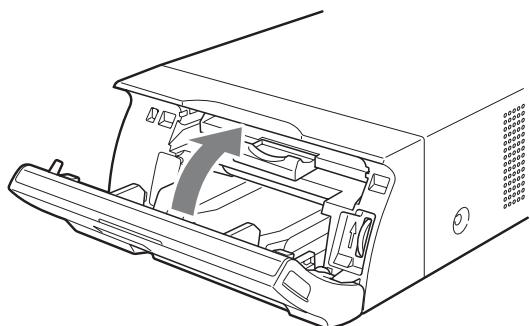
リボントレイ側面の白いツメに触れないでください。  
インクリボンが正しく装着できない場合があります。



4 リボントレイを奥までまっすぐに挿入する。



5 リボンドアパネルを閉じる。



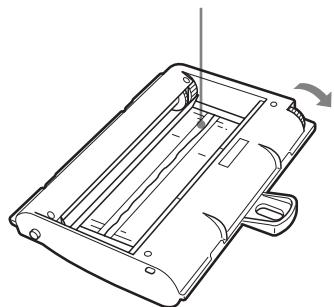
### リボントレイを取り出すときは

インクリボンの交換時などにリボントレイを取り出すときは、手前によっすぐ引いて抜いてください。

### インクリボンが途中で切ってしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのインクリボンを使うことができます。

セロハンテープ



セロハンテープが見えなくなるまで巻き取り側の黒（またはグレー）のギアを矢印の方向に回してインクリボンを巻き取る（インクリボンがたるまないようにしてください）。

## プリント紙を入れる

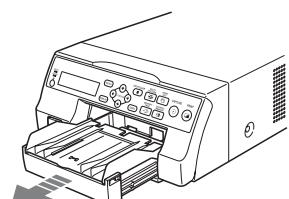
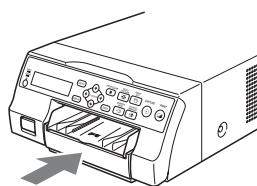
次の手順で、給紙トレイにプリント紙を入れ、プリンター本体に取り付けてください。

初めてお使いになる場合は、手順2から始めてください。

### ご注意

- ・プリント面には手を触れないように注意してください。
- ・プリント紙は本機で推奨しているものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、紙詰まりなど、故障の原因になりますのでご注意ください。インクリボンとプリント紙について詳しくは「使えるインクリボンとプリント紙」（67ページ）をご覧ください。
- ・モニター画面に「リボンがありません リボンを取り替えてください」（または液晶ディスプレイに「CHANGE RIBBON」）というメッセージが表示された場合は、インクリボンがなくなった状態です。この場合は、新しいリボンに交換し、新しいプリント紙を入れてください。
- ・給紙トレイを着脱するときは、プリンターが動いて落下する可能性がありますので、ご注意ください。

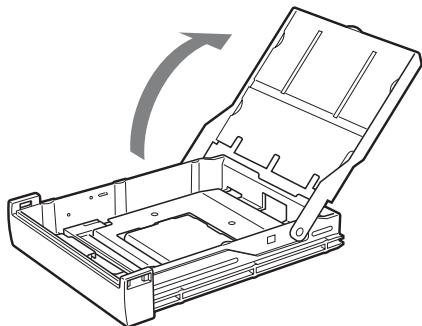
1 給紙トレイの▲マークの部分を押して、給紙トレイを取り出す。



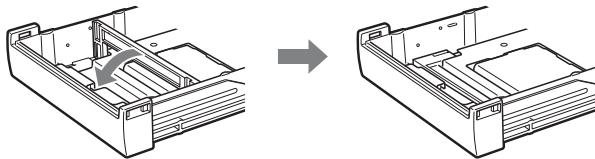
2 給紙トレイのふたを開け、プリント面を上にして保護シートと一緒にプリント紙を入れる。

## プリントパック UPC-21L をお使いの場合：

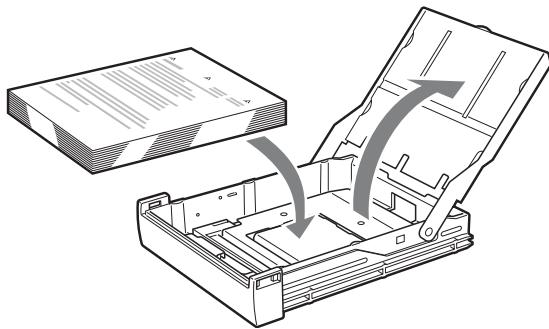
① 給紙トレイのふたを開ける。



② 給紙トレイの仕切りを立てているときは、倒す。

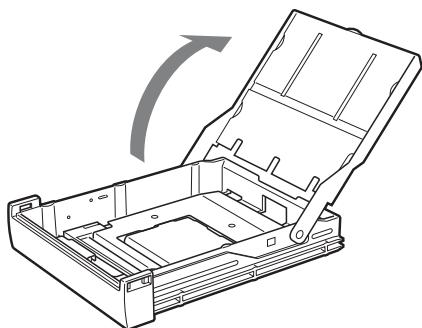


③ 保護シートの▲マークを給紙トレイ内部の△マークと同じ向きにして、プリント紙をきれいに揃えて給紙トレイに入れる。

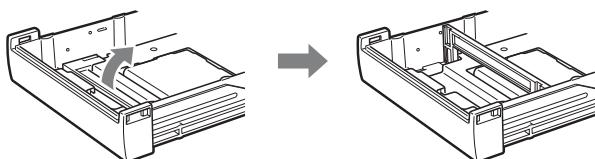


## プリントパック UPC-21S をお使いの場合

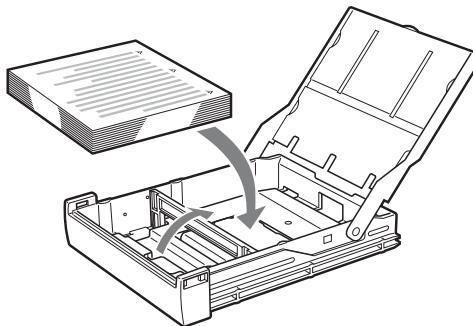
① 給紙トレイのふたを開ける。



② 給紙トレイの仕切りが倒れているときは、立てる。



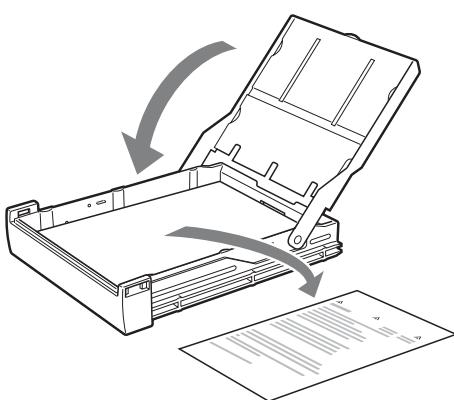
③ 保護シートの▲マークを給紙トレイ内部の△マークと同じ向きにして、プリント紙をきれいに揃えて給紙トレイに入れる。



### ご注意

- ・プリント紙のみを追加しないでください。プリント紙がなくなったら、プリント紙と一緒にインクリボンも交換してください。途中でプリント紙を補給すると紙詰まりの原因となります。
- ・プリント紙を取り扱うときはプリント面に触れないでください。手あかやほこりが付着するとプリント面が汚れることがあります。プリント面が汚れないように、保護シート（注意文が印刷されています）を付けたまま取り扱ってください。
- ・給紙トレイにプリント紙が完全に収まるように正しく入れてください。反りのあるプリント紙を使うと、給紙トレイからプリント紙がはみ出して正常に給紙できないことがあります。必ず、保護シートごとさばいて反りをなくしてから使ってください。
- ・異なる種類のプリント紙を混在させて給紙トレイに入れないでください。

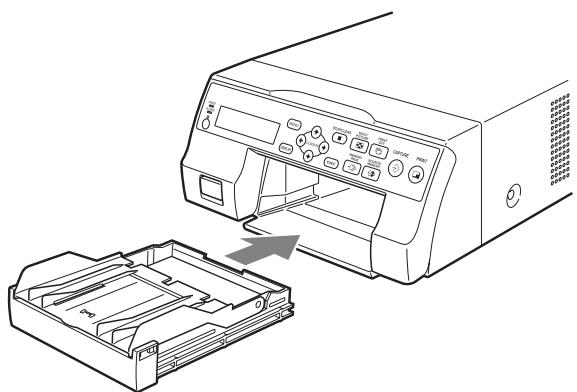
3 保護シートを取り除き、ふたを閉める。



### ご注意

保護シートは捨てないで保管しておいてください。保護シートの裏面（印刷されていない面）を、クリーニングシートとして感熱ヘッドのクリーニングに使用します。クリーニングについて詳しくは「感熱ヘッドのクリーニング」（65 ページ）をご覧ください。

4 紙トレイをカチッと音がするまでプリンターに差し込む。



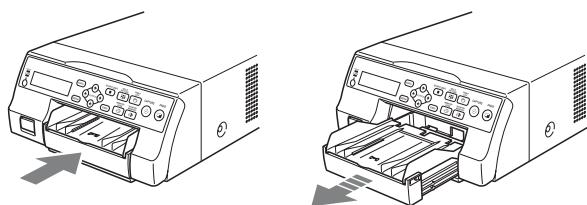
#### ご注意

- ・紙トレイを奥まで差し込むことができない場合は、紙トレイ挿入部にプリント紙があるか確認してください。あった場合は取り除いてください。
- ・排出されたプリント紙を10枚より多くためないでください。紙詰まりの原因となります。

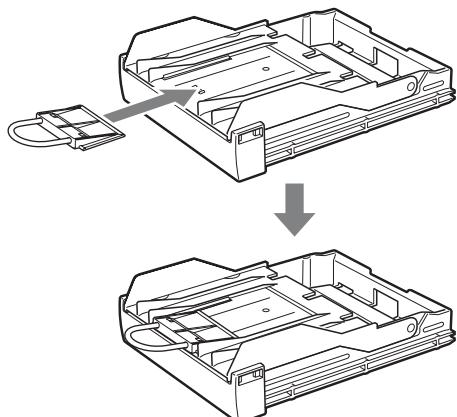
#### ストッパーの取り付け方法

プリント紙を複数枚排出していると、たまたまプリント紙が紙トレイから飛び出しがあります。この場合はストッパーを紙トレイに取り付けてください。

1 紙トレイの△マークの部分を押して、紙トレイを取りはずす。



2 ストッパーを、紙トレイのふたの溝（2か所）にはめ込み、まっすぐ奥まで挿入する。

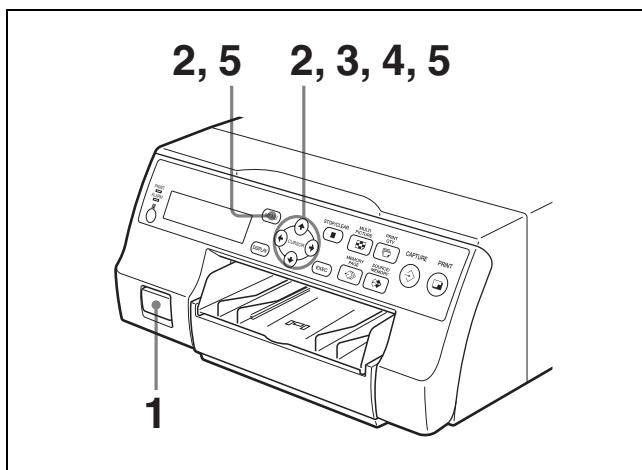


#### ご注意

ストッパーの金属部分は引っ張らないでください。

## 入力信号を選ぶ

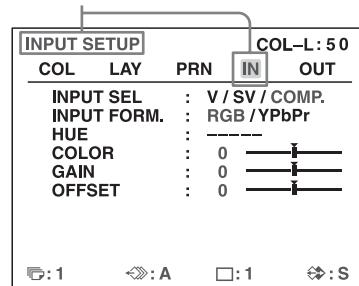
プリンター裏面の入力端子に接続したビデオ機器からの信号に合わせて入力信号を選びます。



1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。

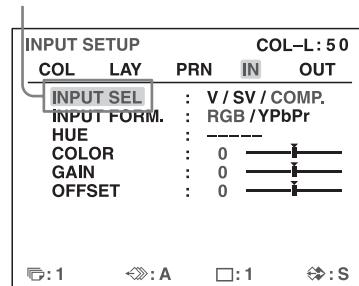
2 MENU ボタンを押し、↑、↓、←、→ ボタンを押して INPUT SETUP メニューを表示させる。

↑、↓、←、→ ボタンで「IN」を緑色に点灯させる  
と、「INPUT SETUP」が表示される。



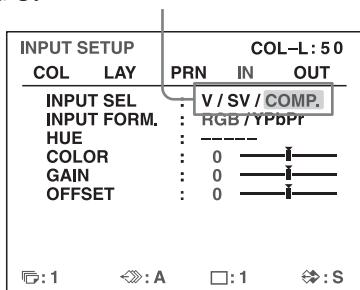
3 ↑、↓ ボタンで「INPUT SEL」を選ぶ。

↑、↓ ボタンを押して「INPUT SEL」を緑色に点灯させる。



#### 4 ←、→ ボタンでプリントする入力信号を選ぶ。

←、→ ボタンを押して希望の入力信号を緑色に点灯させる。選択した入力信号は点灯し、同時に全体表示に変わる。



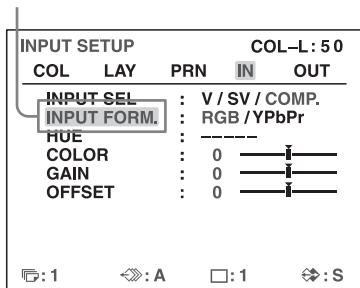
プリントしたい画像	画面上の表示（選ばれた入力信号は略表示から全体表示になる）
裏面の VIDEO IN 端子に接続したビデオ機器からの画像	V → VIDEO
裏面の S VIDEO IN 端子に接続したビデオ機器からの画像	SV → S-VIDEO
裏面の RGB/YPbPr/SYNC INPUT 端子に接続したビデオ機器からの画像	C → COMP.
INPUT 端子に接続したビデオ機器からの画像	

#### COMP. を選択した場合

裏面の RGB/YPbPr INPUT 端子に入力した画像データをプリントする場合は、入力するコンポーネント信号のタイプに合わせて選択します。

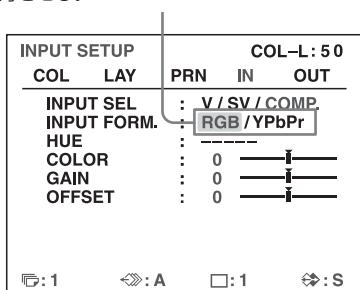
① ↓ ボタンを押して「INPUT FORM.」を選ぶ。

↑、↓ ボタンを押して「INPUT FORM.」を緑色に点灯させる。



② ←、→ ボタンで入力信号のタイプを選ぶ。

←、→ ボタンを押して希望の入力信号を緑色に点灯させる。



#### RGB/YPbPr/SYNC INPUT 端子 選択肢

##### 子に入力する信号

RGB 入力信号のとき	RGB
YPbPr 入力信号のとき	YPbPr

RGB/YPbPr OUTPUT 端子からは、INPUT FORM で選択された信号と同じフォーマットの信号が出力されます。

5 MENU ボタンを押す。  
通常画面に戻ります。

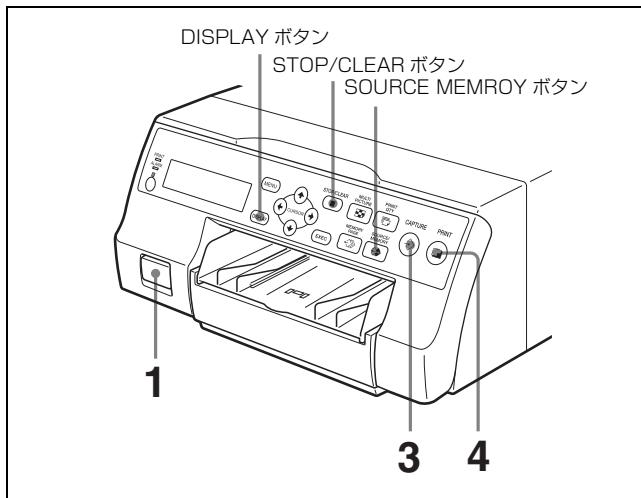
# 1枚に1画面をプリントする

プリント紙1枚全体に1画面をプリントします。(これをフル画面と呼びます。) この操作のしかたが、プリントするときの基本的な操作手順になります。

## 確認

ここでの操作をする前に、以下のことを済ませておいてください。済ませていない場合は、参照ページをご覧ください。各設定は電源を切ってもそのまま残ります。

- ・ビデオ機器などと接続します。(17ページ)
- ・インクリボンとプリント紙の組み合わせ、および正しく取り付けられていることを確認します。(20、21、67ページ)
- ・入力信号を選びます。(23ページ)
- ・フル画面でプリントするように設定をします。(33ページ)
- ・メモリーページを選びます。(32ページ)
- ・色調節(LOAD COLOR番号など)を確認します。(50ページ)



1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。

2 ビデオ機器などの入力源からの画像をモニター画面に映し出す。  
この操作はビデオ機器など接続した機器で行います。



モニター画面に映し出されている画像が、入力源から送られてきている画像であることを示す。

3 プリントしたい画像が現れたら、CAPTUREボタンを押す。  
プリンターのメモリーに画像が記憶されます。  
モニター画面には、メモリーに記憶された画像が映し出されます。  
プリンターのFUNCTION SETUP機能の設定で、モニター画面の画像が自動的に入力画に切り換わるモードを選ぶこともできます。(34ページ)



モニター画面に映し出されている画像が、プリンターのメモリーに記憶されたものであることを示す。

## 記憶した画像がぶれていたら

速く動いている画像を記憶させると、画像がぶれてしまうことがあります。メモリーモードをFIELDに変えてプリントすることにより、プリント画からぶれを取り除くことができます。この場合、解像度が多少落ちます。

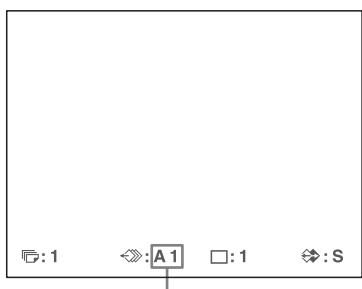
LAYOUT SETUPメニュー上で、FIELD(フィールド)モードを選びます。(31ページ)

## ご注意

通常は、「FRAME」の設定でプリントすることをおすすめいたします。(ご購入時は、「FRAME」に設定されています。) 設定は、画面下部の表示で確認できます。



フレームモードが選択されている場合



フィールドモードが選択されている場合

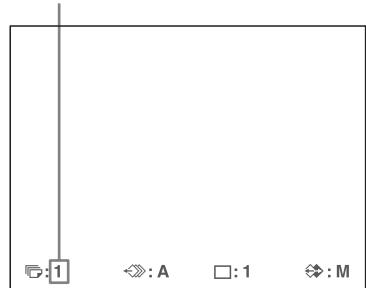
## メモリーに記憶した画像を変更するには

- ① 画面にメモリー画が表示されている場合は、  
SOURCE/MEMORY ボタンを押して、入力画像  
を表示させる。
- ② プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタ  
ンを押す。  
メモリーには、前に記憶されていた画像に変わつ  
て新しい画像が記憶されます。

## 4 PRINT ボタンを押す。

プリント時間は、プリンターの設定で変わります。

モニター画面の場合、プリント中プリントされている色  
が表示される。: プリント開始 → 黄色 → 紫色 →  
水色 → プリント終了



液晶ディスプレイの場合、プリントされている  
色が文字で表示される。

## ご注意

- ・プリント中は電源を切らないでください。  
プリント中に電源を切ると、プリント紙が排出されず紙  
づまりの原因になる場合があります。
- ・プリント中にフロントドアを開けたり、給紙トレイを取  
りはずさないでください。プリント紙が排出されず、紙  
づまりの原因になる場合があります。
- ・給紙トレイにプリント紙を 10 枚より多くためないでくだ  
さい。紙づまりの原因になります。10 枚以下の場合でも  
プリント画の状態によっては、プリントがとまりモニ  
ター画面に「たまつたプリント紙を取り出してください」  
(または液晶ディスプレイに「REMOVE PRINTS」) とい  
うメッセージが出て、プリントが中断される場合あり  
ます。その場合は、プリント紙を取り除いてください。  
自動的にプリントが再開されます。
- ・プリント中は、動作モードの変更や WINDOW SETUP  
画面上での調節などができないになります。

## プリントを止めるには

**1 枚のプリント画を作成している場合**：途中で止めることはできません。

**同じプリント画を連続して複数枚プリントしている場合**：

STOP/CLEAR ボタンを押します。現在プリント中のもの  
が終了した時点でプリントが終了します。また、プリント  
予約されたものはキャンセルされます。

枚数の設定については、「枚数を設定するには」(28 ペー  
ジ) をご覧ください。

## プリントできないときは

PRINT ボタンを押してもプリントできないときは、モニター画面または液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。そのような場合は、「メッセージ一覧」(73 ページ)をご覧ください。

## プリント速度を変更するには

PRINTER SETUP メニューの「PRN SPEED」を次のどちらかに設定します。

PRN SPEED	内容
NORMAL	通常のスピードでプリント画を作成する。 黒濃度の高いプリント画を作成できる。
HIGH	高速でプリント画を作成する。

メニュー画面の操作については、「メニューの基本操作」(46 ページ)をご覧ください。

## 画面表示の下に隠れている画像を確認したいときは

画面表示の文字 (Q1、A など) やインクリボンの種類および残り枚数表示の下に確認したい画像が隠れてしまっているときなどに、DISPLAY ボタンを押して、画面の文字を消すことができます。「モニター画面の画面表示を消す」(42 ページ)。またインクリボンの種類および残り枚数を表示させないようにしておくこともできます。「インクリボンの種類と残量を表示させる」(61 ページ)

## プリント画に黒い線が入っていたときは

モニター画面上では入っていないのに、プリントすると黒い線が入ってしまうことがあります。このときは、黒い線が入らないように調整することができます。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」(52 ページ)

## プリント画の色がきれいに出ないときは

接続機器に合わせて入力信号の色調の補正、プリント画の画質の調整などを行ってよりきれいなプリント画を作ることができます。「プリント画の画質を調整する」(50 ページ)、「色を指定して調整する (HSV 調整)」(55 ページ)、「入力映像の色調を補正する」(48 ページ)。

また、プリントパックにはペアごとに色のばらつきがある場合があります。新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときは、カラーバランスの調整を行うことをおすすめします。「カラーバランスを調整する」(53 ページ)

## プリント画を保存するときは

- プリント画は光の当たらない室温以下のところに保存してください。
- プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑材を含むものに触れさせないでください。

- プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

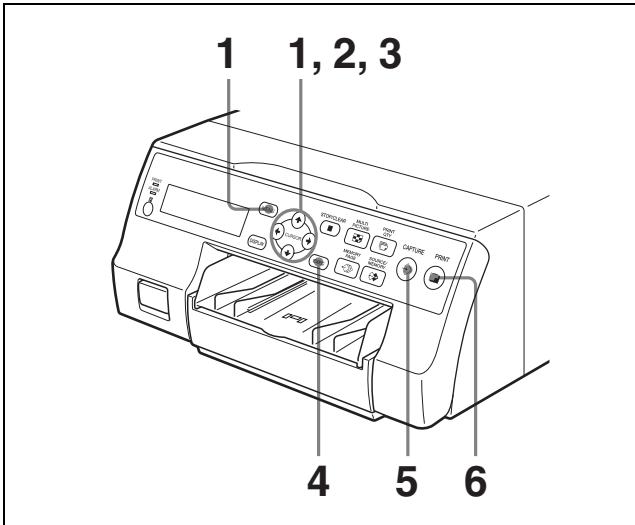
## ユーザー登録した内容でプリントする

本機のメニュー画面で行えるすべての設定や調整などをユーザー設定として 3 種類登録しておくことができます。

(「調整値をユーザー設定として登録する」(62 ページ))

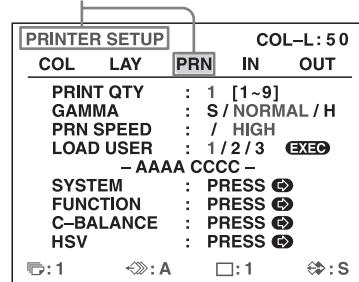
プリントするときは、ユーザー設定番号を選ぶだけで希望通りの設定のプリント画ができます。

希望のユーザー設定を選んだ後、設定や調整を変更してプリントすることもできます。



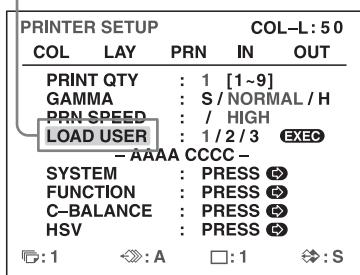
- 1 MENU ボタンを押し、↑、↓、←、→ ボタンを押して PRINTER SETUP メニューを表示させる。

↑、↓、←、→ ボタンで「PRN」を緑色に点灯させると、「PRINTER SETUP」が表示される。



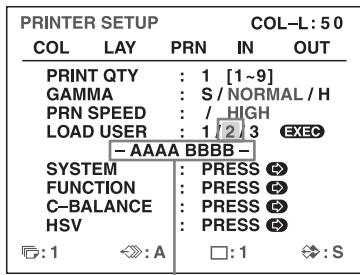
## 2 ↑、↓ボタンで「LOAD USER」を選ぶ。

↑、↓ボタンを押して「LOAD USER」を緑色に点灯させる。現在選択されているユーザー設定が点灯している。



## 3 ←、→ボタンで希望のユーザー設定を選ぶ。

←、→ボタンを押して希望のユーザー設定を緑色に点灯させる。



現在選択されているユーザー番号のユーザー名が表示される。

## 4 EXECボタンを押す。

プリンターは、手順3で選んだユーザー設定の仕様に切り換わります。

## 5 プリントしたい画像が現れたら、CAPTUREボタンを押す。

プリンターは手順3で選んだユーザー設定に従ってプリンターのメモリーに画像を記憶します。

## 6 PRINTボタンを押します。

プリンターは手順3で選んだユーザー設定に従ってプリントします。

## 同じプリント画を連続してプリントする

同じプリント画を続けて9枚までプリントできます。

### 枚数を設定するには

次のいずれかの操作でプリント枚数を設定します。

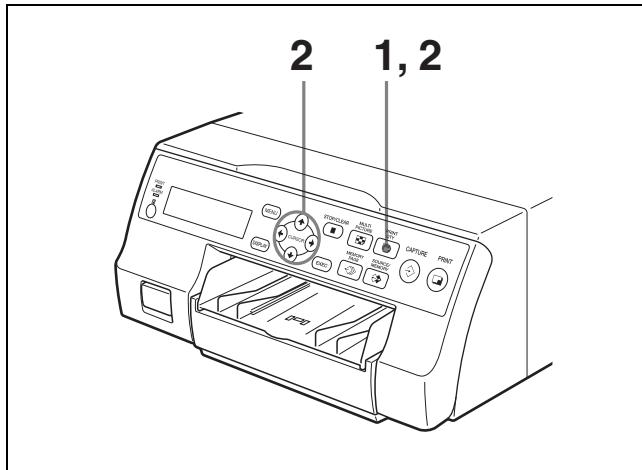
- PRINT QTYボタンで指定する。
- メニュー画面上で設定する。

プリントする前、または、プリント中に、枚数を変更できます。

### ご注意

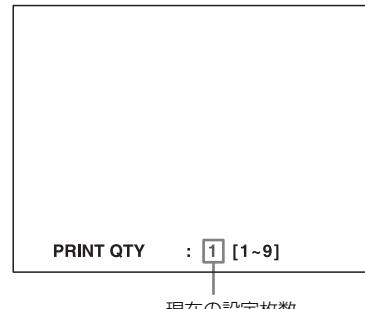
プリント中に枚数を変更したときは、現在プリント中の枚数のみ変更されます。プリントが終了すると、プリントする前に設定したプリント枚数に戻ります。

### PRINT QTYボタンで枚数を指定するには



#### 1 PRINT QTYボタンを押す。

次の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。

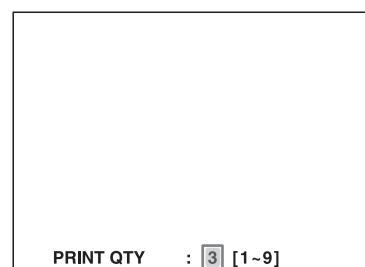


現在の設定枚数

#### 2 手順1で現れた画像が表示されている間にPRINT QTYボタンを押して、希望の枚数を表示させる。

PRINT QTYボタンを押すごとに、1枚ずつ増えます。9までいくと1に戻ります。

または、→ボタンを押しても、1枚ずつ増えます。9までいくと1に戻ります。



希望の枚数が現れるまでPRINT QTYボタン、または→ボタンを押す。

## 枚数を減らすには

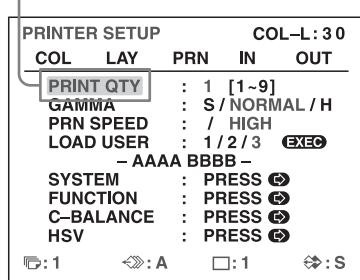
手順1で現れた画面が表示されている間に、**←**ボタンを押すと、1枚ずつ減ります。1までいくと9になります。

## メニュー画面上で指定するには

1 「ユーザー登録した内容でプリントする」(27ページ)の手順1の操作でPRINTER SETUPメニューを表示させる。

2 **↑、↓**ボタンで「PRINT QTY」を選ぶ。

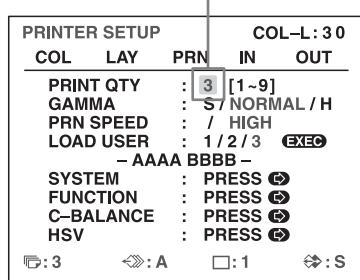
**↑、↓**ボタンを押して「PRINT QTY」を緑色に点灯させる。



3 **←、→**ボタンで枚数を指定する。

枚数の指定	押すボタン
枚数を減らすとき	<b>←</b>
枚数を増やすとき	<b>→</b>

**←、→**ボタンを押して希望の枚数を表示させる。



4 MENUボタンを押す。

通常画面に戻ります。

## ご注意

連続してプリントしているとき、排出されたプリント画の状態によっては、プリントが中断され、モニター画面に「たまたまプリント紙を取り出してください」(または液晶ディスプレイに「REMOVE PRINTS」)というメッセージが出る場合があります。その場合は、プリント紙を取り除いてください。続きの枚数からプリントが再開されます。

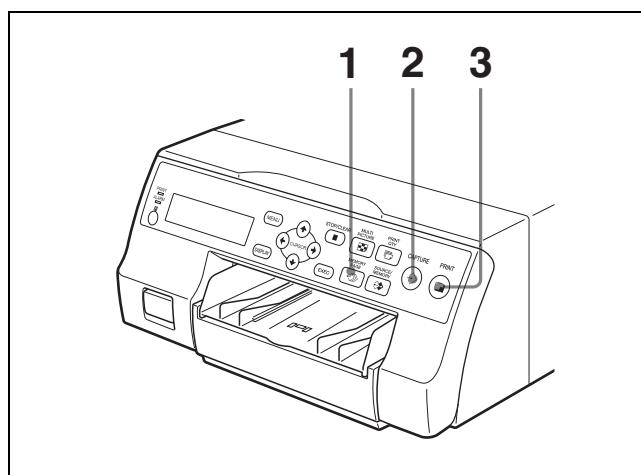
## プリント中にプリント紙がなくなったときは

プリンターはプリント動作を終了します。このとき、設定枚数は、元の設定に戻ります。例えば、Q5の設定でプリント開始し、Q3で終了しても、プリント紙を補給して(「プリント紙を入れる」(21ページ))、もう一度PRINTボタンを押すと、5枚プリントされます。残りの枚数だけをプリントしたい場合は、枚数を設定し直してください。

## プリント中に別の画像のプリントを予約する

プリント中に、別のメモリーページを選んで画像を記憶し、次のプリントを予約できます。

使用できるメモリーページは、プリント画の種類と設定により異なります。「メモリーページについて」(32ページ)



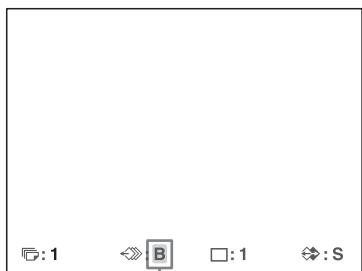
1 MEMORY PAGEボタンでメモリーページを選ぶ。  
MEMORY PAGEボタンを押すごとに、メモリーページが変わります。



画像を記憶できるメモリーページは点滅しています。

2 プリントしたい画像が現れたら、CAPTUREボタンを押す。

**3** PRINT ボタンを押す。  
プリントが予約されました。現在プリント中のものが終わったら、引き続きプリントされます。



予約されたメモリーページ（モニター画面上では、点滅）プリントが終わるとモニター画面上のメモリーページ点滅から点灯に変わる。

### ご注意

すでにプリント予約されているメモリーページ（点滅）には、画像を記憶できません。このような場合は、モニター画面に「しばらくお待ちください プリント中のメモリーです」（または液晶ディスプレイに「PLEASE WAIT PRINTING MEMORY」）というメッセージが出ます。

**4** 残りのメモリーページも予約するには、手順1、2、3を繰り返す。

## いろいろなプリント画を作る

本機では、数種類の画像をメモリーに取り込み、記憶させておくことができます。また、プリントのしかたを変えることにより、いろいろなプリント画を作ることができます。

フル画面



2分割画面



4分割画面



各分割画面の画像間に白枠を付けることもできます。「白枠付き分割画面をプリントするには」（36ページ）

また、プリント画にキャプションを入れることもできます。「プリント画にコメントを入れる」（37ページ）

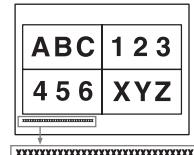
### キャプションの印刷について

コメントなどのキャプションをプリント画の下に小さく入れることができます。

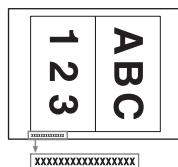
フル画面



4分割画面



2分割画面



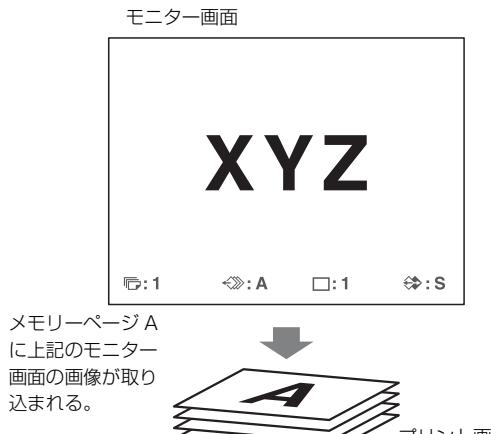
## メモリーモードについて – メモリーモードを選ぶ

### フレームモード／フィールドモードについて

プリントするには、まずプリントする画像をプリンターのメモリーに記憶させます。

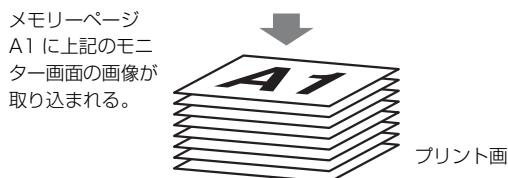
メモリーには、フレームモードとフィールドモードの2種類があります。

**フレームモード**：1枚のメモリーに画像を記憶します。高解像度のプリント画が得られます。



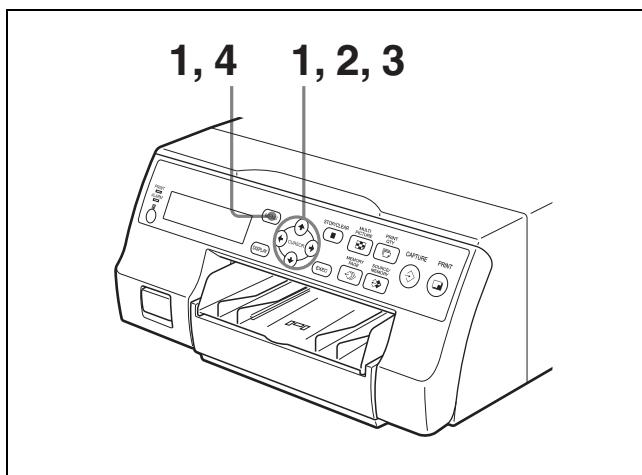
静止画のときは、解像度が高くきれいな  
プリント画ができる。

**フィールドモード**：1枚のメモリーを2つに分け、それぞれのページに画像を記憶します。動画のときは、ぶれの少ないプリント画ができます。



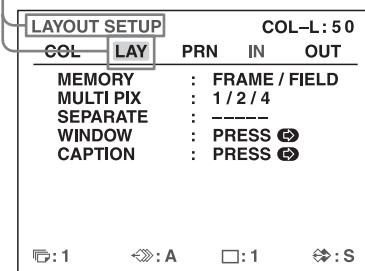
動画のときは、ぶれの少ないプリント画  
ができる。

## メモリーモードを選ぶには



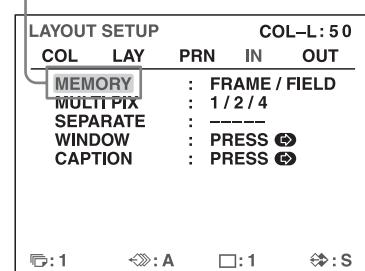
1 MENU ボタンを押し、**←**、**→** ボタンを押して  
LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

**←**、**→** ボタンで「LAY」を点灯させると、  
「LAYOUT SETUP」が表示される。



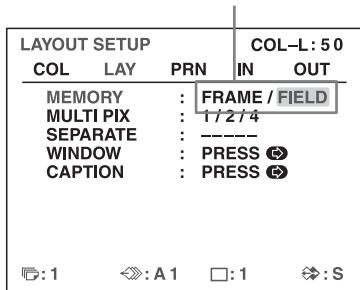
2 **↑**、**↓** ボタンで「MEMORY」を選ぶ。

**↑**、**↓** ボタンを押して、「MEMORY」に  
合わせる。



3 ←、→ ボタンで希望のモードを選ぶ。

←、→ ボタンで希望のモードを緑色に点灯させる。

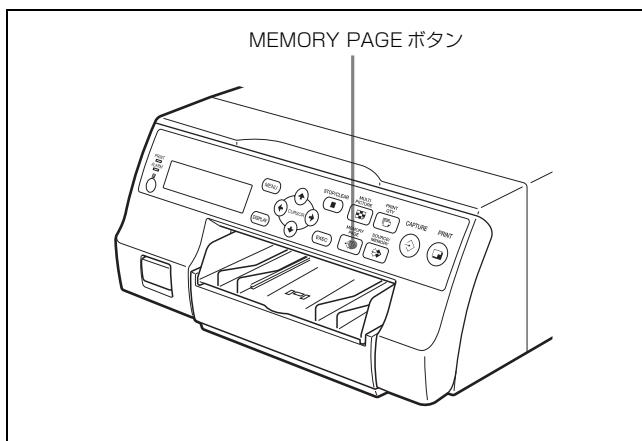


モード	内容
FRAME	通常はこのモードでプリントすることをおすすめします。
FIELD	動きの速い入力源の画像をプリントするときこのモードにするとぶれが少なくなります。

4 MENU ボタンを押す。

通常画面に戻ります。

## メモリーページを選ぶには



使用したいメモリーページが現れるまで MEMORY PAGE ボタンを押す。



現在選択されているメモリーページ

## メモリーページを選ぶ

### メモリーページについて

画像を記憶するのに使用されるメモリーをメモリーページと呼んでいます。

使用できるメモリーページの数は、選択する分割画面の種類およびメモリーモードにより異なります。

使用できるメモリーページ	プリント画
フレームモードの場合	フィールドモードの場合
A、B、C、D、E、F、 G、H	A1、A2、B1、B2、 C1、C2、D1、D2、 E1、E2、F1、F2、 G1、G2、H1、H2
A、B、C、D	A1、A2、B1、B2、 C1、C2、D1、D2
A、B	A1、A2、B1、B2

# 分割画面を作る - マルチプリント

プリント紙1枚に、数種類の画面（分割画面といいます）をプリントすることができます。ここでは、分割画面のプリント画の作りかたを説明します。

分割画面は、次の設定を行ってください。

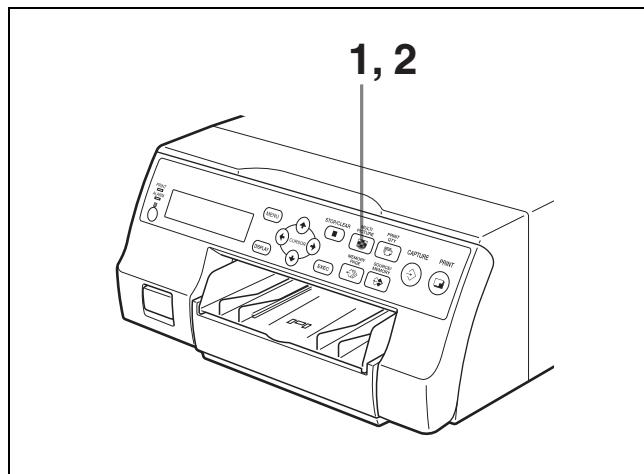
- ・メモリーに取り込む画像の数を決める。（下記）
- ・メモリーページを選ぶ。（32ページ）

## メモリーに取り込む画像の数を選ぶには

次のいずれかの操作で画像の数を選べます。

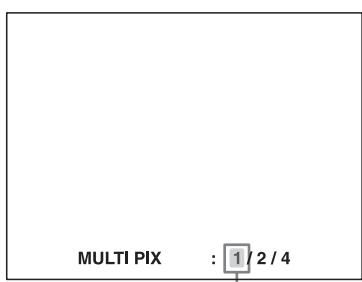
- ・MULTI PICTUREボタンを使用して選ぶ。
- ・メニュー画面上で設定する。

## MULTI PICTUREボタンを使用して選ぶには



### 1 MULTI PICTUREボタンを押す。

現在の設定の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。



現在選ばれている分割画面が点灯している。

### 2 希望の画面の種類が点灯するまで、または液晶ディスプレイに希望の分割画面の種類が表示されるまで

MULTI PICTUREボタンを繰り返し押す。  
押すごとに画面の種類は次の順で切り換わります。

表示される画像の種類	プリントする画像の数(( )内は 本書での呼称)
1	1個（フル画面）
2	2個（2分割画面）
4	4個（4分割画面）

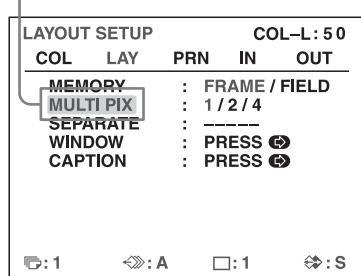
数秒後に通常画面に戻ります。

## メニュー画面で選ぶには

1 「メモリーモードを選ぶには」（31ページ）の手順1の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

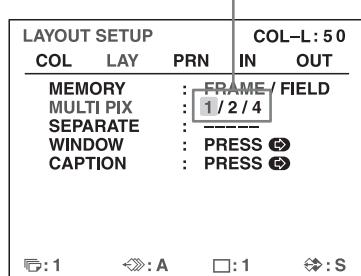
### 2 ↑、↓ボタンで「MULTI PIX」を選ぶ。

↑、↓ボタンを押して「MULTI PIX」を緑色に点灯させる。



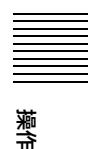
### 3 ←、→ボタンで希望の分割画面を選ぶ。

←、→ボタンを押して希望の分割画面を緑色に点灯させる。



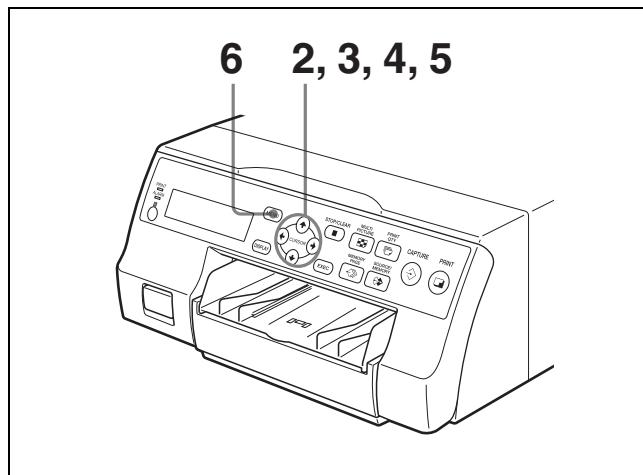
### 4 MENUボタンを押す。

通常画面に戻ります。



## モニターの画像を取り込んだときの表示のしかたを設定するには

画像を記憶させたあと、モニター画面に現れる画像を、入力画とするかまたは記憶したメモリー画にするかを設定できます。



1 PRINTER SETUP メニューを表示させる。(PRINTER SETUP メニューを表示させる方法については、「ユーザー登録した内容でプリントする」(27 ページ) 手順 1 をご覧ください。)

2 ↑、↓ ボタンで「FUNCTION」を選ぶ。

↑、↓ ボタンを押して「FUNCTION」を緑色に点灯させる。

PRINTER SETUP		COL-L: 50		
COL	LAY	PRN	IN	OUT
PRINT QTY	:	1	[1~9]	
GAMMA	:	S	/NORMAL	/H
PRN SPEED	:	/	HIGH	
LOAD USER	:	1	/2/3	EXEC
- AAAA BBBB -				
SYSTEM	:	PRESS	②	
FUNCTION	:	PRESS	②	
C-BALANCE	:	PRESS	②	
HSV	:	PRESS	②	

□:1    ◆:A    □:1    ◆:S

3 → ボタンを押す。

FUNCTION SETUP メニュー画面が現れます。

4 ↑、↓ ボタンで「AUTO LIVE」を選ぶ。

↑、↓ ボタンを押して「AUTO LIVE」を緑色に点灯させる。

FUNCTION SETUP		COL-L: 50
PRN SETUP	:	PRESS ②
AUTO LIVE	:	OFF / ON
RM2 FUNC	:	/ C&PRINT /
CLEAR	:	ALL /
CLEAN ROLL	:	PRESS ② EXEC

□:1    ◆:A    □:1    ◆:S

5 ←、→ ボタンで記憶したあとに表示される画像の種類を選ぶ。

選ぶとき 設定

メモリーに記憶された画像をモニターに出た OFF ままにするとき

メモリーに記憶された画像を表示させ、数秒 ON 後に入力画をモニターに表示させるとき

6 MENU ボタンを押す。

通常画面に戻ります。

## PRINTER SETUP メニュー画面に戻る場合は

手順 6 でカーソルを「PRN SETUP」に合わせ ◆ ボタンを押します。

PRINTER SETUP メニュー画面が現れます。

## 分割画面をプリントするには

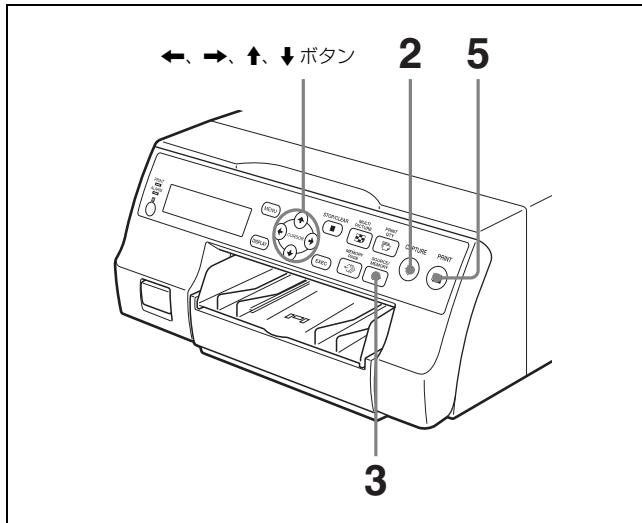
ここでは、例として1枚の画面に4種類の画像を入れる4分割画面のプリントのしかたについて説明します。他の分割画面も同じ操作でプリントできます。

### 確認

4分割画面を記憶するには、以下のことを済ませておいてください。済ませていない場合は、参照ページをご覧ください。

- ・色調節 (LOAD COLOR 番号など) を確認します。(50 ページ)
- ・4分割画面に設定します。(33 ページ)
- ・記憶するメモリーページを選びます。(32 ページ)
- ・メモリーに画像を記憶したあとに画面の現れかたを決めます。(34 ページ)
- ・プリント画に白枠を付けるか付けないかを決めます。(36 ページ)

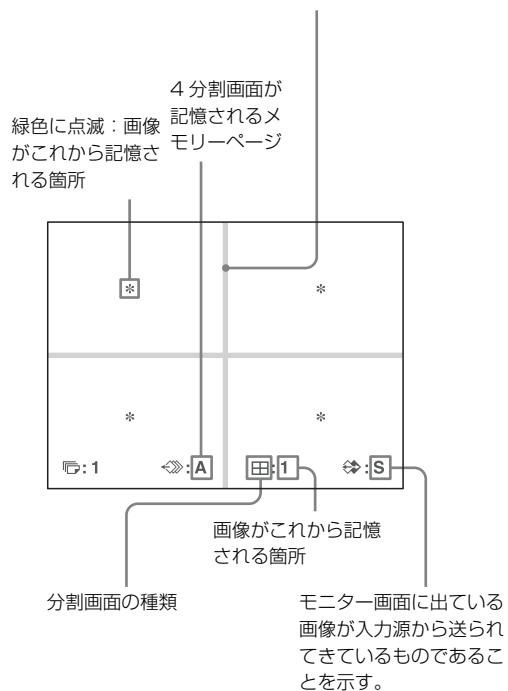
4分割印画への白枠設定は、4種類の画像をメモリーに取り込む前後にかかわらず設定できます。



1 ビデオ機器からの画像(入力画と呼びます)をモニター画面に映し出す。

この操作は接続した機器で行います。

白枠が付く設定の場合は、画面に白枠が表示される。

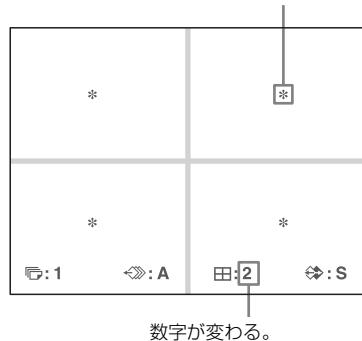


2 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。

手順1でモニター画面では緑色に点滅、液晶ディスプレイでは表示されていた箇所に画像が記憶されます。

画像を記憶する箇所は次に移動し、点滅を始めます。液晶ディスプレイでは、数字が変わります。

次のポインターが緑色に点滅する。



数字が変わる。

このとき、画像を記憶した箇所にメモリー画が表示されていますが、そのあとの画面はFUNCTION SETUP メニューの「AUTO LIVE」の設定により異なります。(34 ページ)

入力画が出ている場合は、手順4に進みます。

3 SOURCE/MEMORY ボタンを押す。  
モニター画面は、入力画に戻ります。

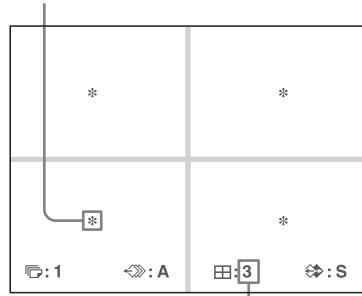
4 メモリー画が出たままの場合は、手順2、3を繰り返し、4個の画像を記憶する。  
入力画が出ている場合は、手順2を繰り返し、4個の画像を記憶します。

#### 画像を記憶し直すには

例: 3つめの画像を記憶し直します。

① ←、→、↑、↓ ボタンで3つめの画像の位置を選ぶ。  
←、→、↑、↓ ボタンを押すごとに、メモリーする箇所は縦、または横に一つずつ移動します。

←、→、↑、↓ ボタンを押して3つめの画像のポインターを緑色に点滅させる。



3が表示されるまで、←、→、↑、↓ ボタンを押す。

② モニター画面にソース画を表示させる。  
操作については、上記手順3をご覧ください。

③ CAPTURE ボタンを押す。  
前に記憶されていた画像に変わって新しい画像が記憶されます。

すでに記憶されている画像を残しておくには  
残しておきたい箇所を **←、→、↑、↓** ボタンで飛ば  
して画像を記憶します。

### 5 PRINT ボタンを押す。

分割画面のプリント画がプリントされます。  
印刷されたプリント画に白枠が付いているかいないか  
は、LAYOUT SETUP メニューの「SEPARATE」の  
設定によります。（36 ページ）

### プリント画がぶれていたら

フレームモードで取り込んだ 2 分割または 4 分割画面およびフル画面をプリントした場合、ぶれることができます。  
このような場合は、LAYOUT SETUP メニュー上で、  
フィールドモードを選択します。「メモリーモードを選ぶには」（31 ページ）  
プリントした場合、ぶれはなくなりますが、解像度が多少  
落ちます。

備考

### ご注意

通常は、フレームモードでプリントしてください。設定を  
確認するには、LAYOUT SETUP メニュー上で確認してく  
ださい。

### 白枠付き分割画面をプリントするには

分割画面をプリントするときに、白枠を付けるか付けない  
かを設定できます。

### ご注意

この設定は、メモリーに取り込まれている分割画面に対し  
ても有効となります。

1 「メモリーモードを選ぶには」（31 ページ）の手順 1 の  
操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

2 **↑、↓** ボタンで「SEPARATE」を選ぶ。

**↑、↓** ボタンを押して「SEPARATE」を緑色に  
点灯させる。

LAYOUT SETUP		COL-L: 50		
COL	LAY	PRN	IN	OUT
MEMORY	:	FRAME / FIELD		
MULTI PIX	:	1/2/4		
SEPARATE	:	OFF / ON		
WINDOW	:	PRESS 		
CAPTION	:	PRESS 		

**□:1** **◇:A** **田:1** **◆:S**

3 **←、→** ボタンで白枠を付けるか付けないかを決める。

**←、→** ボタンを押して希望の設定を緑色に点灯させる。

LAYOUT SETUP		COL-L: 50		
COL	LAY	PRN	IN	OUT
MEMORY	:	FRAME / FIELD		
MULTI PIX	:	1/2/4		
SEPARATE	:	OFF / ON		
WINDOW	:	PRESS 		
CAPTION	:	PRESS 		

**□:1** **◇:A** **田:1** **◆:S**

選ぶとき	設定
白枠を付けないとき	OFF
白枠を付けるとき	ON a)

a) 白枠を付ける設定の場合、液晶ディスプレイ上では、分割画面の種類の後に「F」が付きます。  
例：4F

4 MENU ボタンを押す。

通常画面が現れます。

# プリント画にコメントを入れる

## プリント画にコメントを入れる

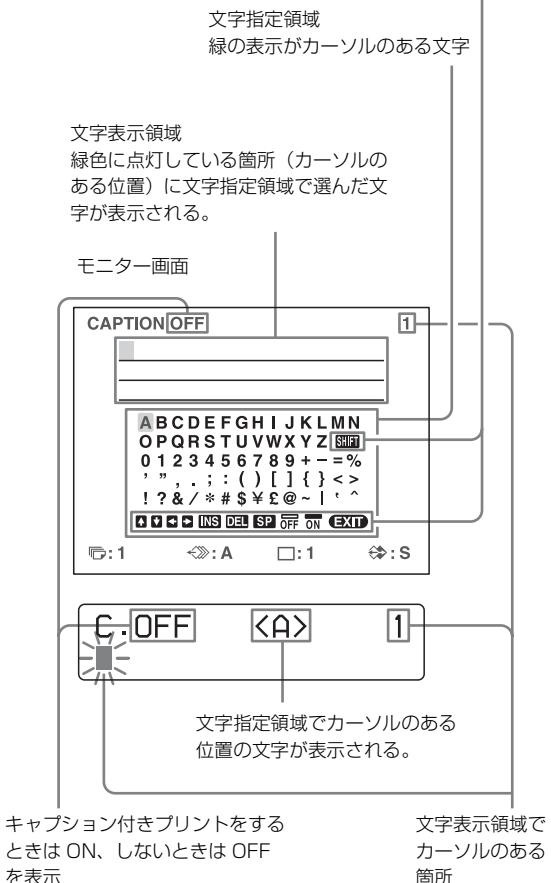
コメントなどのキャプションをプリント画の下に小さく入れることができます。最大 58 文字まで入力することができます。

コメントは、CAPTION (キャプション) メニュー画面上で作成します。

実際の操作を始める前に、文字を入力するときの CAPTION メニュー画面の読みかたを説明します。

### CAPTION メニュー画面について

文字入力時に使用する  
文字以外の項目

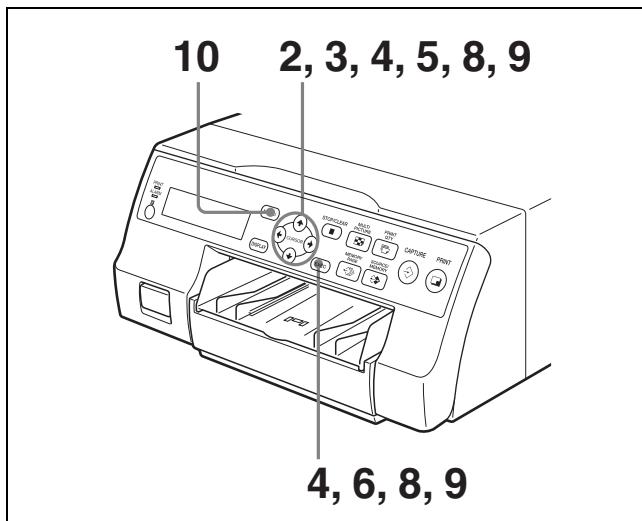


### 文字入力時に使用する文字以外の項目

モニター画面の表示	機能
INS	カーソルのある箇所に文字を挿入する。
DEL	カーソルのある箇所の文字を消しながら戻る。
SP	カーソルのある箇所にスペースを入れる。文字は削除されスペースが残る。
OFF	キャプションを付けないプリント画を作る。
ON	キャプション付きプリント画を作る。
EXIT	CAPTION 画面から LAYOUT SETUP 画面に戻る。
SHIFT	文字指定領域画面の文字を大文字にするか小文字にするか選ぶ。

## 文字を入力する

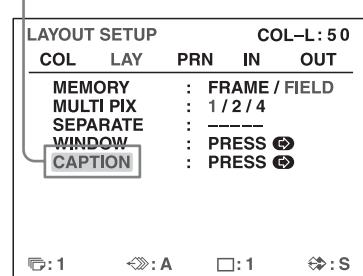
次の手順で文字を入力してください。メモリーに記憶された文字は、電源を切っても保持されています。



1 「メモリー mode を選ぶには」 (31 ページ) の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

2 ↑、↓ ボタンで「CAPTION」を選ぶ。

↑、↓ ボタンを押して「CAPTION」を緑色に点灯させる。



3 → ボタンを押す。

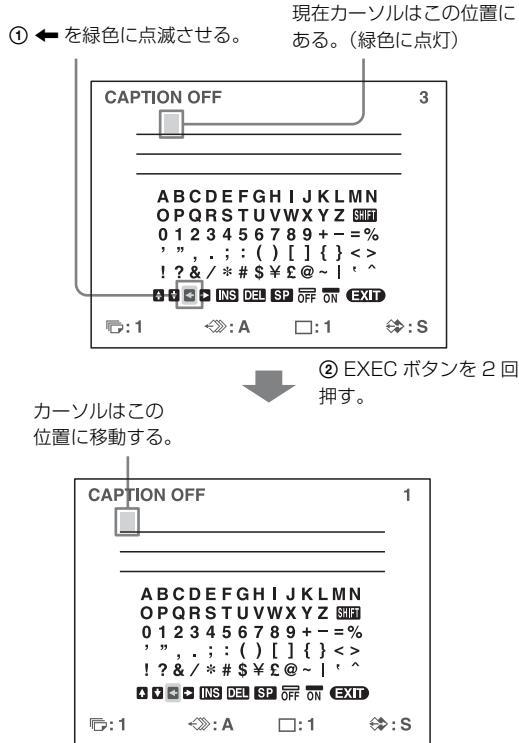
CAPTION 入力画面が現れます。

4 緑の点灯部（文字表示領域でのカーソル）を、文字表示領域の文字を入れたい位置に移動させる。

#### カーソルを移動させるには

- ① ←、→、↑、↓ ボタンで、カーソルを移動させたい方向の矢印を選んで緑色に点滅させる。
- ② EXEC ボタンを押す。  
カーソルは、①で選んだ矢印の方向に1つ移動します。

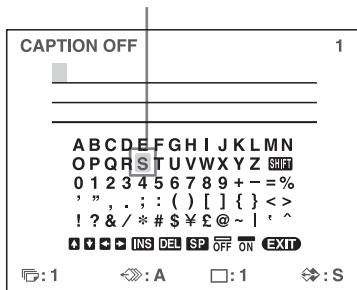
#### 例：カーソルを左に2つ移動させる。



5 ←、→、↑、↓ ボタンで入力する文字を選ぶ。

#### 例：S を入力します。

←、→、↑、↓ ボタンを押して S を緑色に点滅させる。



#### 液晶ディスプレイを見ながら文字を入力する場合

←、→ ボタンを使用して入力したい文字を表示させることをおすすめいたします。

#### カーソルが文字表示領域の右端にある場合

→ ボタンを押すと、次の段の左端に移動します。例えば、カーソルが N の位置にあるときに、→ ボタンを押すとカーソルは次の行の左端 O の場所に移動します。

#### 大文字、小文字を変えるには

大文字を小文字に、小文字を大文字に変えることができます。

- ① モニター画面上では、←、→、↑、↓ ボタンで、SHIFT を選んで緑色に点滅させる。  
液晶ディスプレイでは、←、→、↑、↓ ボタンで、SHIFT、または shift を表示させます。液晶ディスプレイでは、文字指定領域が現在大文字で表示されている場合は shift が、小文字で表示されている場合は SHIFT が表示されています。
- ② EXEC ボタンを押す。  
文字指定領域の文字は、大文字の場合は小文字に、小文字の場合は大文字に変わります。

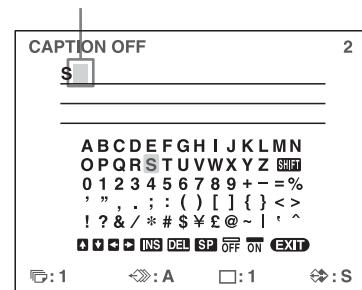
#### ご注意

すでに入力した文字（文字表示領域の文字）は変わりません。

6 EXEC ボタンを押す。

文字表示領域のカーソルの位置に手順5で選んだ文字が入力され、カーソルは、次の位置に移動します。

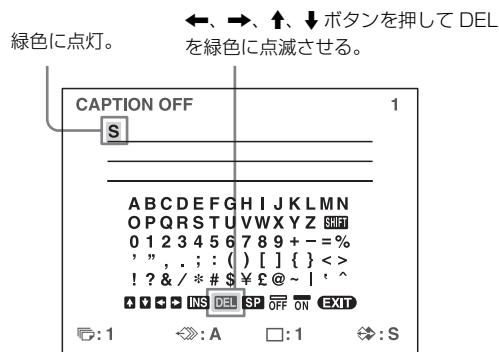
カーソルはこの位置に移動する。



#### 間違えて文字を入力した場合

- ① ←、→、↑、↓ ボタンで ■ を選び、EXEC ボタンを押す。  
カーソルが1つ前に戻り、手順5で間違えて入力した文字が緑色に点灯します。

② ←、→、↑、↓ ボタンで「DEL」を選ぶ。



③ EXEC ボタンを押す。

文字が削除されます。手順 ① で選んだ文字が、表示されている文字の間にある場合は、文字が削除されたところは次の文字が移動してきます。

## 7 手順 4、5、6 を繰り返して、キャプションを入力する。

### 1 文字分空けるには

1 文字空けたいところにカーソルを移動し、←、→、↑、↓ ボタンで SP を選んでから、EXEC ボタンを押します。

文字表示領域上で、1 文字分のスペースを空けてカーソルは次に移動します。

### 文字数を変えずに部分的に修正するには

すでに入力したキャプションで、ある文字だけを修正することができます。

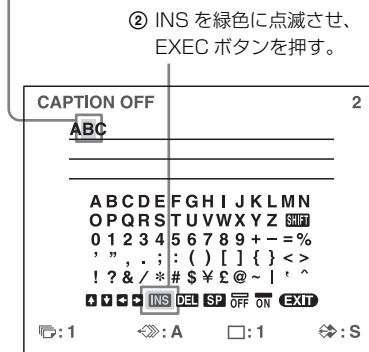
- ① 手順 4 の方法で文字表示領域のカーソルを修正したい文字の位置まで移動させる。
- ② 手順 5、6 の方法で、正しい文字を重ね書きする。古い文字は消えて新しい文字に書き直されます。

### 途中で文字を追加するには

- ① 手順 4 の方法で文字表示領域のカーソルを、追加したい箇所にある文字の位置まで移動させる。
- ② ←、→、↑、↓ ボタンで「INS」を選んでから、EXEC ボタンを押す。文字と文字との間に空きができ、カーソルはその空きの位置にあります。
- ③ 追加したい文字を入力する。キャプション ON/OFF 機能を変更しない場合は手順 9 に進みます。

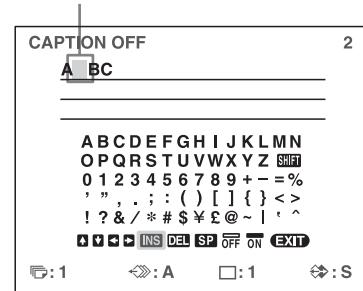
## 例：A と B の間に追加したいとき

① B の位置にカーソルを移動させる。  
(緑色に点灯)



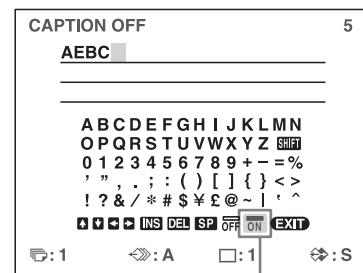
A と B の間に空きができる、カーソルはその位置にあります。

カーソル (緑色に点灯)



8 キャプションを付けてプリントする機能を「ON」にする。

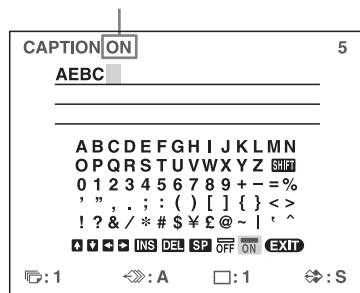
① ←、→、↑、↓ ボタンで「ON」を選ぶ。



キャプションを付けない場合は、「OFF」を選びます。

② EXEC ボタンを押す。

表示が OFF から ON に変わる。



9 すべての文字の入力が終了したら、通常画面に戻る。  
←、→、↑、↓ ボタンで「EXIT」を選び、EXEC ボタンを押します。  
LAYOUT SETUP メニュー画面に戻ります。

10 MENU ボタンを押す。

#### ご注意

手順 4 から 7 の操作を行うと、入力した文字は記憶され、プリンターの電源を切っても記憶しています。

## メモリーに記憶した画像を消す

STOP/CLEAR ボタンを使って、すべてのメモリーページに記憶されている画像をまとめて消すことや、あるメモリーページだけ、または分割画面を 1 つずつ消すことができます。

STOP/CLEAR ボタンを押した場合、どの操作をするかは、メニューの「FUNCTION SETUP」の「CLEAR」の項目の設定によります。

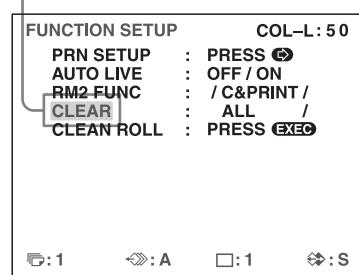
STOP/CLEAR ボタンは、プリント中は STOP ボタンとして機能するため、プリント中に画像を消去することはできません。

## STOP/CLEAR ボタンの機能を設定する

1 「モニターの画像を取り込んだときの表示のしかたを設定するには」(34 ページ) の手順 1 ~ 手順 3 の操作で FUNCTION SETUP メニューを表示させる。

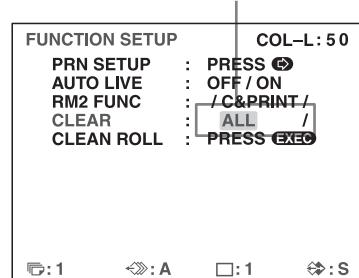
2 ↑、↓ ボタンで「CLEAR」を選ぶ。

↑、↓ ボタンを押して「CLEAR」を緑色に点灯させる。



3 ←、→ ボタンで STOP/CLEAR ボタンの機能を選ぶ。

←、→ ボタンで設定したい機能を緑色に点灯させる。



STOP/CLEAR ボタンの機能	選択する項目
全てのメモリーページに記憶されている 画像を1度消す。	ALL
メモリーページごとに消す。	PAGE
カーソルがある分割画面だけを消す。	PART
CLEAR ボタンとして働かないようにす る。	OFF

4 ↑、↓ ボタンで「PRN SETUP」を選び、→ ボタンを押す。  
PRINTER SETUP メニュー画面に戻ります。  
1度設定すると、次に変更するまで STOP/CLEAR ボタンの機能は変わりません。

#### 通常画面に戻るには

MENU ボタンを押します。

## メモリーに記憶されている画像を消す

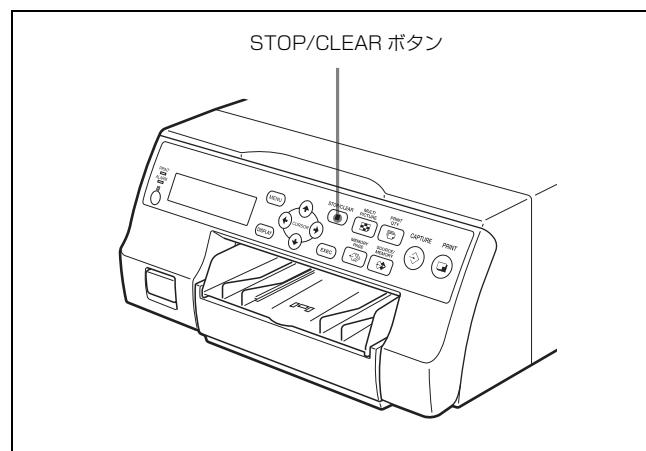
#### ご注意

1度消した画像を元に戻すことはできません。

### 全てのメモリーページに記憶されている画 像を消すには

#### 確認

STOP/CLEAR ボタンの機能を、FUNCTION SETUP メニューの「CLEAR」で「ALL」に設定します。



STOP/CLEAR ボタンを押します。  
プリンターに記憶されているすべての画像が消去されます。

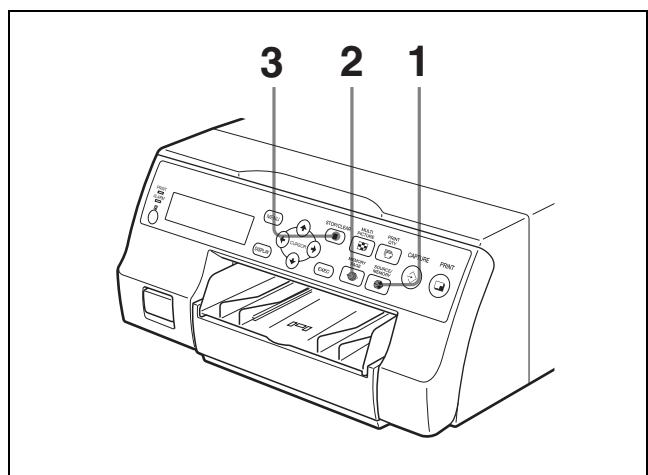
#### ご注意

- モニター画面に入力画が表示された状態で STOP/CLEAR ボタンを押してもメモリーの画像は消えず、メモリー画に切り換わります。この状態でもう一度 STOP/CLEAR ボタンを押します。プリンターに記憶されているすべての画像が消去されます。
- プリント中に画像を消去することはできません。

## あるメモリーページの画像だけを消すには

#### 確認

STOP/CLEAR ボタンの機能を、「FUNCTION SETUP」メニュの「CLEAR」で「PAGE」に設定します。

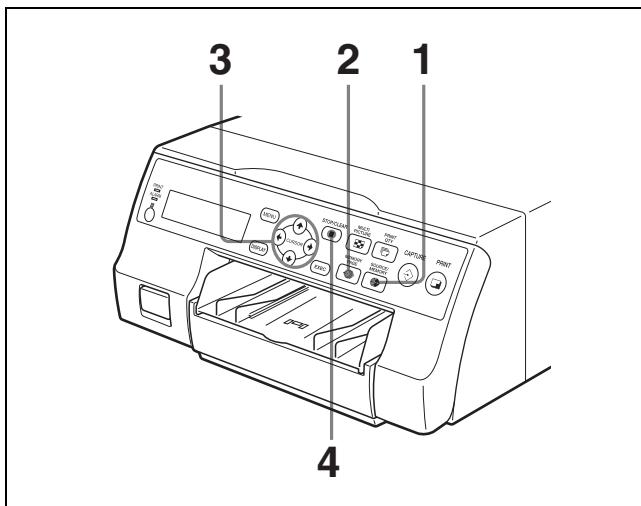


- モニター画面にビデオ機器など（入力源）からの画像がでている場合は、SOURCE/MEMORY ボタンを押す。  
モニター画面はメモリーに記憶されている画像に切り換わります。
- MEMORY PAGE ボタンを押して、消去したいメモリーページを選ぶ。
- STOP/CLEAR ボタンを押す。  
手順2で選んだメモリーページに記憶されている画像が消えます。

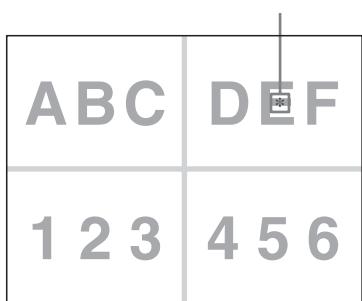
## 分割画面のある画像だけを消すには

### 確認

STOP/CLEAR ボタンの機能を、「FUNCTION SETUP」メニューの「CLEAR」で「PART」に設定します。



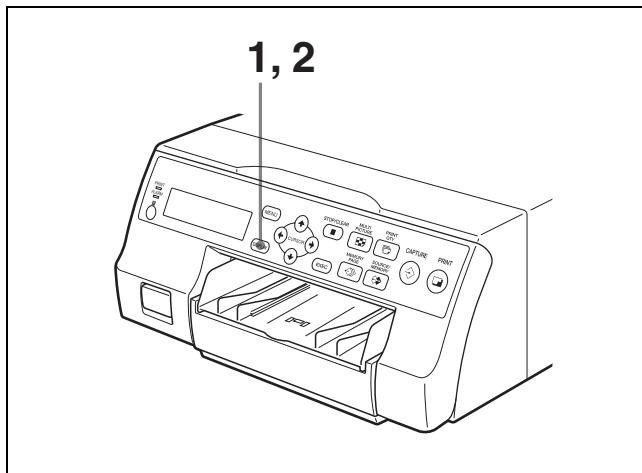
- 1 モニター画面にビデオ機器など（入力源）からの画像が出ている場合は、SOURCE/MEMORY ボタンを押す。  
モニター画面はメモリーに記憶されている画像に切り換わります。
- 2 MEMORY PAGE ボタンを押して、消去したい分割画面があるメモリーページを選ぶ。
- 3 ←、→、↑、↓ ボタンで、消したい画像を選ぶ。  
消したい画像のポインターを緑色に点滅させる。



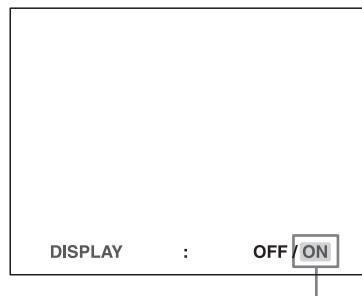
- 4 STOP/CLEAR ボタンを押す。  
手順 3 で選んだ分割画面の画像が消えます。

## モニター画面の管面表示を消す

モニター画面に表示されている文字（Q1、Aなど）やインクリボンの種類と残量などの表示を消すことができます。ここでは、管面表示の文字（Q1、Aなど）の下に確認したい画像が隠れてしまっているときなどに、この画面の文字を消す方法について説明します。表示が消えた状態でも操作のしかたは変わりません。このような場合、プリンター本体の液晶ディスプレイで確認しながら操作してください。インクリボンの種類と残量の表示については、「インクリボンの種類と残量を表示させる」（61 ページ）をご覧ください。



- 1 DISPLAY ボタンを押す。  
現在の設定の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。



現在選ばれている設定が緑色に点灯している。

- 2 OFF を選ぶ。  
手順 1 で表示されている内容が消えないうちに DISPLAY ボタンを押して、OFF を緑色に点灯させます。液晶ディスプレイでは、OFF を大文字で表示させます。

DISPLAY ボタンを押すごとに、ON→OFF→ON と切り換わります。



OFF を緑色に点灯させる。

**管面表示を再表示するには**  
DISPLAY ボタンを押して、ON を表示させます。

**メニュー画面で管面表示の設定をするには**

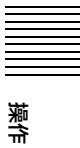
OUTPUT SETUP メニューの「DISPLAY」の項目で ON/OFF を切り換えることができます。DISPLAY ボタンとメニューの設定は連動して切り換わります。

**メニュー画面を消したい場合は**

DISPLAY ボタンを押し続けている間は、DISPLAY の設定に関係なく一時的にメニュー表示を消すことができます。

### ご注意

エラーメッセージは、管面表示の設定に関わらず常に表示されます。



# メニュー画面上で設定できる項目

メニュー画面上で、プリンターの仕様を決める各種調整や設定ができます。一度調整し、記憶させると、電源を切っても次に記憶し直すまで同じ設定でプリンターは調整され、機能します。

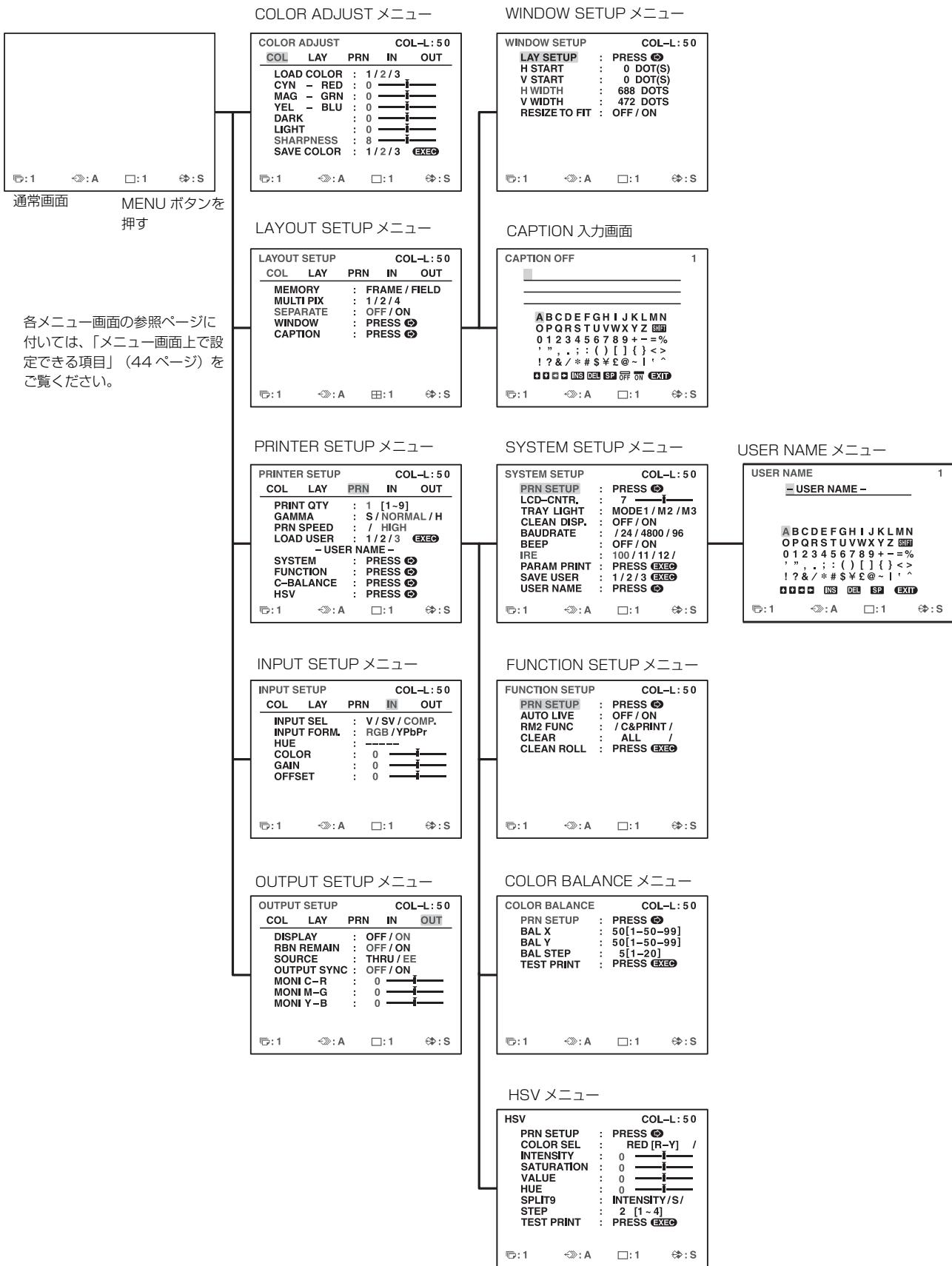
また、設定した値を、接続する機器や、個人の好みに合わせてあらかじめ「ユーザー設定1、2、3」と3種類まで記憶させることができます。

それぞれのメニュー画面上で設定できる項目は以下の通りです。

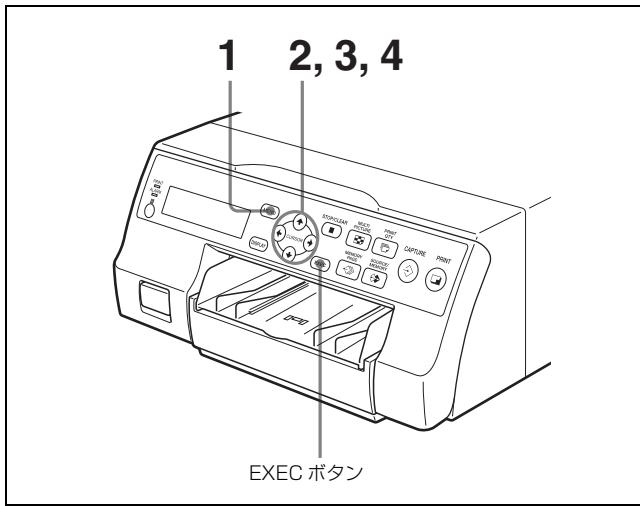
メニュー画面	設定できる項目	参照ページ
COLOR	プリント画の色（色調、階調）の調整	50
ADJUST		
LAYOUT	メモリー モードを決める	31
SETUP	プリント画の種類の設定	33
	分割画面に白枠を付けるか付けないかの設定	36
WINDOW	プリント画に黒い枠や線が出た場合に	52
SETUP	プリントする画像の範囲の調整	
CAPTION	キャプションを入力する	37
PRINTER	プリント画の枚数の設定	29
SETUP	プリント画のトーンの設定	51
	プリントスピードの選択	27
SYSTEM	液晶ディスプレイのコントラストの調整	60
SETUP		
	トレイライトのモードの設定	60
	クリーニングメッセージ表示機能の設定	60
	本機とコンピューター間の通信速度	61
	操作音とアラーム音が鳴るか鳴らないかの設定	61
	プリント画のみのコントラストの調整	49
	メニューの設定値をプリントする。	61
	ユーザー設定の選択	62
USER NAME	ユーザー名の編集	62
FUNCTION	メモリーに記憶したあとに表示される画面を、数秒後に入力画にするかそのままメモリー画を表示しておくかの選択	34
SETUP		
	REMOTE 2端子へ接続されたりモコンの操作方法の設定	59
	メモリーに記憶した画像の消去の方法	40
COLOR	カラーバランスの調整	53
BALANCE		

メニュー画面	設定できる項目	参照ページ
HSV	プリント画の色の調整（色を指定して調整）	55
INPUT	入力信号の選択	23
SETUP	入力映像の色調の補正	48
OUTPUT	モニター画面の管面表示の設定	42
SETUP	インクリボンの種類と残量を表示するかしないかの選択	61
	プリンターの出力信号の選択	49
	RGB信号のGチャンネルに同期信号を重畠させるかどうかの選択	18
	モニター画面とプリント画の色調合わせ	49

# メニューの構成

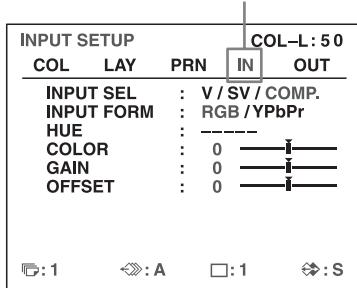


# メニューの基本操作



1 MENU ボタンを押す。  
最後に選ばれていたメニュー画面が現れます。

現在画面に表示されているメニュー画面は  
緑色に点灯している。



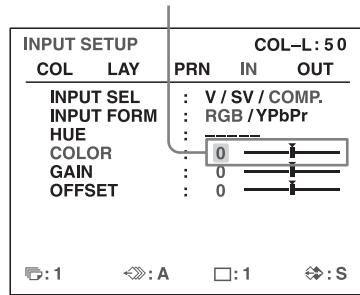
INPUT SETUP  
/c/1/p/IN/o/

現在画面に表示されているメニュー画面名が  
大文字で表示されている。

カーソル（緑色に点灯している個所）が一番上の行に  
ない場合：

↑、↓ ボタンを押して一番上の行に移動させる。

カーソルの位置が一番上の行にない。

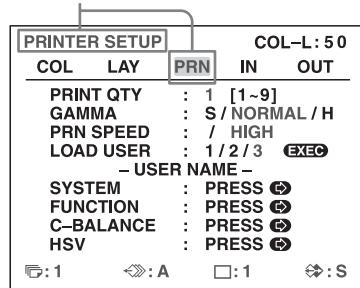


COLOR : 0  
-----  
\*-----

2 ←、→ ボタンを押して希望のメニュー画面を表示さ  
せる。

例：PRINTER SETUP メニューを表示させたい場合

←、→ ボタンで「PRN」を緑色に点灯させると、  
「PRINTER SETUP」が表示される。



PRINTER SETUP  
/c/1/PRN/i/o/

←、→ ボタンを押して「PRN」を大文字で表示  
させる。「PRINTER SETUP」が表示される。

3 ↑、↓ ボタンを押して希望の項目を選択する。

## 例：PRINTER SETUP メニュー上で、PRN SPEED を選択する場合

↑、↓ ボタンを押して「PRN SPEED」を緑色に点灯させる。

PRINTER SETUP		COL-L: 50		
COL	LAY	PRN	IN	OUT
PRINT QTY		: 1	[1~9]	
GAMMA		: S/NORMAL / H		
<b>PRN SPEED</b>		: /	NORMAL /	
LOAD USER		: 1/2/3	EXEC	
- USER NAME -				
SYSTEM		: PRESS	◎	
FUNCTION		: PRESS	◎	
C-BALANCE		: PRESS	◎	
HSV		: PRESS	◎	
□:1	◀:A	□:1	◀:S	

PRN SPEED :	NORMAL /
-------------	----------

「PRN SPEED」が現れるまで↑、↓ボタンを押す。

4 ←、→ ボタンを押して設定する。

### 設定を選択する場合：

←、→ ボタンを押して希望の選択肢を緑色に点灯させます。

#### ご注意

選択肢の両端か、右、または左端に「/」が表示されている場合は、画面に表示されていない選択肢があります。←、または→ ボタンを押して選択肢を確認してください。

## 例：HIGH スピードを選択する場合

←、→ ボタンを押して希望の HIGH を緑色に点灯させる。

PRINTER SETUP		COL-L: 50		
COL	LAY	PRN	IN	OUT
PRINT QTY		: 1	[1~9]	
GAMMA		: S/NORMAL / H		
PRN SPEED		: /	HIGH	
LOAD USER		: 1/2/3	EXEC	
- USER NAME -				
SYSTEM		: PRESS	◎	
FUNCTION		: PRESS	◎	
C-BALANCE		: PRESS	◎	
HSV		: PRESS	◎	
□:1	◀:A	□:1	◀:S	

PRN SPEED :	/	HIGH
-------------	---	------

←、→ ボタンを押して HIGH を大文字で表示させる。

### ----- が表示されている場合：

設定の変更ができない場合に表示されます。設定変更ができないのは以下の場合です。

### 選択項目

設定変更できない項目（選択肢に ---- が表示されている。）：

MULTI PIX (LAYOUT SETUP 画面) で「1」が選択されている。 SEPARATE (LAYOUT SETUP 画面)

INPUT SEL (INPUT SETUP 画面) で「COMP.」が選択されている。 HUE (INPUT SETUP 画面)

INPUT FORM. (INPUT SETUP 画面) で「YPbPr」が選択されている。 OUTPUT SYNC (OUTPUT SETUP 画面)

いる。

### 調整値を変更する場合：

←、→ ボタンを押して調整値を変更します。

現在の調整値

COLOR ADJUST		COL-L: 50		
COL	LAY	PRN	IN	OUT
LOAD COLOR		: 1/2/3		
CYN - RED		: 0	---	
MAG - GRN		: 0	---	
YEL - BLU		: 0	---	
DARK		: 0	---	
LIGHT		: 0	---	
<b>SHARPNESS</b>		: 8	---	
SAVE COLOR		: 1/2/3	EXEC	
□:1	◀:A	□:1	◀:S	

SHARPNESS :	8
-------------	---

現在の調整値

→ ボタンを押すと数値は大きくなり、← ボタンを押すと数値は小さくなる。

### 工場出荷設定値に戻すには：

←、→ ボタンを同時に押します。工場出荷設定値に戻ります。

### サブメニューがある場合：

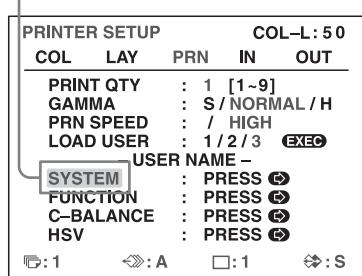
サブメニューがある項目は、画面に PRESS [>] が表示されます。↑、↓ ボタンで項目を選び、→ ボタンを押してください。

### 例：PRINTER SETUP メニューの場合

SYSTEM SETUP サブメニューを表示させるには↑、↓ ボタンで「SYSTEM」を選び、→ ボタンを押します。

SYSTEM SETUP メニューが表示されます。

↑、↓ボタンを押して「SYSTEM」を点灯させ、  
→ボタンを押す。

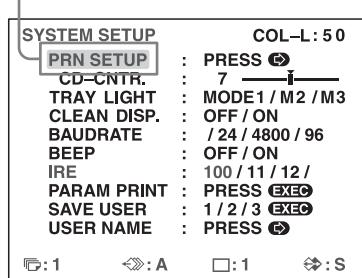


「SYSTEM」が表示されるまで、↑、↓ボタンを押し、→ボタンを押す。

サブメニューから出るには：

一番上の行のメニューを選び、→ボタンを押します。  
例：

↑、↓ボタンを押して「PRN SETUP」を緑色に点灯させ、→ボタンを押す。



「PRN SETUP」が表示されるまで、↑、↓ボタンを押し、→ボタンを押す。

# 色調・画質を調整する

## 入力映像の色調を補正する

撮影時の条件が悪く、肌色が青くなってしまうような場合、また入力信号のレベルが不適正なため画面が黒っぽくなってしまうような場合、入力映像のビデオ信号を補正できます。また、コントラストなども補正できます。

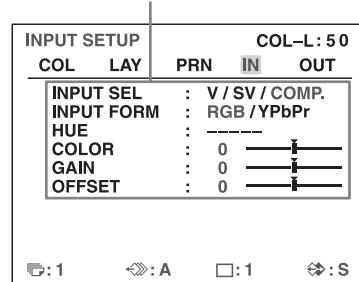
### ご注意

すでにメモリーに記憶してある画像を補正してもプリント画には影響しません。補正した後に画像を記憶してください。

### 確認

モニター画面にメモリー画像が出ているときは、  
SOURCE/MEMORY ボタンを押します。  
入力源の画像が現れます。

入力映像の色調の補正に使用する項目



色の濃さ、色合い、コントラスト、明るさを調整したいとき

調整したい内容 (調整範囲)	調整する項目	押すボタンとその結果	
		←ボタン	→ボタン
色合い (-14 ~ 0 ~ 14)	HUE <sup>a)</sup>	紫がかる。	緑がかる。
色の濃さ (OFF ~ 0 ~ 14)	COLOR <sup>b)</sup>	薄くなる。	濃くなる。
コントラスト (-14 ~ 0 ~ 14)	GAIN	コントラストが弱くなる。	強くなる。
明るさ (-14 ~ 0 ~ 14)	OFFSET <sup>c)</sup>	暗くなる。	明るくなる。

a) 肌色が調整の目安になります。また、HUE（色合い）の調整は、VIDEO IN 端子（コンポジット信号）およびS-VIDEO IN 端子に接続した機器からの信号（Y/C 分離信号）に限ります。

b) 押し続けて -14 の位置にくると OFF と表示され、白黒の画像となります。

c) コンポーネント（RGB、YPbPr）信号入力時は、OFFSET は 0 以下には設定できません。

## プリント画のみのコントラストを調整するには

モニター画面のコントラストを変えずに、プリント画のコントラストを調整したい場合は、SYSTEM SETUP メニュー画面の「IRE」の項目を使って入力レベルの補正をします。

プリント画のみのコントラストの調整に使用する項目

SYSTEM SETUP		COL-L: 50
PRN SETUP	: PRESS	
LCD-CNTR.	: 7	
TRAY LIGHT	: MODE1 / M2 / M3	
CLEAN DISP.	: OFF / ON	
BAUDRATE	: / 24 / 4800 / 96	
BEEP	: OFF / ON	
IRE	: 100 / 11 / 12 /	
PARAM PRINT	: PRESS	
SAVE USER	: 1 / 2 / 3	
USER NAME	: PRESS	

選択された IRE は 3 桁の表示になります。

### 選ぶとき

調整位置（選ばれた IRE は、上位 2 桁の略表示から、全体表示に変わります。）

標準の設定に戻すとき	10 → 100
プリント画がやや白っぽいとき	11 → 110
プリント画が白っぽいとき	12 → 120
プリント画がたいへん白っぽいとき	13 → 130

### ご注意

必要以上に調整するとプリント画が全体に暗くなります。本設定は、一度取り込んだメモリー画像には反映されません。本設定後に取り込んだメモリー画像に反映されます。

## モニター画面とプリント画の色調を合わせる

モニター画面とプリント画の色調が違っていて、モニター画面上でプリント画のイメージがつかめないときは、プリント画とモニターを比べてメニュー画面上で色調を調整します。

プリンターの出力信号は、次の 2 種類があり、どちらが出力されるかはプリンターの設定によって決まります。

- EE (E to E)：プリンターの電気回路を通って信号処理されて出力される信号
- THRU (THROUGH)：入力した信号がプリンターの電気回路を通らずにそのまま出力される信号（スルー信号）

## モニターの調整

プリンターの調整が正しくてもモニター側の調整ズレの場合もあります。プリンター側の調整を行う前にモニター側の色調を確認してください。その場合は、OUTPUT SETUP メニューの SOURCE の項目を THRU (スルー信号) に設定するか、またはプリンターの電源を切って出力信号が THRU の状態で調整すると便利です。

モニターの調整が終わったら、プリンターの色を調整します。

## プリンター側の調整

### ご注意

この調整は、モニターのホワイトバランスの調整がずれていた場合に、プリンターで調整するためのものです。この調整は、プリント画には影響しません。プリント画の画質調整については、「色調、階調、画質を調整するには」（50 ページ）、「色を指定して調整する（HSV 調整）」（55 ページ）をご覧ください。

1 OUTPUT SETUP メニューを表示させる。

OUTPUT SETUP メニュー

OUTPUT SETUP		COL-L: 50		
COL	LAY	PRN	IN	OUT
DISPLAY	:	OFF / ON		
RBN REMAIN	:	OFF / ON		
SOURCE	:	THRU / EE		
OUTPUT SYNC	:	OFF / ON		
MONI C-R	:	0		
MONI M-G	:	0		
MONI Y-B	:	0		

2 ↑、↓ ボタンで「SOURCE」を選ぶ。

3 ←、→ ボタンで「EE」を選ぶ。

4 MENU ボタンを押す。  
通常画面が現れます。

5 新しくプリントする画像をメモリーに記憶させて、プリント画を作る。  
このプリント画とモニター画面を見ながら次の手順に従ってプリンターの色を調整します。

6 再度 OUTPUT SETUP メニュー画面を表示させる。

7 モニター画面の色調がプリント画と同じになるように調整する。

調整する項目 (調整範囲)	画面の色調	押すボタン	調整
MONI C - R (-14 ~ 0 ~ 14)	赤味がかった画面にする。	→	R (RED の略) の方向
	シアン (水色) がかった画面にする。	←	C (CYAN の略) の方向
MONI M - G (-14 ~ 0 ~ 14)	緑がかった画面にする。	→	G (GREEN の略) の方向
	マゼンタ (ピンク) がかった画面にする。	←	M (MAGENTA の略) の方向
MONI Y - B (-14 ~ 0 ~ 14)	青味がかった画面にする。	→	B (BLUE の略) の方向
	黄色味がかった画面にする。	←	Y (YELLOW の略) の方向

調整したい項目を選んで調整する。

OUTPUT SETUP		COL-L: 50			
COL	LAY	PRN	IN	OUT	
DISPLAY		:	OFF / ON		
RBN REMAIN		:	OFF / ON		
SOURCE		:	THRU / EE		
OUTPUT SYNC		:	OFF / ON		
MONI C-R		:	0		
MONI M-G		:	0		
MONI Y-B		:	0		

□:1    ⇡:A    □:1    ⇡:S

## プリント画の画質を調整する

プリント画の色調、階調、画質の調整、およびプリント画のトーン (GAMMA) を調整できます。

### 色調、階調、画質を調整するには

調整した内容は、LOAD COLOR 番号 1、2、3 と 3 種類登録しておくことができ、記憶した調整値を呼び出してプリントすることができます。異なるビデオ機器を接続したとき、入力信号ごとの調整値でプリントするときに便利です。また、記憶してある調整値を一時的に調整し直してその調整値でプリントすることもできます。

色調整は、メモリーに記憶した画像をモニター画面で見ながら行います。

1 COLOR ADJUST メニューを表示させる。

#### COLOR ADJUST メニュー

COLOR ADJUST		COL-L: 50	
COL	LAY	PRN	IN OUT
LOAD COLOR	:	1 / 2 / 3	
CYN - RED	:	0	
MAG - GRN	:	0	
YEL - BLU	:	0	
DARK	:	0	
LIGHT	:	0	
SHARPNESS	:	8	
SAVE COLOR	:	1 / 2 / 3	EXEC

□:1    ⇡:A    □:1    ⇡:S

2 調整したい、または修正したい調整値に相当する LOAD COLOR 番号を選ぶ。

修正する場合、元の調整値を残しておくこともできます。「元の調整値を残して記憶するときは」 (51 ページ)

3 色調、階調、および画質を調整する。

#### 色調 (RED/GREEN/BLUE) の調整

COLOR ADJUST		COL-L: 50	
COL	LAY	PRN	IN OUT
LOAD COLOR	:	1 / 2 / 3	
CYN - RED	:	0	
MAG - GRN	:	0	
YEL - BLU	:	0	
DARK	:	0	
LIGHT	:	0	
SHARPNESS	:	8	
SAVE COLOR	:	1 / 2 / 3	EXEC

□:1    ⇡:A    □:1    ⇡:S

#### 階調 (DARK/LIGHT) の調整

COLOR ADJUST		COL-L: 50	
COL	LAY	PRN	IN OUT
LOAD COLOR	:	1 / 2 / 3	
CYN - RED	:	0	
MAG - GRN	:	0	
YEL - BLU	:	0	
DARK	:	0	
LIGHT	:	0	
SHARPNESS	:	8	
SAVE COLOR	:	1 / 2 / 3	EXEC

□:1    ⇡:A    □:1    ⇡:S

COLOR ADJUST		COL-L: 50	
COL	LAY	PRN	IN OUT
LOAD COLOR	:	1 / 2 / 3	
CYN - RED	:	0	
MAG - GRN	:	0	
YEL - BLU	:	0	
DARK	:	0	
LIGHT	:	0	
SHARPNESS	:	8	
SAVE COLOR	:	1 / 2 / 3	EXEC

□:1    ⇡:A    □:1    ⇡:S

#### 画質 (SHARPNESS) の調整

## 色調 (RED/GREEN/BLUE) の調整

15段階で調整できます。画面上では、数値とグラフで表示します。数値の0、グラフの中間が標準です。

調整する項目 (調整範囲)	画面の色調	押すボタン	調整
CYN - RED (-7 ~ 0 ~ 7)	赤味がかった画面にする。 シアン (水色) がかった画面にする。	→	RED の方向
MAG - GRN (-7 ~ 0 ~ 7)	緑がかった画面にする。 マゼンタ (ピンク) がかった画面にする。	←	CYN (CYAN の略) の方向
YEL - BLU (-7 ~ 0 ~ 7)	青味がかった画面にする。 黄色味がかった画面にする。	→ ←	GRN (GREEN の略) の方向 YEL (YELLOW の略) の方向

## 階調 (DARK/LIGHT) の調整

15段階で調整できます。画面上では、数値とグラフで表示します。数値の0、グラフの中間が標準です。

調整する項目 (調整範囲)	画面の階調
DARK (-7 ~ 0 ~ 7)	画面の暗い部分を調整する。
LIGHT (-7 ~ 0 ~ 7)	画面の明るい部分を調整する。

## 画質 (SHARPNESS) の調整

1から15まで15段階調整できます。数値の8が標準値 (デフォルト値) です。

画質の種類	調整
輪郭をぼかす	スケールの左方向 (1の方向)
標準	スケールの中間 (8)
輪郭を強調する	スケールの右方向 (15の方向)

### 調整値を変えると

1つでも調整値を変えると「LOAD COLOR」の欄に「TEMP」(TEMPORARY) が表示されます。これは、この調整値が一時的 (TEMPORARY) なものであるということを示しています。

「TEMP」の表示が出てる間に電源を切ると、調整値は保存されません。

**4 「SAVE COLOR」の項目で、記憶する SAVE COLOR 番号を選択。**

### 元の調整値を残して記憶するときは

手順2で選んだ LOAD COLOR 番号と別の番号を選びます。

**5 EXEC ボタンを押す。**

手順4で選んだ SAVE COLOR 番号に調整値が登録されました。

LOAD COLOR の項目欄から「TEMP」が消えます。

**引き続き、他の LOAD COLOR 番号の設定を行う場合は**：手順2～5の操作を繰り返してください。

**終了する場合は**：MENU ボタンを押します。

通常画面に戻ります。

## ある LOAD COLOR 番号の内容を別の LOAD COLOR 番号にコピーするには

**1** COLOR ADJUST メニューの「LOAD COLOR」の項目で、コピーしたい内容が記憶されている LOAD COLOR 番号を選ぶ。

**2** コピーする先の SAVE COLOR 番号を選ぶ。

**3** EXEC ボタンを押す。

手順1で選んだ LOAD COLOR 番号に記憶されている設定値が手順2で選んだ SAVE COLOR 番号にコピーされます。

## 色調整 (色調、階調) および画質が記憶されている LOAD COLOR 番号を呼び出すには

COLOR ADJUST メニューの「LOAD COLOR」の項目で、使用したい調整値が記憶されている LOAD COLOR 番号を緑色に点灯させます。液晶ディスプレイの場合は、LOAD COLOR 番号を表示させます。

現在選択されている LOAD COLOR 番号の調整値が表示されます。

設定を変えない限り選んだ LOAD COLOR 番号の調整値で画像がプリントされます。

## プリント画のトーンを調整する

黒い部分または白い部分の多い入力画像をプリントするときに、黒い部分または白い部分の細部までをはっきりとプリントできるように調整します。

**1 PRINTER SETUP メニューを表示させる。**

### PRINTER SETUP メニュー

PRINTER SETUP		COL-L: 50	
COL	LAY	PRN	IN OUT
PRINT QTY	: 1 [1~9]		
GAMMA	: S / NORMAL / H		
PRN SPEED	: / HIGH		
LOAD USER	: 1 / 2 / 3 <b>EXEC</b>		
- USER NAME -			
SYSTEM	: PRESS ⓧ		
FUNCTION	: PRESS ⓧ		
C-BALANCE	: PRESS ⓧ		
HSV	: PRESS ⓧ		
□: 1	↔: A	□: 1	↔: S

## 2 「GAMMA」を選び、希望のトーンを選ぶ。

選ぶとき	設定（選ばれたトーン）は略表示から全体表示になります。
白い部分の多い入力画像をプリントするとき（軟調）	S → SOFT
普通	N → NORMAL
黒い部分の多い入力画像をプリントするとき（硬調）	H → HARD

## プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する

通常画面より狭い画像や、広い画像をプリントすると、プリント画面に黒い枠が出たり、反対に画面が欠けたりすることがあります。

また、モニター画面上では見えないので、プリントするとプリント画に黒い線が入っている場合があります。これは接続した機器を変えたり、再生しているソフトなどを変えたりすることによって映像信号がない部分がメモリーに記憶されるために起こります。

このような場合は、画面の位置とサイズを調整してください。

本調整は、既に取り込まれているメモリー画像に対してプリント範囲を調整するものです。再度取り込む必要はありません。

1 LAYOUT SETUPメニューからWINDOW SETUP画面を表示させる。

2 プリント画の状態に従って調整する。

右端に黒い縦線が出ている場合の調整に使用する項目

WINDOW SETUP	COL-L: 50
LAY SETUP	: PRESS
H START	: 0 DOT(S)
V START	: 0 DOT(S)
<b>H WIDTH</b>	: 688 DOTS
V WIDTH	: 472 DOTS
RESIZE TO FIT	: OFF / ON

下端に黒い横線が出ている場合の調整に使用する項目

左端に黒い縦線が出ている場合の調整に使用する項目

WINDOW SETUP	COL-L: 50
LAY SETUP	: PRESS
<b>H START</b>	: 0 DOT(S)
V START	: 0 DOT(S)
H WIDTH	: 688 DOTS
V WIDTH	: 472 DOTS
RESIZE TO FIT	: OFF / ON

上端に黒い横線が出ている場合の調整に使用する項目

### プリント画に黒い横線が出ている場合

#### 上端に黒い横線が出ている場合：

V START で、プリント画の上端の取り込み位置を調整します。

#### ご注意

上端を調整時、画面下端に黒い横線が現れる場合があります。この場合は、次の V WIDTH で消してください。

#### 下端に黒い横線が出ている場合：

V WIDTH で、プリント画の下端の取り込み位置を調整します。

### プリント画に黒い縦線が出ている場合

#### プリント画の左端に黒い縦線が出ている場合：

H START で、左端の取り込み位置を調整します。

#### ご注意

左端を調整時、画面右端に黒い線が現れる場合があります。この場合は、次の H WIDTH で消してください。

#### プリント画の右端に黒い縦線が出ている場合：

H WIDTH で、右端の取り込み位置を調整します。

### 工場出荷設定値に戻すには

H START と H WIDTH、V START と V WIDTH を各ペア毎に工場出荷設定値に戻すことができます。

垂直方向の設定値を工場出荷時の設定に戻すには、V START または V WIDTH のいずれかにカーソルを合わせ、←、→ ボタンを同時に押します。

水平方向の設定値を工場出荷時の設定に戻すには、H START または H WIDTH のいずれかにカーソルを合わせ、←、→ ボタンを同時に押します。

工場出荷時の設定は次の値になります。

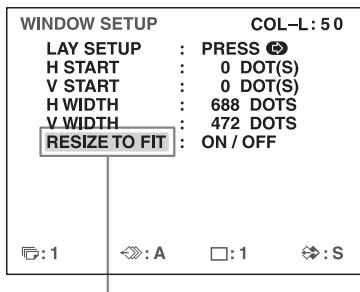
入力信号	H WIDTH	H START	V WIDTH	V START
NTSC	688	0	472	0

### 調整結果を見るには

プリントして、黒い枠や、画面の欠けがないこと、または黒い線が消えていることを確認してください。

## プリント紙の大きさに合わせてプリントする

- 1 LAYOUT SETUP メニューからWINDOW SETUP画面を表示させる。
- 2 「RESIZE TO FIT」を選択する。



「RESIZE TO FIT」を緑色に点灯させる。

選択項目	プリント結果
OFF	WINDOW SETUP 画面で調整したままの大きさで印刷される。
ON	調整した画像がプリント紙の大きさに合わせて拡大印刷される。

## カラーバランスを調整する

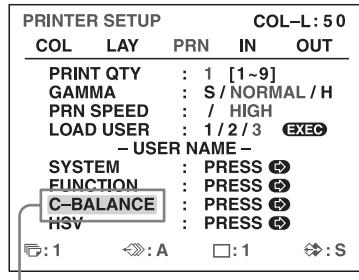
モニター画面の色合いとプリント画の色合いを一致させたい場合、本機能でプリント画の色合いの調整を行います。モニター画面には、調整結果の色合いの変化は現れません。また、新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときに、カラーバランスの調整を行うことをおすすめします。ペアごとの色合いのばらつきを補正できます。

1度調整し、記憶させると、電源を切っても次に記憶し直すまで同じ設定でプリンターは調整され、機能します。

### カラーバランスの調整を行う前に

COLOR ADJUST メニューの設定値をすべてセンターの値に設定してください。

- 1 PRINTER SETUP メニューからCOLOR BALANCE調整画面を表示させる。



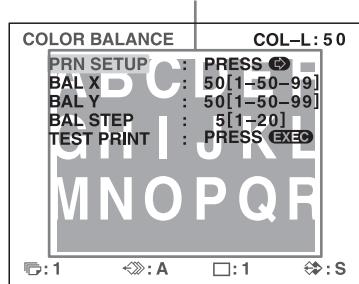
「C-BALANCE」を選び ➡ ボタンを押す。

COLOR BALANCE 画面が表示されます。この画面上でハイライトされている部分がカラーバランス調整用にプリントされる範囲です。この範囲は移動することができます。

### ご注意

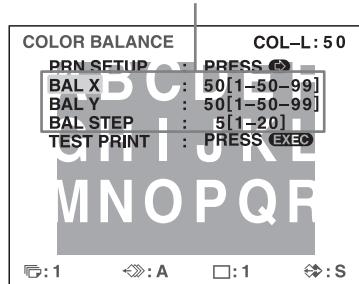
2分割、4分割画面に設定していた場合はフル画面となり、カーソルがあったページが表示されます。

取り込まれる範囲  
(ハイライトされている: 画面全体の 2/3 位)



初めて調整する場合は、BAL X/BAL Y/BAL STEP の値は、工場出荷時の 50/50/5 に設定されています。カラーバランスの調整をすでにしている場合は、前回の調整値が表示されています。

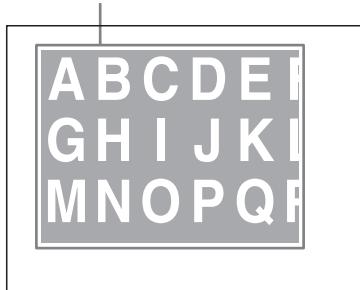
現在のカラーバランスの X 軸、Y 軸および BALANCE STEP (各カラーバランス間の変化範囲) の設定値 (例は、工場出荷時の値)



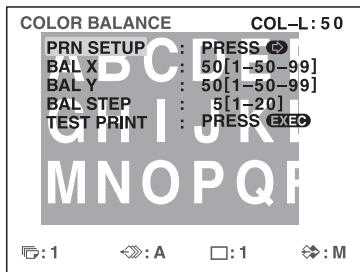
工場出荷時の設定値 (50/50/5) に戻したい場合は各項目ごとに、カーソルを合わせ、⬅、➡ ボタンを同時に押します。

**2** カラーバランス調整用に使用する画像の位置を決める。  
DISPLAY ボタンを押しながら、**←**、**→**、**↑**、**↓** ボタンを押して、カラーバランス調整用に使用したい範囲を決めます。

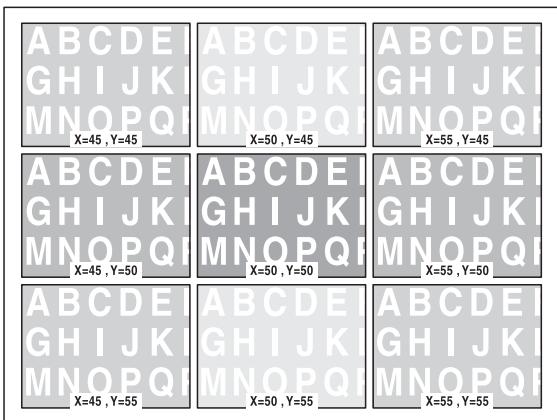
DISPLAY ボタンを押しながら、**←**、**→**、**↑**、**↓** ボタンを使って、希望の位置を表示させる。  
(一時的に COLOR BALANCE 調整画面が消える。)



**3** CAPTURE ボタンを押す。  
メモリー画の画像がモニター画面に現れます。



**4** 「TEST PRINT」を選び、EXEC ボタンを押す。  
手順 2 で選んだ範囲の画像が 9 つプリントされます。  
1 つ 1 つのカラーバランスが異なります。  
COLOR BALANCE 調整画面で PRINT ボタンを押しても、同様の印画を行うことができます。



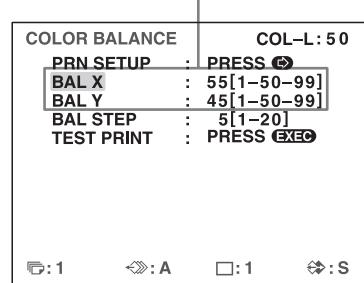
テストプリント画における色の変化は次のようになります。



**5** プリント結果を見ながらカラーバランスが最適と思われるものを選ぶ。  
プリント画を見てカラーバランスを調整し直したい場合は、「カラーバランスを調整し直すには」(54 ページ) をご覧ください。

**6** 手順 5 で選んだ位置に該当する BAL X および BAL Y の値を **←**、**→** ボタンで表示させる。  
例：上の段の右の画面のカラーバランス 55 & 45 が最適の場合

**←**、**→** ボタンを使って BAL X に 55、  
BAL Y に 45 を表示させる。



プリント画のカラーバランスが、手順 5 で選んだものに補正されます。

#### カラーバランスを調整し直すには

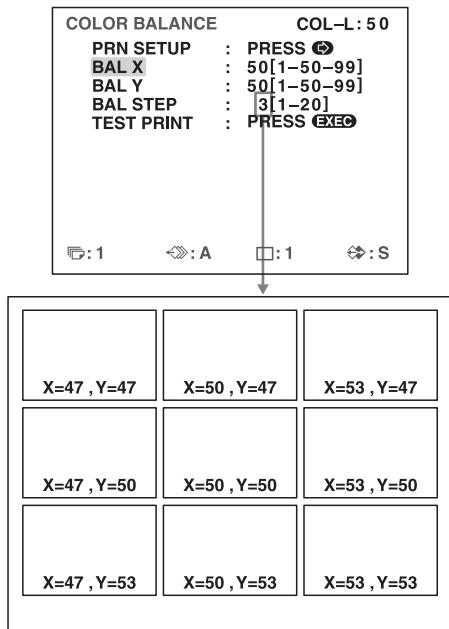
「カラーバランスを調整する」の手順 5 で適切なカラーバランスが得られなかった場合は、調整し直します。また微調整も同様の操作で行います。

**1** プリント画の中でも適切と思える BAL X および BAL Y の値を **←**、**→** ボタンを使って表示させる。  
このとき、BAL STEP の値を変更すればさらに微調整、または粗調整を行うことができます。

## 微調整を行うには

現在のカラーバランスの範囲内で微調整したい場合は、BAL STEP を現在の値より小さくします。

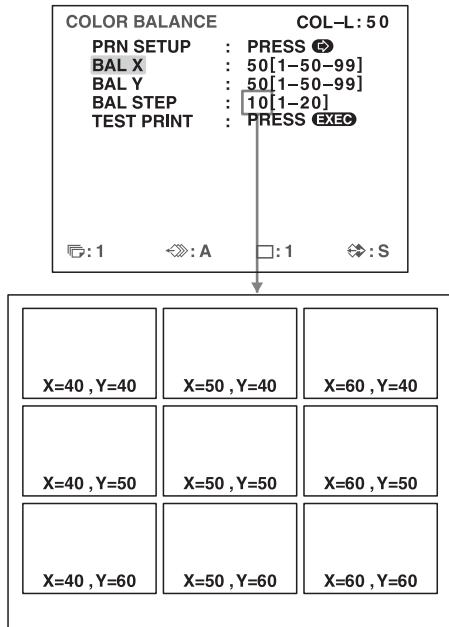
5から3に変更すると、テストプリントのカラーバランスは以下のように変わります。



## 粗調整を行うには

現在のカラーバランスの範囲外で調整したい場合は、BAL STEP を現在の値より大きくします。

5から10に変更すると、テストプリントのカラーバランスは以下のように変わります。



2 「カラーバランスを調整する」の手順2、3、4を繰り返してプリント画を作る。

## 3 プリント画の中に最適と思われるものを選ぶ。

最適なものがいない場合は上記手順1～2を繰り返して最適なカラーバランス値を得ます。

## 4 「カラーバランスを調整する」の手順6に戻る。

## 色を指定して調整する (HSV調整)

プリント画の特定の色を調整したい場合は、本機能で色を指定して調整します。色は、赤 (RED)、黄色 (YELLOW)、緑 (GREEN)、水色 (CYAN)、青 (BLUE)、ピンク (MAGENTA) を指定できます。

本機能は、白黒データには影響を与えません。また、モニター画面には調整結果の色の変化は現れません。

一度調整して記憶せると、電源を切っても次に記憶し直すまで同じ設定でプリンターが調整され、機能します。

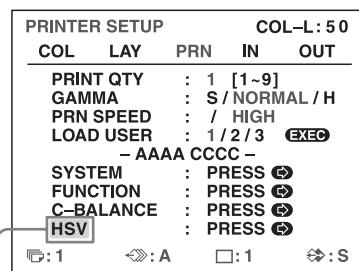
### HSV調整を行う前に

COLOR ADJUST メニューの色調 (RED/GREEN/BLUE) をすべてセンターの値に設定してください。

### ご注意

COLOR ADJUST メニュー、カラーバランスの調整により、白黒データが変化している場合は、本機能の影響を受ける場合があります。

1 PRINTER SETUP メニューからHSV調整画面を表示させる。

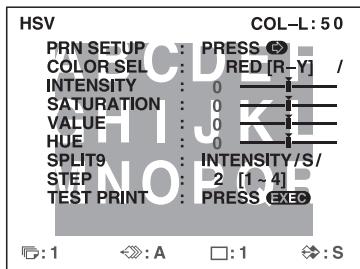


↑、↓ボタンを押して「HSV」を緑色に点灯させ、  
→ボタンを押す。

HSV画面が表示されます。この画像上でハイライトされている部分がHSV調整用にプリントされる範囲です。この範囲は移動できます。

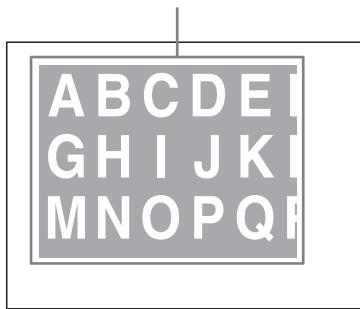
## ご注意

2分割、4分割画面に設定していた場合はフル画面となり、カーソルがあったページが表示されます。

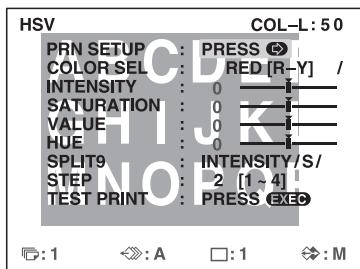


**2** HSV調整用に使用する画像の位置を決める。  
DISPLAYボタンを押しながら、**←**、**→**、**↑**、**↓**ボタンを押して、HSV調整用に使用したい範囲を決めます。

DISPLAYボタンを押しながら、**←**、**→**、**↑**、**↓**ボタンを使って、希望の位置を表示させる。(一時的にHSV調整画面が消える)



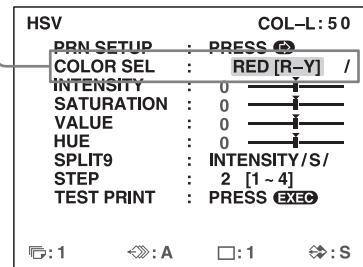
**3** CAPTUREボタンを押す。  
メモリー1画の画像がモニター画面に現れます。



**4** 調整したい色を指定する。

COLOR SELで指定します。

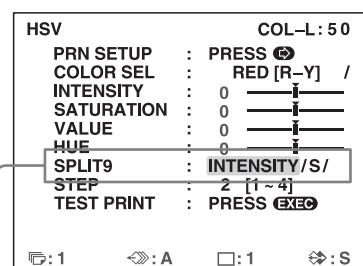
**↑**、**↓**ボタンを押して「COLOR SEL」を緑色に点灯させ、  
**←**、**→**ボタンを使って調整したい色を指定する。



## COLOR SEL 内容

RED [R-Y]	赤 (RED) を指定します。 INTENSITYに対しては、赤から黄色の色相 (R-Y) を指定します。
YEL [Y-G]	黄色 (YEL : YELLOW の略) を指定します。 INTENSITYに対しては、黄色から緑の色相 (Y-G) を指定します。
GRN [G-C]	緑 (GRN : GREEN の略) を指定します。 INTENSITYに対しては、緑から水色の色相 (G-C) を指定します。
CYN [C-B]	水色 (CYN : CYAN の略) を指定します。 INTENSITYに対しては、水色から青の色相 (C-B) を指定します。
BLU [B-M]	青 (BLU : BLUE の略) を指定します。 INTENSITYに対しては、青からピンクの色相 (B-M) を指定します。
MAG [M-R]	ピンク (MAG : MAGENTA の略) を指定します。 INTENSITYに対しては、ピンクから赤の色相 (M-R) を指定します。

**5** 調整したいパラメータを指定する。  
SPLIT9で指定します。



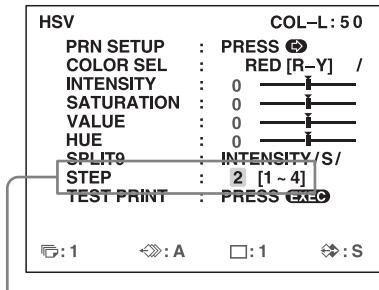
**↑**、**↓**ボタンを押して「SPLIT9」を緑色に点灯させ、  
**←**、**→**ボタンを使ってパラメータを指定する。

## SPLIT9 内容

INTENSITY	COLOR SELの[]で指定した範囲の色相をパラメータとして指定します
SATURATION	COLOR SELで指定した色の彩度をパラメータとして指定します

SPLIT9	内容
VALUE	COLOR SEL で指定した色の明度をパラメータとして指定します
HUE	COLOR SEL で指定した色の色相をパラメータとして指定します

6 ステップを指定する。  
STEP で指定します。



↑、↓ボタンを押して「STEP」を緑色に点灯させ、  
←、→ボタンを使ってパラメータのステップ幅を指定する。

HSV調整画像をプリントする場合、SPLIT9で指定したパラメータのステップ幅を指定します。  
1~4の値を指定でき、値が小さい時は微調整、値が大きい時は粗調整を行うことができます。

7 「TEST PRINT」を選び、EXECボタンを押す。  
手順2で選んだ範囲の画像が9つプリントされます。  
1つ1つSPLIT9で指定したパラメータの値が異なります。  
(HSV調整画面でPRINTボタンを押しても、同様の印画を行うことができます)



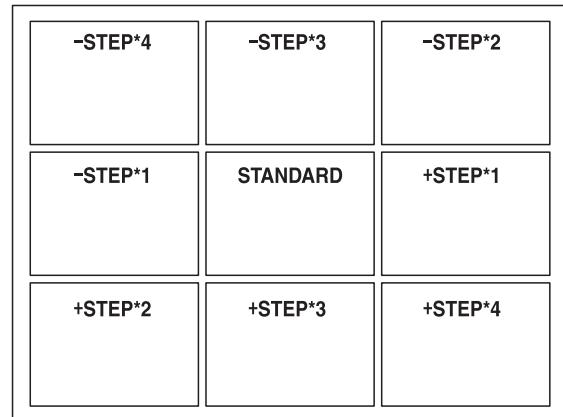
画像のキャプションは順番に、「指定色」、「指定色の INTENSITY の値」、「指定色の SATURATION の値」、「指定色の VALUE の値」、「指定色の HUE の値」を表しています。

### 指定色

R : RED[R-Y]  
Y : YEL [Y-G]  
G : GRN [G-C]

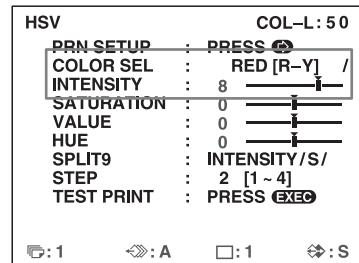
C : CYN [C-B]  
B : BLU [B-M]  
M : MAG [M-R]  
I= 指定色の INTENSITY の値  
S= 指定色の SATURATION の値  
V= 指定色の VALUE の値  
H= 指定色の HUE の値

テストプリントにおけるSPLIT9で指定したパラメータの変化は次のようにになります。



8 プリント結果を見ながら調整値が最適と思われるものを選ぶ。  
調整値を変更したい場合は、「パラメータを調整し直すには」(58ページ)をご覧ください。  
調整するパラメータを変更する場合は手順5「調整したいパラメータを指定する」から、  
調整する色を変更する場合は手順4「調整したい色を指定する」から、やり直してください。

9 手順8で選んだ位置に該当するパラメータの値を ←、→ボタンで表示させる。  
例：下の段の右の画面のRED [R-Y]のINTENSITY=8  
が最適の場合



プリント画のHSVが、手順8で選んだものに補正されます。

## パラメーターの調整

± 16 の範囲で調整できます。画面上では、数値とグラフで表示します。数値の 0、グラフの中間が標準です。

パラメーター	説明
INTENSITY	COLOR SEL の [ ] で指定した範囲の色相を調整します。 例えば COLOR SEL が RED[R-Y] のとき、赤から黄色の色相がプラス方向では赤っぽくなり、マイナス方向では黄色っぽくなります。 この値が、HSV 調整画像をプリントした時の基準パラメータとなります。 COLOR SEL 毎 ([R-Y], [Y-G], [G-C], [C-B], [B-M], [M-R]) にデータを保持しています。
SATURATION	COLOR SEL で指定した色の彩度を調整します。 プラス方向で彩度は上がり、マイナス方向で彩度は下がります。 この値が、HSV 調整画像をプリントした時の基準パラメータとなります。 COLOR SEL 毎 (RED、YEL、GRN、CYN、BLU、MAG) にデータを保持しています。
VALUE	COLOR SEL で指定した色の明度を調整します。 プラス方向で明度は上がり、マイナス方向で明度は下がります。 この値が、HSV 調整画像をプリントした時の基準パラメータとなります。 COLOR SEL 毎 (RED、YEL、GRN、CYN、BLU、MAG) にデータを保持しています。
HUE	COLOR SEL で指定した色の色相を調整します。 -16 の時 -30 度、16 の時 30 度、色相を回転します。 この値が、HSV 調整画像をプリントした時の基準パラメータとなります。 COLOR SEL 每 (RED、YEL、GRN、CYN、BLU、MAG) にデータを保持しています。

### 工場出荷時の設定値に戻したい場合は

各項目ごとにカーソルを合わせ、**←**、**→** ボタンを同時に押します。

COLOR SEL 毎にデータを保持していますので、全設定を戻したい場合は、COLOR SEL を変更しながら各項目に対して実行してください。

**10** さらに別のパラメータも調整したい場合は、手順 5 ~ 9 を繰り返す。

**11** 更に別の色も調整したい場合は、手順 4 ~ 9 を繰り返す。

## パラメータを調整し直すには

「色を指定して調整する (HSV 調整)」の手順 8 で適切なパラメータが得られなかった場合は、調整し直します。また、微調整も同様の操作で行います。

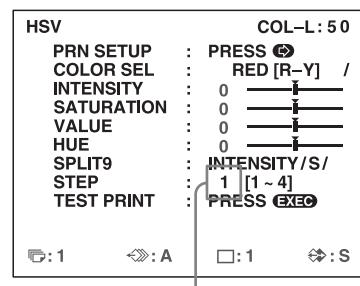
**1** プリント画の中でも適切と思えるパラメータの値を

**←**、**→** ボタンで表示させる。

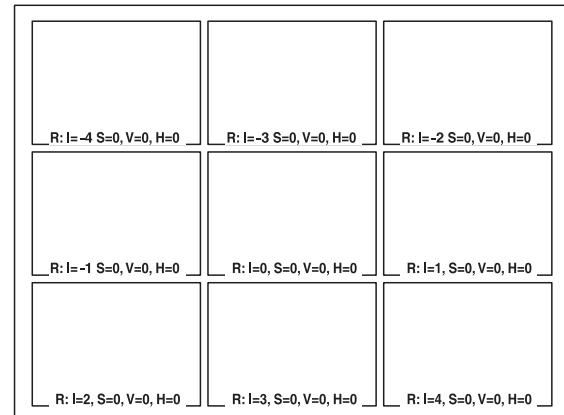
この時、STEP の値を変更すれば、さらに微調整、または粗調整を行うことができます。

### 微調整を行うには

現在のパラメータの範囲内で微調整したい場合は、STEP を現在の値より小さくします。

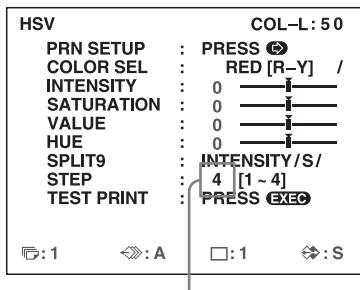


STEP を 1 にした場合の HSV のテストプリントは下図のようになります。

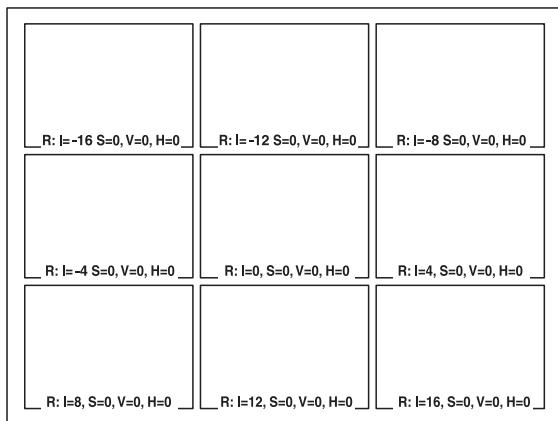


## 粗調整を行うには

現在のパラメータの範囲外で調整したい場合は、STEP を現在の値より大きくします。



STEP を 4 にした場合の HSV のテストプリントは下図のようになります。



- 「色を指定して調整する (HSV 調整)」の手順 2~7 を繰り返してプリント画を作る。
- プリント画の中に最適と思われるものを選ぶ。最適なものが無い場合は、上記手順 1~2 を繰り返して最適なパラメータを得ます。
- 「色を指定して調整する (HSV 調整)」の手順 8 に戻る。

# 各種設定をする

## 別売りのリモコンでの操作を選ぶ

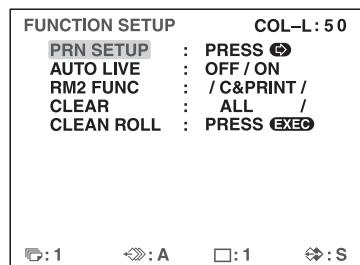
プリンター裏面の REMOTE 2 端子へリモートコントロールユニット RM-91 (別売り) をつないでプリンターをリモートコントロールできます。

FUNCTION SETUP 画面を使って、REMOTE 2 端子に接続したリモコンに、操作を割り当てることができます。

上記のほかに REMOTE 2 端子へパルス信号 (69 ページ) を送ってプリンターをリモートコントロールすることもできます。

また、RS-232C コネクターにコンピューターを接続して本機をリモートコントロールできます。

- PRINTER SETUP メニューからをFUNCTION SETUP 画面を表示させる。



- 「RM2 FUNC」を選び、機能を割り当てます。

操作方法の種類	操作内容
CAPTURE	リモコンのスイッチを押すとメモリーに記憶します。プリンター本体の CAPTURE ボタンと同じ働きをします。
PRINT	リモコンのスイッチを押すとプリント動作が始まります。プリンター本体の PRINT ボタンと同じ働きをします。
C & PRINT a)	リモコンのスイッチを押すごとに、プリント予約されていないメモリーページに順々に記憶し、プリントします。プリント中の場合は、プリント予約を行なっているプリント動作の終了後プリントを開始します。
CYCLIC-C b)	リモコンのスイッチを押すごとに内蔵しているプリント予約されていないメモリーページに順々に記憶していきます。メモリーを一巡すると新しく記憶し直していきます。前の画像が消えてしまうのでご注意ください。
CAP - STOP b)	リモコンのスイッチを押すごとに記憶し、(CAPTURE STOP) 最後のメモリーページに記憶し終ると、「HIT ANY KEY.」というメッセージが現れ、記憶できなくなります。

操作方法の種類	操作内容
BACK-SP <sup>a)</sup>	リモコンのスイッチを押すごとに分割画面上でカーソルが1つ前の画面に戻ります。
POINTER+	リモコンのスイッチを押すごとに分割画面上でカーソルが1つ先の画面に戻ります。
STOP	リモコンのスイッチを押すと、現在プリント中のものをプリントした後、プリント動作を終了します。
CAP/SRC (CAPTURE/ SOURCE)	画面にメモリー画が表示されているときは、スイッチを押すとソース画に戻ります。画面にソース画が表示されているときは、リモコンのスイッチを押すと、ソース画をメモリーに記憶します。ただしメモリーページの移動は行われません。次にリモコンのスイッチを押しても現在のメモリーページに記憶されます。
CAP/S PAGE <sup>b)</sup> (CAPTURE/ SOURCE PAGE)	画面にメモリー画が表示されているときは、スイッチを押すとソース画に戻ります。画面にソース画が表示されているときは、リモコンのスイッチを押すと、ソース画をメモリーに記憶します。この動作を、メモリーページを移動しながら行います。記憶された画像のプリントは行われません。
PRINT & PAGE	リモコンのスイッチを押すとプリント動作が始まり、次のメモリーページに移動します。メモリーページに画像が記憶されていないと、スイッチを押しても正常な動作が行われません。
SRC & CAP (SOURCE & CAPTURE)	スイッチを押すと、ソース画が表示され、スイッチを離すと離した瞬間の画像がメモリーに記憶されます。ただしメモリーページの移動は行われません。
SRC & C PAGE <sup>b)</sup> (SOURCE & CAPTURE PAGE)	スイッチを押すと、ソース画が表示され、スイッチを離すと離した瞬間の画像がメモリーに記憶されます。この動作を、メモリーページを移動しながら行います。この場合、記憶された画像のプリントは行われません。

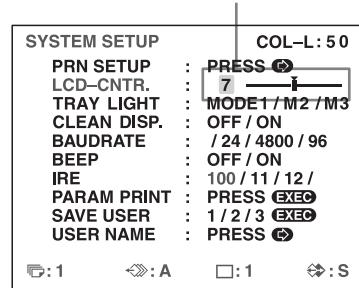
- a) 本操作を使用するときは、モニター画面にS(ソース画)が表示されていることを確認します。Sが表示されていないときは、SOURCE/MEMORYボタンを押して、入力画が映し出されるモードに設定してください。また、分割画面を取り込んでいるときは、最後の画面を取り込んでから、プリント(プリント予約)し、次のメモリーページに進みます。
- b) 分割画面を取り込んでいるときは、最後の画面を取り込んでから、次のメモリーページに進みます。

## 液晶ディスプレイの調整をする

液晶ディスプレイが見にくいときには、コントラストの調整をしてください。

- 1 PRINTER SETUPメニューからSYSTEM SETUP画面を表示させる。
- 2 「LCD-CNTR.」を選び、液晶ディスプレイのコントラストを調整する。

←、→ボタンを押して調整する。



### ご注意

左端の位置にすると「OFF」と表示され、液晶ディスプレイの表示が出なくなります。ただし、メニューとメッセージは表示されます。

## トレイライトを設定する

本機のトレイライトの機能を設定します。

- 1 PRINTER SETUPメニューからSYSTEM SETUP画面を表示させる。
- 2 「TRAY LIGHT」を選び、トレイライトの機能を選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目(略表示/選択時の表示)
トレイライトを印画用紙から約5秒間点灯するとき	M1/MODE1
トレイライトを常時点灯するとき	M2/MODE2
トレイライトを常時消灯するとき	M3/MODE3

## クリーニングメッセージ表示機能を設定する

ヘッドクリーニング推奨時にメッセージを表示するかしないかを設定します。このメッセージは、①POWERを押してプリンターを起動した後に約6秒間表示されます。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。
- 2 「CLEAN DISP.」を選び、メッセージを表示するかしないかを選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目
ヘッドクリーニング推奨時に	OFF
メッセージを表示しないとき	
ヘッドクリーニング推奨時に	ON
メッセージを表示するとき	

## 操作音、アラーム音を設定する

本機のボタンを操作したとき操作音（ピッと1回）、エラーが起きたときアラーム音（3回）が鳴るか鳴らないかを切り替えます。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。
- 2 「BEEP」を選び、ブザーが鳴るか鳴らないかを選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目
操作音とアラーム音を鳴らないようにしたいとき	OFF
操作音とアラーム音を鳴るようにしたいとき	ON

## 本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ

RS-232C 端子につないだコンピューターから本機をコントロールするときの、通信速度（ボーレート）を選ぶことができます。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。
- 2 「BAUDRATE」を選び、希望の通信速度を選ぶ。

ボーレート (bps)	モニター画面および液晶ディスプレイの表示 (選ばれたボーレートは、上位2桁の略表示 から、全体表示に変わります。)
1200	12 → 1200
2400	24 → 2400
4800	48 → 4800
9600	96 → 9600

## メニューの設定値をプリントする

一部のメニューを除くほぼすべてのメニューの設定値をプリントできます。

### ご注意

- ・ COLOR ADJUST メニューの「SAVE COLOR」と SYSTEM SETUP メニューの「SAVE USER」の設定値は印刷されません。
- ・ プリント枚数は「1」に設定してください。そうしないと複数枚プリントされてしまいます。
- ・ インクリボンとプリント紙を正しくセットし、エラー メッセージが表示されない状態にしてください。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。
- 2 「PARAM PRINT」を選び、EXEC ボタンを押す。メニューの設定値がプリントされます。

## インクリボンの種類と残量を表示させる

モニター画面に常時インクリボンの種類と残量を表示しておくことができます。

### ご注意

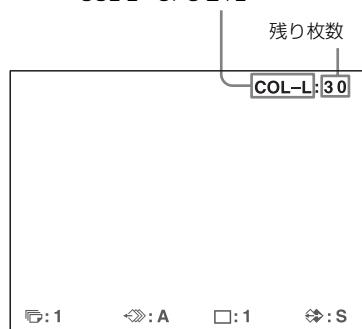
リボン残量は目安としてお使いください。

- 1 OUTPUT SETUP メニューを表示させる。
- 2 「RBN REMAIN」を選び、表示させるかさせないかを選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目
インクリボンの種類と残量を表示させないと き	OFF
インクリボンの種類と残量を表示させたいと き	ON

### インクリボンの種類・残量表示について

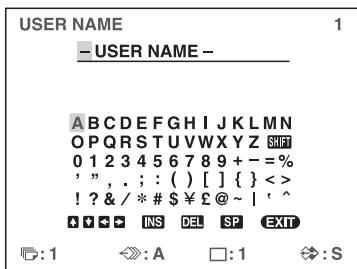
インクリボンの種類を示します。  
COL-S : UPC-21S  
COL-L : UPC-21L



## 調整値をユーザー設定として登録する

プリンターの仕様は、各種メニュー画面上で設定し、ユーザー設定として3種類まで登録しておくことができます。登録した設定は、電源を切っても変わりませんので、日常プリンターを使用するときは、ユーザー設定を選ぶことで使用する入力画像源の機器や、プリンターを使うかたの好みに合わせた設定でプリントすることができます。また、呼び出したユーザー設定の設定値を変更した場合、プリンターは設定し直した値で動作します。この場合は、電源を切っても新たにユーザー設定を呼び出さない限り、電源を切る前の設定でプリンターは動作します。各メニュー画面で、ユーザー設定番号に登録したい設定をすべて行った後、引き続き以下の操作を行ってください。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。  
保存するユーザー設定にユーザー名を付けたい場合は手順 2 へ、付けない場合は手順 4 へ進んでください。
- 2 **↑、↓** ボタンで「USER NAME」を選び、**→** ボタンを押す。  
USER NAME 入力画面が現れます。



文字の入力について詳しくは、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。  
入力できる文字の数は、16 文字です。

- 3 ←、→、↑、↓ ボタンで「EXIT」を選び、EXEC ボタンを押す。  
SYSTEM SETUP メニュー画面に戻ります。
- 4 「SAVE USER」を選び、希望のユーザー設定番号を選ぶ。
- 5 EXEC ボタンを押す。  
手順 4 で選んだユーザー設定番号にすべての設定値が登録されます。また、手順 2 でユーザー名を登録するとユーザー名と一緒に登録されます。

プリンターはこの後、ユーザー設定番号を選び直さない限りこのユーザー設定値で動作します。また現在使用しているユーザー設定値を修正した場合、他のユーザー設定を選択する場合は、この手順を繰り返す必要があります。

ばない限り、修正した値でプリンターは動作します。この設定は、電源を切っても保持されます。

別のユーザー設定を行うには

メニュー画面で必要な調整を行って、再度別のユーザー設定番号に登録します。

登録した内容を呼び出してプリントするには

PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」で希望のユーザー設定を選び、EXEC ボタンを押します。プリンターは呼び出されたユーザー設定に従って動作します。

元の調整値を残して記憶するときは

例：ユーザー設定1の設定値を修正し、ユーザー設定1はそのまま残しておき、修正した設定値をユーザー設定2として登録します。

- 1 PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」でユーザー設定1を選ぶ。
- 2 EXEC ボタンを押す。  
ユーザー設定1が確定されます。
- 3 呼び出した設定値を必要に応じて設定し直す。
- 4 SYSTEM SETUP メニュー画面の「SAVE USER」で「2」を選ぶ。
- 5 EXEC ボタンを押す。  
手順3で修正した値がユーザー設定「2」の設定値として登録されます。

既存のユーザー設定をコピーするには

すでに設定してあるユーザー設定を他のユーザー設定番号にコピーできます。

- 1 PRINTER SETUP メニュー-上の「LOAD USER」でコピーしたい設定のユーザー番号を選ぶ。
- 2 EXEC ボタンを押す。  
手順 1 で選んだユーザー設定 1 が確定されます。
- 3 「SYSTEM-SETUP」メニュー画面の「SAVE USER」でコピー先のユーザー設定番号を選ぶ。
- 4 EXEC ボタンを押す。  
手順 1 で選んだユーザー設定の設定値が、手順 3 で選んだユーザー設定番号にコピーされます。

## すべての設定を工場出荷設定に戻すには

ユーザー設定を登録していないユーザー番号には、工場出荷設定が登録されています。ユーザー設定が登録されていないユーザー番号を選択することで、すべてのメニュー設定を工場出荷設定に戻すことができます。

### ご注意

- ・すべてのメニュー設定を工場出荷設定に戻すと、  
CAPTION メニューで作成したコメントも削除されます。
- ・すべてのユーザー番号にユーザー設定を登録した場合、  
工場出荷設定に戻すことはできません。

- 1 PRINTER SETUP メニューの「LOAD USER」で、  
ユーザー設定が登録されていないユーザー番号を選択  
する。
- 2 EXEC ボタンを押す。  
すべてのメニュー設定が工場出荷設定に戻ります。



# 本機の性能を保持するため

本機の性能を保持するために、「安全のために」（2ページ）、「**△警告**」（4ページ）、「**△注意**」（5ページ）と併せてご覧ください。

## 使用上のご注意

モニター画面に「ヘッドクリーニングをおこなってください」、または、液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD」と表示された場合

プリント枚数が1,000枚に達すると、モニター画面に「ヘッドクリーニングをおこなってください」、または、液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD」というメッセージが表示されます。この場合は感熱ヘッドをクリーニングしてください。クリーニングについて詳しくは「感熱ヘッドのクリーニング」（65ページ）をご覧ください。

ヘッドクリーニングのメッセージは、①POWERスイッチを押してプリンターが起動した後に約6秒間表示されます。クリーニングされない場合、電源再投入時に再度メッセージが表示されます。

また、このメッセージの表示設定については、SYSTEM SETUPメニューの「CLEAN DISP.」の設定でオンまたはオフにすることができます。（60ページ）

モニター画面に「ローラークリーニングをおこなってください」、または、液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL」というメッセージが表示された場合

本機は、給紙トレイ内の最後の1枚のプリントが終了すると、給紙ローラーの自動クリーニングを行います。まれに想定以上の給紙ローラーの汚れを内部センサーが検知した場合、モニター画面に「ローラークリーニングをおこなってください」、または、液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL」というメッセージが表示されます。この場合は給紙ローラーを手動クリーニングしてください。手動クリーニングについて詳しくは「給紙ローラーの手動クリーニング」（66ページ）をご覧ください。

ローラークリーニングのメッセージは、給紙力が想定以上に低下した場合、プリント終了時に表示されます。

### 設置するときのご注意

次のような場所に設置または保管しないでください。

- ・直射日光のあたるところ
- ・湿気の多いところ

- ・極端に暑いところや寒いところ
- ・振動の多いところ
- ・ほこりの多いところ
- ・不安定なところ
- ・危険防止のため、本体の上にモニターなど、物を置かないでください。

### 注意

プリンター内部の温度上昇を防ぐために、プリンター周囲はスペースを充分に空けてください（10cm以上）。本体の側面にある通風孔をふさがないでください。

### 輸送するときは

プリンターを輸送する際は、次の手順で付属品をはずし、ご購入時の梱包箱で梱包してください。付属品が取り付けられたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

**1** インクリボンと給紙トレイをはずす。

**2** 内部の感熱ヘッドを固定する。

① ①POWERスイッチを押してプリンターの電源を入れ、液晶ディスプレイの表示が「SET RIBBON SET PAPER」になるまで待つ。

② カーソル移動キーの←と→、およびMENUボタンを同時に押す。

プリンターの動作音が約4秒続きます。液晶ディスプレイには「PLEASE WAIT」というメッセージが表示されます。

③ プリンターの動作音が止まり、液晶ディスプレイに「TRANSPORT MODE」と表示されたら、①POWERスイッチを押してプリンターの電源を切る。

感熱ヘッドが固定されます。

### ご注意

液晶ディスプレイに「PLEASE REMOVE RIBBON」と表示された場合は、インクリボンをはずしてやり直してください。

### 感熱ヘッドの固定をはずすには

再度電源を入れます。感熱ヘッドが移動し、インクリボンを取り付けることができるようになります。

### 長い間ご使用にならないときは

- ・①POWERスイッチを押してプリンターの電源を切り、電源コードを抜いてください。
- ・使用途中のプリント紙とインクリボンは本体からはずして、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴

が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

### 結露について

- ・ 温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- ・ 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴がつくことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

## お手入れ

### ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源コードを抜いてください。

### キャビネットが汚れたら

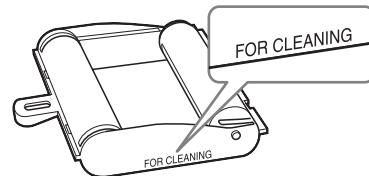
キャビネットの汚れはベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄液、化学ぞうきんなどで拭くと表面の仕上げを痛めたりすることがありますので、以下のことをお守りください。

- ・ 本体表面の清掃は、濃度 50 ~ 70v/v% のイソプロピルアルコール、または濃度 76.9 ~ 81.4v/v% のエタノールで清拭してください。
- ・ 汚れがひどいときには、クリーニングクロスなど柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭き取った後、上記薬液を用いて清拭してください。
- ・ 布にゴミが付着したまま強く拭かないでください。本体表面に傷がつくことがあります。
- ・ 本体表面にゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

## 感熱ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが発生する場合は、付属の感熱ヘッドクリーニングカートリッジとクリーニングシートを使って、感熱ヘッドをクリーニングしてください。

### 感熱ヘッドクリーニングカートリッジ



プリント画の品質を維持するために、プリントパックの入れ替え時期（1 プリントパックを使い終わったとき）を目安として定期的にクリーニングすることをおすすめします。感熱ヘッドのクリーニングには、プリントパック UPC-21S/UPC-21L に付属の保護シートを裏返しにして、クリーニングシートとして使用します。

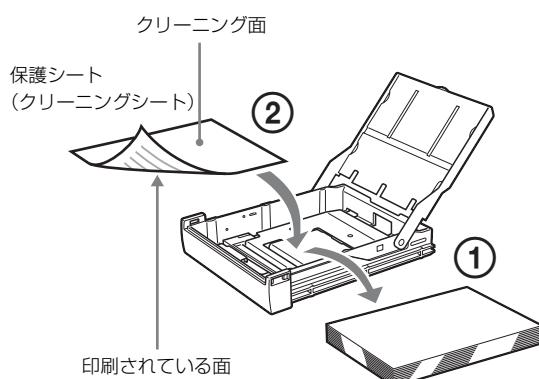
### 1 給紙トレイを押して取り出す。

給紙トレイからプリント紙をすべて取り除いてください。プリント紙が給紙トレイ挿入部に残っている場合は、プリント紙を取り除いてください。①

### 2 「プリント紙を入れる」（21 ページ）の手順 3 で取り除いた保護シート（クリーニングシート）を、裏面（印刷されていない面）を上にして給紙トレイに入れる。 ②

### ご注意

一度クリーニングシートとして使用した保護シートを再使用しないでください。



### 3 給紙トレイをプリンターに取り付ける。

### 4 感熱ヘッドクリーニングカートリッジをプリンターに取り付ける。

インクリボンが取り付けられているときは、はずしてから、感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り付けてください。

取り付けたはインクリボンと同じです。詳しくは「インクリボンを取り付ける」(20 ページ)をご覧ください。

感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り付けてリボンドアパネルを閉じると、液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD: PRESS EXEC」というメッセージが表示されます。

### ご注意

給紙トレイが取り付けられていない場合は、液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD: SET SHEET」と表示されます。この場合は、給紙トレイを取り付けてください。

## 5 EXEC ボタンを押す。

クリーニングが始まります。

クリーニング中は、液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD:NOW CLEANING」と表示されます。

クリーニングシートが排出された後、液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD: FINISHED」と表示されるとクリーニング動作は終了です。

### ご注意

液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD:NOW CLEANING」表示が出ている間は、電源を切らないでください。

## 6 感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り出す。

感熱ヘッドクリーニングカートリッジは、以後のクリーニング時にも使用しますので、捨てずに保管してください。

### ご注意

- クリーニングシートとして使用した保護シートは再利用できません。
- 感熱ヘッドクリーニングカートリッジは、繰り返し使えます。ほこりやごみが付かないように袋に入れて保管してください。

## 給紙ローラーの自動クリーニング

本機は、給紙トレイ内の最後の1枚のプリントが終了すると、給紙ローラーの自動クリーニングを行います。

自動クリーニング中は、液晶ディスプレイに「CLEANING」と表示されます。

クリーニング動作が終了すると、給紙トレイが排出されて自動クリーニングは終了です。

### ご注意

- 液晶ディスプレイに「CLEANING」表示が出ている間は、電源を切らないでください。
- クリーニング終了時に、給紙トレイが自動排出されます。

## 給紙ローラーの手動クリーニング

モニター画面に「ローラークリーニングをおこなってください」、または、液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL」というメッセージが表示された場合は、給紙ローラーを手動クリーニングしてください。

### 1 給紙トレイを押して取り出す。

給紙トレイからプリント紙をすべて取り除いてください。プリント紙が給紙トレイ挿入部に残っている場合は、プリント紙を取り除いてください。

### 2 空の給紙トレイをプリンターに取り付ける。

### 3 PRINTER SETUP メニュー (45 ページ) から FUNCTION SETUP 画面を表示させ、「CLEAN ROLL」を選ぶ。

液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL:PRESS EXEC」と表示されます。

### 4 EXEC ボタンを押す。

給紙ローラーの手動クリーニングが始まります。液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL:NOW CLEANING」と表示されます。

給紙トレイが排出されて手動クリーニングは終了です。

### ご注意

- 液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL:NOW CLEANING」表示が出ている間は、電源を切らないでください。
- クリーニング終了時に、給紙トレイが自動排出されます。
- 空の給紙トレイを必ずプリンターに取り付けてください。

給紙トレイが入っていないと、故障の原因となる場合があります。

# 使えるインクリボンとプリント紙



## 再使用禁止

動作不良の原因となり、印刷結果に悪影響を与えます。

## カラープリントパック UPC-21S

240枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

80枚分のプリント用インクリボン×3巻

80枚分のプリント紙（90×100 mm）×3袋

## カラープリントパック UPC-21L

200枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

50枚分のプリント用インクリボン×4巻

50枚分のプリント紙（100×144 mm）×4袋

## カラープリントパック（UPC-21S/UPC-21L）について

### ご注意

- ・プリント紙がなくなったら、プリント紙と一緒にインクリボンも交換してください。
- ・インクリボンとプリント紙は同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。
- ・インクリボンの色素は他の色素と同様に年月の経過により変化しますが、その点についての補償、代償はご容赦ください。

### プリント紙を保存するときは

- ・温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・使用途中のプリント紙とインクリボンは、本体からはずして、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合は、水滴が付かないように部屋の温度になじませてから開封して使用してください。

### プリント画を保存する場合のご注意

- ・プリント画は光の当たらない室温以下のところに保存してください。
- ・プリント画に粘着テープを貼ったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑材を含むものに触れさせないでください。

- ・プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないように注意してください。

# 主な仕様

電源	AC100 V 、 50/60 Hz
入力電流	1.7 A
動作温度	5 ℃ ~ 35 ℃
動作湿度	20% ~ 80% (ただし結露がないこと)
動作気圧	700 hPa ~ 1,060 hPa
保管／輸送温度	-20 ℃ ~ +60 ℃
保管／輸送湿度	20% ~ 80% (ただし結露がないこと)
保管／輸送時気圧	700 hPa ~ 1,060 hPa
最大外形寸法	約 212 × 98 × 398 mm (幅／高さ／奥行き) 最大突起部含まず。
質量	約 5.7 kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型、YMC 3 色重ね印画
感熱ヘッド	423 dpi
プリント階調	YMC 各色 8 ビット (256 階調) 処理 (イエロー、マゼンタ、シアン)
プリント画素数	UPC-21S 使用時、フル画面プリント : 1,600 × 1,260 ドット UPC-21L 使用時、フル画面プリント : 2,132 × 1,600 ドット
プリント時間	UPC-21S 使用時 約 19 秒 (高速印画時) UPC-21L 使用時 約 29 秒 (高速印画時)
信号方式	NTSC 信号方式
入力端子	RGB/YPbPr (BNC 型 × 3) 0.7 Vp-p SYNC ON Green : 0.3 Vp-p 同期負 外部同期 (BNC 型 × 1) 0.3 ~ 4 Vp-p 同期負 S-VIDEO (4 ピンミニ DIN × 1) Y : 1 Vp-p 同期負 C : 0.286 Vp-p (NTSC 信号方式) VIDEO (BNC 型 × 1) 1 Vp-p 、同期負 AC IN (電源入力用)
出力端子	RGB/YPbPr (BNC 型 × 3) 0.7 Vp-p SYNC ON Green : 0.3 Vp-p 同期負 外部同期 (BNC 型 × 1) 0.3 ~ 4 Vp-p 同期負 S-VIDEO (4 ピンミニ DIN × 1) Y : 1 Vp-p 同期負 C : 0.286 Vp-p (NTSC 信号方式) VIDEO (BNC 型 × 1) 1 Vp-p 、同期負

制御用端子	REMOTE 1 (特殊ミニジャック × 1) 別売りリモートコントロールユニット RM-5500 用端子
	REMOTE 2 (ステレオミニジャック) 別売りリモートコントロールユニット RM-91 用端子
	別売りフットスイッチ FS-24 用端子
	RS-232C (D-SUB 25 ピン × 1) 出力 5 kΩ 負荷時
	Typ 8 V 入力 5 kΩ 負荷時
	High level 5 ~ 15 V Low level -5 ~ -15 V
付属品	給紙トレイ (1) ストッパー (1) 感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1) お試し用カラープリントパック (カラープリントパック UPC-21L 50 枚分) (1) 取扱説明書 (1) 電源コード (1) 保証書 (1)

## 注意

付属の電源コードは本機の専用品です。  
他の機器には使用できません。

別売り品	カラープリントパック UPC-21S 240 枚分 (80 枚 × 3) カラープリントパック UPC-21L 200 枚分 (50 枚 × 4) フットスイッチ FS-24 リモートコントロールユニット RM-91 リモートコントロールユニット RM-5500 *
------	---

\* 生産完了品です。商品の在庫については、各販売店にお問い合わせください。

## 注意

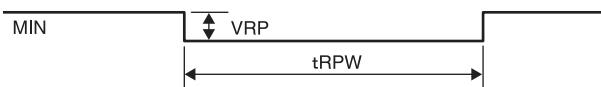
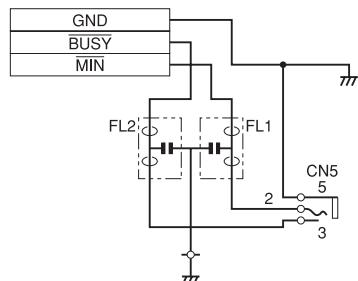
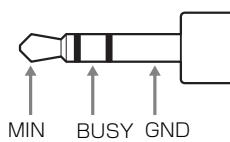
FS-24 は防水保護等級 IPX3 対応のため、液体にさらされる場所 (手術室など) ではご使用になられません。安全のため、液体にさらされる場所 (手術室など) でご使用の場合は、IPX6 以上に対応した製品をご使用ください。

## REMOTE 2 端子によるリモートコントロール

REMOTE 2 端子へ次に示すパルス信号を送ると、プリンターはメニュー画面でリモコンの設定（「各種設定をする」(59 ページ)）に従って動作します。

### REMOTE 2 端子入力用タイミングパルス

REMOTE 2 ピン配列



記号	項目	MIN	TYP	MAX	単位	備考
tRPW	リモコンパルス幅	100	—	—	mSEC	—
VRP	リモコンパルスレベル	—	—	5	V	TTL

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

### 安全に関する仕様

電擊に対する保護の形式：

クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0 級 (特に保護がされていない)

可燃性麻醉剤の点火の危険に対する保護：

空気、酸素または亜酸化窒素と混合した可燃性麻醉ガスが存在する環境での使用には適していません。

作動モード：

連続

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウェア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
- 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用製品ご相談窓口にご連絡ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ソニーサービス窓口にご相談なさるときは、次のことをお知らせください。

- ・型名：UP-25MD
- ・故障の内容：できるだけ詳しく
- ・購入年月日

お問い合わせ

# ライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者様とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「The FreeType Project LICENSE」、「The Catharon Open Source LICENSE」が搭載しております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

## The FreeType Project LICENSE

Copyright 1996-2002 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

TrueType フォントのラスタライズ処理は、FreeType Project のソフトウェアをベースにしています。

## The Catharon Open Source LICENSE

Copyright(c) 2000 by Catharon Productions, Inc.

TrueType フォントのヒンティング処理は、Catharon Productions 社のソースコードを使用しています。

# 故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因と対処
操作ボタンを押してもモニター画面に何も現れない。	<ul style="list-style-type: none"><li>POWERスイッチがOFFになっています。 →POWERスイッチをONにします。</li><li>ビデオモニターのPOWERスイッチがOFFになっています。 →ビデオモニターのPOWERスイッチをONにします。</li><li>接続が正しくされていません。 →接続を確認します。(18ページ)</li><li>出力信号のSYNC設定が適切ではありません。 →OUTPUT SETUPメニューのOUTPUT SYNCを正しく設定してください。</li></ul>
通常画面で画面表示が現れない。	乱れた入力信号が入力されています。 →INPUT SETUPメニュー上で、別の入力信号を選ぶ(23ページ)か、接続しているビデオ機器を正常な再生状態にしてください。
通常画面で画像も画面表示も現れない。	<ul style="list-style-type: none"><li>SOURCE/MEMORYボタンを押してメモリー画像が出たときに正常であれば、出力信号の設定が「THRU」になっています。 →OUTPUT SETUPメニューで出力信号「SOURCE」の設定を「EE」に変えます。「モニター画面とプリント画の色調を合わせる」(49ページ)</li><li>MENUボタンを押してメニュー画面が表示される場合は、モニター画面の管面表示の設定がOFFになっています。 →DISPLAYボタンを押して、管面表示の設定を「ON」に変えます。「モニター画面の管面表示を消す」(42ページ)</li></ul>
液晶ディスプレイに表示が現れない。	液晶ディスプレイのコントラストの調整が適切ではありません。 →SYSTEM SETUPメニューで液晶ディスプレイのコントラスト「LCD CNTR.」の調整をします。「液晶ディスプレイの調整をする」(60ページ)

症状	原因と対処
プリントできない。	<ul style="list-style-type: none"><li>画面にエラーメッセージが出ています。 →「メッセージ一覧」をご覧になって適切な対処を行ってください。「メッセージ一覧」(73ページ)</li><li>本機で使用できないプリント紙が入っています。 →本機専用のプリント紙を入れてください。「使えるインクリボンとプリント紙」(67ページ)</li></ul>
プリント画に黒い線が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>プリント紙の入れかたが間違っています。 →プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「プリント紙を入れる」(21ページ)</li></ul>
プリント画が欠けてしまう。	<ul style="list-style-type: none"><li>映像信号の一部分しかメモリーに記憶しませんでした。 →プリントする画像の範囲を調整します。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」(52ページ)</li></ul>
プリント画がぶれていく。	<ul style="list-style-type: none"><li>映像信号の一部分しかメモリーに記憶できませんでした。 →プリントする画像の範囲を調整します。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」(52ページ)</li></ul>
インクリボンが入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>動きの速い画像を記憶しました。 →LAYOUT SETUPメニュー上でメモリーモードをFIELDにしてプリントします。「メモリーモードを選ぶには」(31ページ)</li><li>本機で使用できないインクリボンを取り付けようとしています。 →本機専用のインクリボンを取り付けてください。(67ページ)</li><li>感熱ヘッドが固定されています。 →プリンターの電源を入れてください。感熱ヘッドが移動し、インクリボンが取り付けられるようになります。</li><li>インクリボンが正しい位置に挿入されません。 →正しい位置に挿入してください。</li></ul>
プリント紙が給紙されない	<ul style="list-style-type: none"><li>プリント紙の先端が折れています。 →先端の折れたプリント紙を給紙トレイから取り除いてください。</li><li>正しい向きでプリント紙が給紙トレイに入っていません。 →プリント紙の向きを確認してください。Sサイズのプリント紙の場合は、給紙トレイの仕切りを立ててお使いください。</li><li>給紙ローラーが汚れています。 →給紙ローラーを手動クリーニングしてください。(66ページ)</li></ul>
プリント画の色が薄い。	<ul style="list-style-type: none"><li>プリント紙の入れかたが間違っています。 →プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「プリント紙を入れる」(21ページ)</li></ul>

症状	原因と対処
印刷されないでプリン ト紙が排出され、 ALARM ランプが点灯 し液晶ディスプレイに CHANGE RIBBON の メッセージが出る	リボンがなくなりました。 →リボンを交換してください。(20 ページ) なお、排出されたプリント紙は使用しないでください。
印画面にキズ、スジが 入る	感熱ヘッドが汚れています。 →感熱ヘッドをクリーニングしてください。 (65 ページ)

# メッセージ一覧

モニター画面および液晶ディスプレイに表示されるエラーメッセージおよび警告メッセージは以下の通りです。メッセージにしたがって次に示す処置をしてください。

## エラーメッセージ

異常が起こると、本機前面の ALARM ランプがオレンジ色に点灯し、モニター画面および液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

下記メッセージ中の nn は、数字・記号を表します。

メッセージ	意味／対処	
モニター画面	液晶ディスプレイ	
リボンをセットしてください	SET RIBBON	インクリボンが取り付けられていません。 →インクリボンを取り付けてください。(20 ページ)
プリント紙をセットしてください	SET PAPER	・ プリント紙がありません。 →プリント紙を入れてください。(21 ページ) ・ 紙トレイが取り付けられていません。 →紙トレイを取り付けてください。(21 ページ)
リボンとプリント紙をセットしてください	SET RIBBON SET PAPER	インクリボンとプリント紙が取り付けられていません。 →インクリボンを取り付け、プリント紙を入れてください。(20, 21 ページ)
たまたまプリント紙を取り出してください	REMOVE PRINTS	紙トレイにプリント済みのプリント紙がたまりました。 →たまたまプリント紙を取り除いてください。プリントが再開されます。
紙詰まりを取ってください	REMOVE PAPER	・ プリンター内部で紙詰まりが起きました。 →詰まったプリント紙を取り除いてください。(76 ページ)
チェックペーパー：プロセス nn	CHECK PAPER nn PROCESS	すでに紙詰まりが解除されていても、このメッセージが表示される場合があります。プリント紙が入った給紙トレイを出し入れしてメッセージが消えれば、紙詰まりは解除されています。
チェックペーパー：給紙 nn	CHECK PAPER nn LOAD	・ 底板が取りはずされています。 →底板を取り付けてください。(77 ページ)
チェックペーパー：排紙 nn	CHECK PAPER nn EJECT	
給紙トレーを取り出して紙詰まりを取ってください	REMOVE PAPER TRAY	紙トレイ付近で紙詰まりが起きました。 →詰まったプリント紙を取り除いてください。(76 ページ) すでに紙詰まりが解除されていても、このメッセージが表示される場合があります。プリント紙が入った給紙トレイを出し入れしてメッセージが消えれば、紙詰まりは解除されています。
リボンがありません リボンを取り替えてください	CHANGE RIBBON	インクリボンが終わりになりました。 →新しいインクリボンを取り付けてください。(インクリボンは再使用できません。) 何もプリントされずに白いプリント紙が排出された場合は、そのプリント紙はご使用にならないでください。(20 ページ)
リボンドアをとじてください	CLOSE RIBBON DOOR	リボンドアパネルが開いています。 →リボンドアパネルを閉じてください。
リボンを確認してください	CHECK RIBBON	本機で使用できないインクリボンが取り付けられています。 →正しいインクリボンカートリッジを取り付けてください。(67 ページ)

メッセージ	意味／対処	
モニター画面	液晶ディスプレイ	
リボンを確認してください nn	CHECK RIBBON nn	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクリボンが切れました。 →セロハンテープなどでつなげてください。(21 ページ)</li> <li>インクリボンが切れていないでこのメッセージが出る場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。</li> </ul>
プリント紙とリボンの組み合わせを確認してください	PAPER MISMATCH	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しくありません。 →同じプリントパックに入っていた組み合わせにしてください。(67 ページ) なお、排出されたプリント紙は使用しないでください。</li> </ul>
レバーをきりかえてください	SWITCH LEVER	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機で使用できないインクリボンが取り付けられています。 →正しいインクリボンカートリッジを取り付けてください。(67 ページ)</li> </ul>
メカトラブル: ヘッド nn	MECHA TROUBLE nn HEAD	<ul style="list-style-type: none"> <li>感熱ヘッドの動作不良です。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。</li> </ul>
メカトラブル: 温度 nn	MECHA TROUBLE nn TEMP	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンターの内部温度が異常です。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。</li> </ul>
メカトラブル: ファン nn	MECHA TROUBLE nn FAN	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンター内部のファンに異常が発生しました。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。</li> </ul>
CLEAN HEAD: SET SHEET	CLEAN HEAD: SET SHEET	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーニングシートがセットされていません。 →クリーニングシートを入れた給紙トレイをセットしてください。(65 ページ)</li> </ul>
	CLEAN ROLL: REMOVE PAPER	<ul style="list-style-type: none"> <li>給紙トレイ内にプリント紙が残っています。 →給紙トレイ内のプリント紙を取り除いてください。</li> </ul>
	CLEAN ROLL: SET TRAY	<ul style="list-style-type: none"> <li>給紙トレイが取り付けられていません。 →プリント紙をすべて取り除いた空の給紙トレイを取り付けてください。</li> </ul>

## 警告メッセージ

警告の場合は、メッセージが表示されるだけで ALARM ランプは点灯しません。  
メッセージに従って処置をしてください。

メッセージ	意味・対処	
モニター画面	液晶ディスプレイ	
何かキーを押してください	HIT ANY KEY.	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンを CAPTURE STOP モードで使用しているとき出ます。現在のメモリーページから最終メモリーページまで画像を記憶して一巡し、もう記憶できません。 →いずれかのキーを押してください。次に押すキーから操作ができるようになります。</li> </ul>
正しい信号を入力してください	INPUT MISMATCH	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力画像の入力機器 (VTR、ビデオカメラなど) から、NTSC 方式以外の信号が入力されている。 →NTSC 方式の信号を入力してください。</li> <li>ビデオ信号以外の信号 (オーディオ信号など) が入力されている。 →正しいビデオ信号を入力して下さい。</li> </ul>

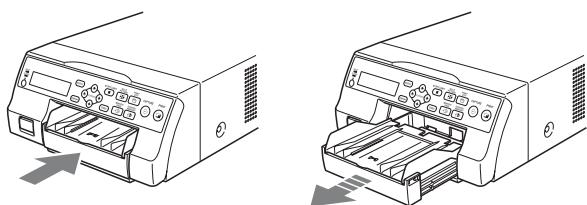
メッセージ	液晶ディスプレイ	意味・対処
モニター画面		
信号を入力してください	NO INPUT	INPUT SETUP メニューで選んだ入力信号の機器からは現在信号がきていません。 → INPUT SETUP メニューで現在選ばれている入力信号を確認してください。(23 ページ) → 入力機器 (VTR など) が再生されているか調べます。 → 入力機器の接続が正しいか調べてください。(17 ページ)
キャプチャーしてください	NO IMAGE	画像がメモリーページに記憶されていません。 → 画像を記憶してからプリントしてください。(25 ページ)
しばらくお待ちください プリント中のメモリーです	PLEASE WAIT PRINTING MEMORY	選んだメモリーページはプリント中、またはプリント予約されています。 → プリント終了後、操作してください。
しばらくお待ちください ヘッド温度調整中	PLEASE WAIT ADJUSTING TEMP	感熱ヘッドの温度を調整中です。 → メッセージが消えるまでお待ちください。自動的にプリントを再開します。
ヘッドクリーニングをおこなってください	CLEAN HEAD	ヘッドクリーニングを行ってください。 → 「感熱ヘッドのクリーニング」 (65 ページ) に従って、クリーニングを行ってください。 このメッセージの表示設定は、SYSTEM SETUP メニュー「CLEAN DISP.」の設定で、オンまたはオフにすることが可能です。(60 ページ)
リボンを取り出してください	PLEASE REMOVE RIBBON	インクリボンを入れたまま「TRANSPORT MODE」にしようとした。 → インクリボンを取り出して「TRANSPORT MODE」にしてください。(64 ページ)
ローラークリーニングをおこなってください	CLEAN ROLL	給紙ローラーの手動クリーニングを行ってください。 → 「給紙ローラーの手動クリーニング」 (66 ページ) に従って、クリーニングを行ってください。 このメッセージは、給紙力が想定以上に低下した場合、プリント終了時に表示されます。

## 詰まったプリント紙を取り除く

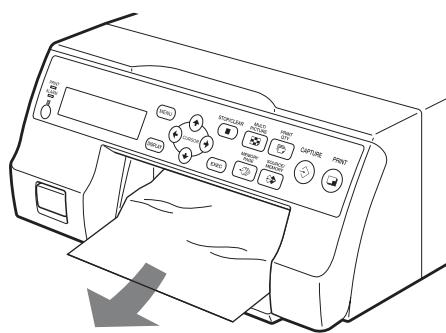
プリントが始まってから、リボンドアパネルの ALARM ランプが点灯した場合や、液晶ディスプレイに「REMOVE PAPER」または「CHECK PAPER」というメッセージが表示された場合は、プリンター内部で紙詰まりが起きている可能性があります。

プリント紙が入った給紙トレイを出し入れしてもエラーメッセージが消えない場合は、詰まったプリント紙を次の手順で取り除いてください。

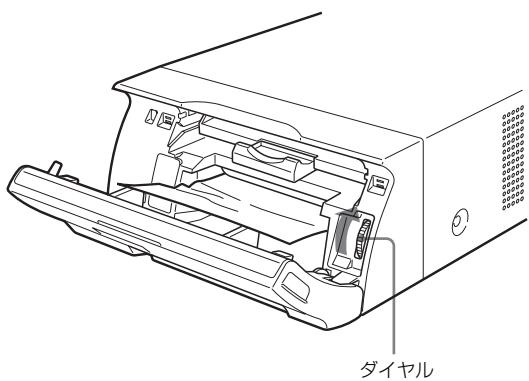
**1** 給紙トレイの▲マークの部分を押して、給紙トレイを取り出す。



**2** 途中で詰まっているプリント紙を取り出す。

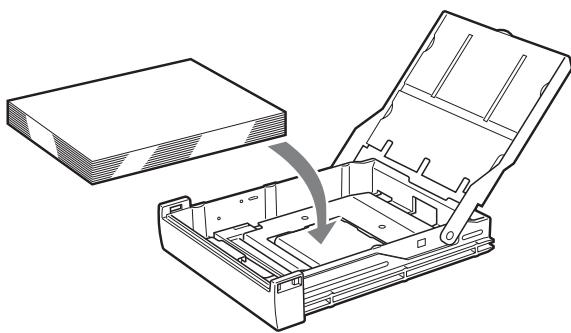


詰まったプリント紙が奥にあって取り出せないときは、リボンドアパネルを開き、ダイヤルを上に回してください。奥に詰まったプリント紙が排出されます。



ダイヤルを回しても詰まったプリント紙を取り出せないときは、「詰まったプリント紙が取り出せないときは」(76 ページ) を参照してください。

**3** プリント紙を正しくセットする。



### ご注意

- 手順 2 で取り出したプリント紙は使用しないでください。
- 本機で推奨しているプリントパック以外のプリント紙を使用しないでください。

**4** 給紙トレイをプリンターに取り付ける。

## 詰まったプリント紙が取り出せないときは

詰まったプリント紙が取り除けない場合は、次の手順でプリンターの底板を開いて、詰まったプリント紙を取り除いてください。

### ご注意

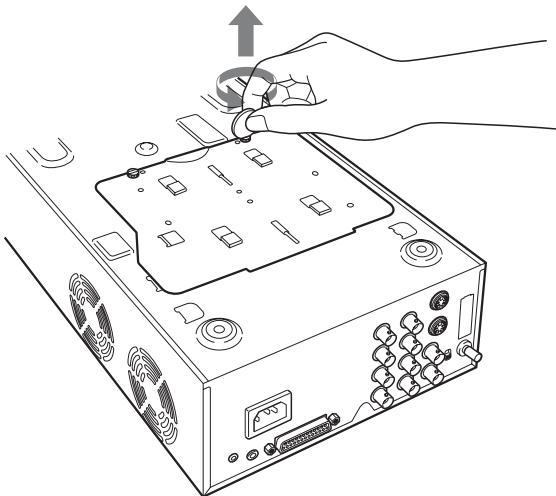
- 以降の手順で詰まったプリント紙を取り除くときは、  
① POWER スイッチを押して電源を切るだけではなく、  
コンセントから電源コードを抜いてください。
- プリンター本体を裏返す際は、接続コード類をはずしてください。折れたり、曲がったりすることにより、火災・感電の原因になることがあります。
- プリンターの内部に詰まっているプリント紙を取り除くために、プリンター内部の部品に触るときは、内部の部品だけがをしないようにご注意ください。

**1** ① POWER スイッチを押してプリンターの電源を切り、電源コードを抜き、接続ケーブルも抜く。

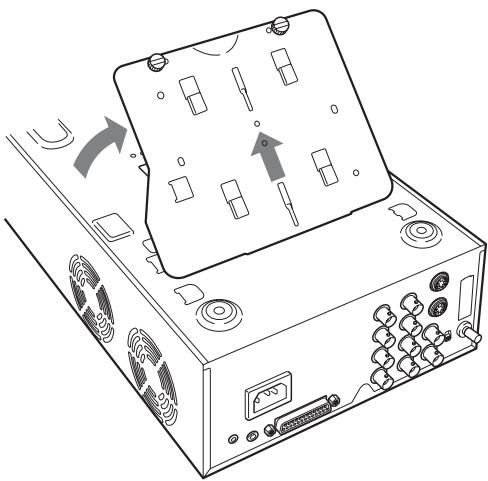
**2** 給紙トレイをプリンターから取り出す。

**3** プリンターを裏返す。

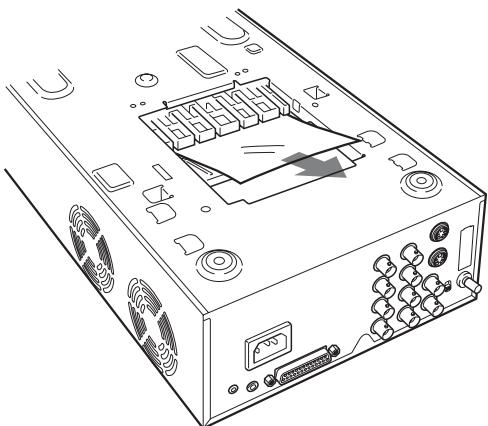
4 硬貨などを使って、底板を止めているビス2本を取りはずす。



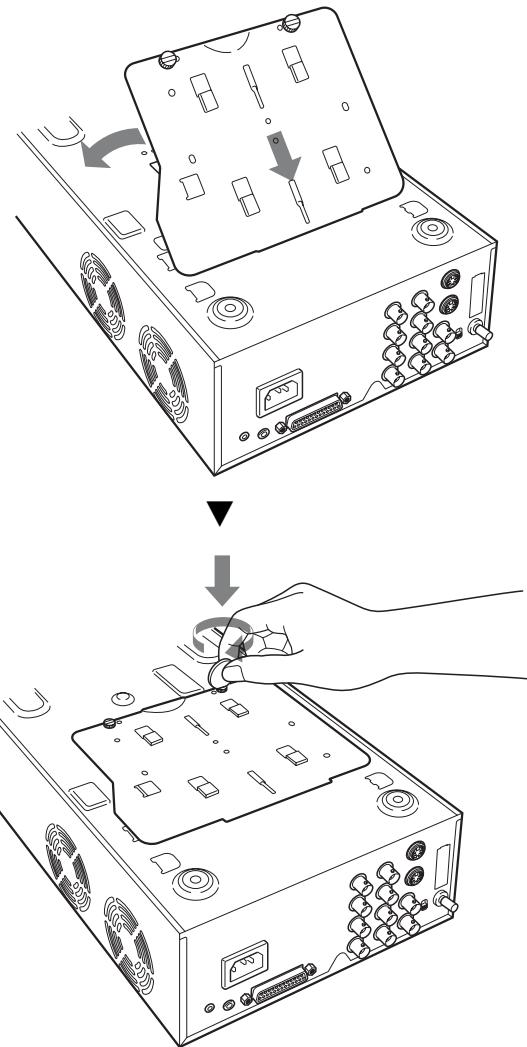
5 底板を持ち上げ、プリンターからはずす。



6 詰まったプリント紙をゆっくりと取り除く。



7 底板を元どおり取り付ける。



注意

外した底板は必ず元どおりに取り付けてください。  
底板を取り外したままではプリントできません。

その他の  
情報

詰まったプリント紙がどうしても取り除けない場合は  
無理に取り出そうとせず、お買い上げ店またはソニーの  
サービス窓口にご相談ください。